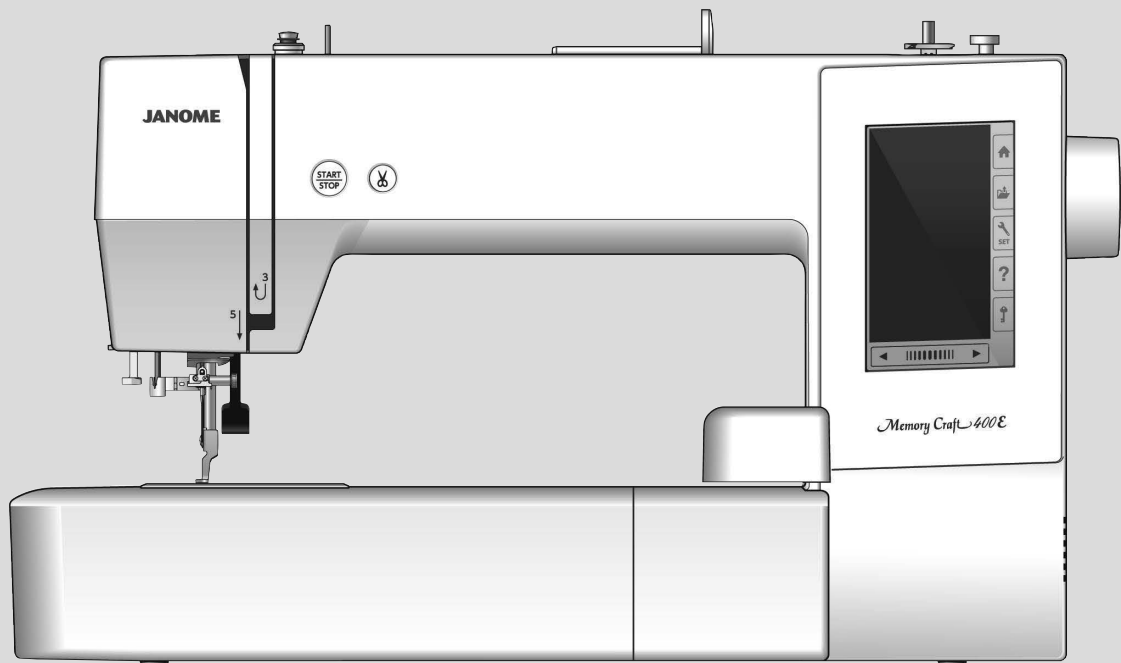




取扱説明書













JANOME





安全上のご注意













- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
----------------	---	---

本文中の図記号の意味		△ 記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
		⊘ 記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
		● 記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

	警告 感電・火災の原因となります。
	ストープ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は 5℃～35℃です。
	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
	電源コードについて、以下の行為は行わないでください。 <ul style="list-style-type: none">・ 傷つける・ 加工する・ はさみ込む・ たばねる・ 引っ張る・ 無理に曲げたり、ねじったりする・ 重い物をのせる・ 高温部に近づける 電源コードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 <ul style="list-style-type: none">・ ミシンのそばを離れるとき・ ミシンを使用したあと・ ミシン使用中に停電したとき

	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	分解はしないでください。
	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はすみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
	曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。

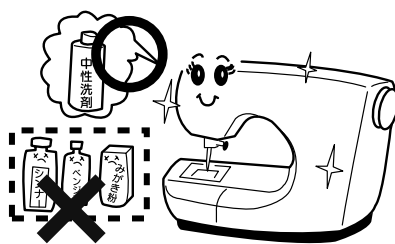
	注意 感電・火災・けがの原因となります。
	ミシンの通風口はふさがないようにください。
	刺しゅうの途中に布や刺しゅう枠を無理に引っ張ったり、押しつけないでください。
	このミシンを使用するときは、付属の専用電源コードを使用してください。 付属の専用電源コードは、このミシン以外の電気製品には使用しないでください。
	お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、特に安全に注意してください。
	ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
	針および押さえは、確実に固定してください。 また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
	以下のことを行うときは、ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。 <ul style="list-style-type: none">・ 押さえ、刺しゅう枠を交換するとき・ 上糸、下糸をセットするとき・ 針を交換するとき・ 針板を外すとき
	ミシンのお手入れを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 <ul style="list-style-type: none">・ 正常に作動しないとき・ 水にぬれたとき・ 落下などにより破損したとき・ 異常な臭い・音がするとき・ 電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき

目 次

◎ お取り扱いについてのお願い.....	2	● 編集ツール.....	42 ~ 52
◎ 各部のなまえ.....	3	★ 編集する模様の選択.....	42
◎ 標準付属品.....	4	★ 模様の移動.....	43
◎ 操作方法.....	5 ~ 7	★ 編集画面を拡大する.....	44
● 電源のつなぎ方.....	5	★ 模様をコピーする.....	45
● 押さえ上げ.....	5	★ 模様の削除.....	45
● スタート/ストップボタン.....	6	★ 模様の大きさを変更する.....	45
● 糸切りボタン.....	6	★ 模様を回転させる.....	46
● 画面（タッチパネル）.....	7	★ 模様を反転させる.....	46
◎ めう前の準備.....	8 ~ 23	★ 文字を円弧（アーク）状に配置する.....	47
● 下糸の準備.....	8 ~ 11	★ 模様のグループ化.....	48
★ ボビンの取り出し.....	8	★ データを保存する.....	48
★ 糸こまのセット.....	8	★ 模様や背景の色を変更する.....	49
★ 補助糸立て棒の使い方.....	9	★ 同色をまとめて刺しゅうする.....	50
★ 下糸巻き.....	9 ~ 10	★ めい順序を変更する.....	51
★ ボビンのセット.....	11	★ 模様を画面中央に配置する.....	51
● 上糸の準備.....	12	★ コーナーレイアウト.....	52
★ 上糸かけ.....	12 ~ 13	★ 単色で刺しゅうする.....	52
★ 糸通し.....	14	◎ 刺しゅう模様を使った作品例.....	53 ~ 56
● 下糸を針板の上に引き出す場合.....	15	● アプリケ模様のめい方 1.....	53
● 針の交換.....	16	● アプリケ模様のめい方 2.....	54
● 布に適した糸や針を選ぶ目安.....	16	● フラッグデザインのめい方.....	55
● ヘルプ機能.....	17	● レース模様のめい方.....	56
● 刺しゅう押さえの取り付け、取り外し.....	18	◎ ミシンの設定.....	57 ~ 66
● 内がま（ハイテンション）.....	19	● 共通設定.....	57 ~ 60
● 刺しゅう枠とテンプレート.....	19	● 刺しゅうめい設定.....	61 ~ 65
● 刺しゅう枠に布を張る.....	20	● 言語設定.....	66
● 刺しゅう枠の取り付け、取り外し.....	21 ~ 22	◎ 模様データの保存 / 呼び出し.....	67
● めい始めの糸かけ.....	22	● 模様データの保存.....	67 ~ 72
● 芯地.....	23	★ ミシンの内蔵メモリに保存する.....	67
◎ 内蔵模様の種類と選択方法.....	24 ~ 27	★ USB メモリに保存する.....	68
● 模様の選択（デザインカテゴリーキー）.....	24	★ 保存画面のキー説明.....	68
● 模様の種類.....	24 ~ 25	★ 新規フォルダーの作成.....	69
● 模様の選択（刺しゅう枠選択キー）.....	26	★ 名称変更キーの使い方.....	70 ~ 71
● 模様の選択（文字キー）.....	27	★ フォルダー・ファイルの削除.....	72
◎ 文字刺しゅう.....	28 ~ 35	● 模様データの呼び出し.....	73 ~ 74
● 設定キー（文字選択画面）.....	28	★ ミシンの内蔵メモリから呼び出す.....	73
● 文字の組み合わせ.....	29	★ USB メモリから呼び出す.....	74
● 設定キー（文字刺しゅう実行画面）.....	30 ~ 33	★ ファイルの形式.....	74
● 2- レター.....	34	◎ ミシンのお手入れ.....	75 ~ 80
● 文字の削除 / 挿入.....	35	● かまと送り歯、糸切り部の掃除.....	75
◎ 内蔵模様刺しゅう.....	36 ~ 40	● 糸道の掃除.....	76
● 模様刺しゅう実行画面.....	36	● 注油.....	76 ~ 80
● 設定キー（模様刺しゅう実行画面）.....	37 ~ 39	◎ メッセージ画面一覧.....	81
● 模様刺しゅう.....	40	◎ ミシンの調子が悪いときの直し方.....	82 ~ 83
◎ 刺しゅう模様の編集.....	41 ~ 52		
● 編集画面を開く.....	41		
● 模様を選択する.....	41		

◎お取り扱いについてのお願い

◇ ご使用の前に

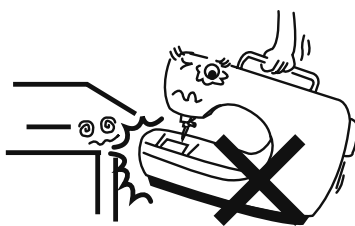


- ① めう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき取ってください。
試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

◇ いつまでもご愛用いただくために



- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。



- ③ 落としたり、ぶつけたりするなど衝撃を与えないでください。
ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。

◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障が生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(82～83ページ)によって、点検・調整を行ってください。

◎各部のなまえ

- ① 天びん
- ② 糸案内カバー
- ③ プリテンション糸かけ
- ④ 糸巻き糸案内
- ⑤ 糸立て棒
- ⑥ 糸こま押さえ
- ⑦ 補助糸立て棒取り付け穴
- ⑧ 糸切りホルダー
- ⑨ 糸巻き軸
- ⑩ ボビン押さえ
- ⑪ 面板
- ⑫ スタート/ストップボタン (START/STOP)
- ⑬ 糸切りボタン
- ⑭ 画面 (タッチパネル)
- ⑮ キャリッジ

- ⑯ 糸切り/糸押さえ
- ⑰ 糸通しレバー
- ⑱ 押さえ止めねじ
- ⑲ 刺しゅう押さえ
- ⑳ 針板
- ㉑ カッター (下糸切り用)
- ㉒ アーム糸案内
- ㉓ 針止めねじ
- ㉔ 針 (フルー針 11 番)
- ㉕ 角板
- ㉖ 角板開放ボタン

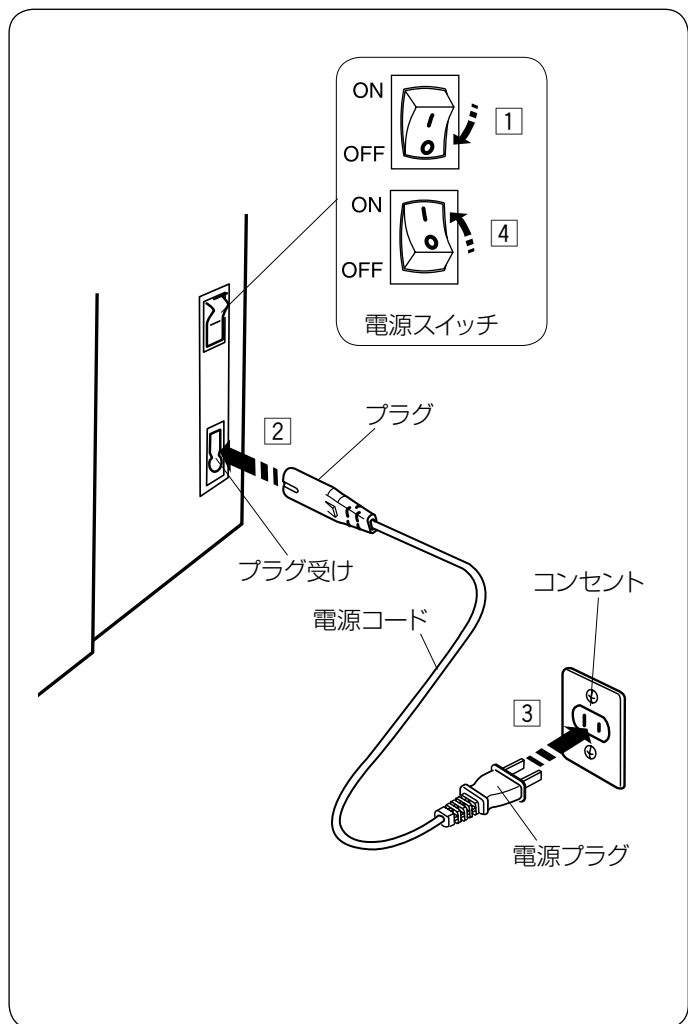
- ㉗ 手さげハンドル
- ㉘ はずみ車
- ㉙ タッチペン収納場所
- ㉚ USB 差し込み口
- ㉛ 押さえ上げ
- ㉜ 電源スイッチ
- ㉝ プラグ受け

※ ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、もう片方の手でミシンをささえてください。

※ 製品改良のため、部品の形状や仕様を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

◎標準付属品

- ① ボビン (5 個)
※ 1 つはミシンの内がまに入っています。
- ② ドライバー
- ③ ドライバー (針板取り外し用)
- ④ ミシンブラシ
- ⑤ はさみ
- ⑥ 針
 - ブルー針 11 番 (2 本)
 - 14 番 (1 本)
- ⑦ 糸こま押さえ (大) (2 個)
※ 1 つはミシンの糸立て棒に付いています。
- ⑧ 糸こま押さえ (小) (2 個)
- ⑨ 糸こま押さえ (特殊) (2 個)
- ⑩ 補助糸立て棒
- ⑪ 内がま (ハイテンション)
- ⑫ タッチペン
- ⑬ かま用クリーナー
- ⑭ 取扱説明書
- ⑮ 早見表
- ⑯ 刺しゅう一覧表
- ⑰ テンプレートシート CD
- ⑱ 説明 DVD
- ⑲ ソフトカバー
- ⑳ 電源コード
- ㉑ SQ20b 刺しゅう枠 (テンプレート付き)
- ㉒ 刺しゅう布保持用クリップ (8 個)



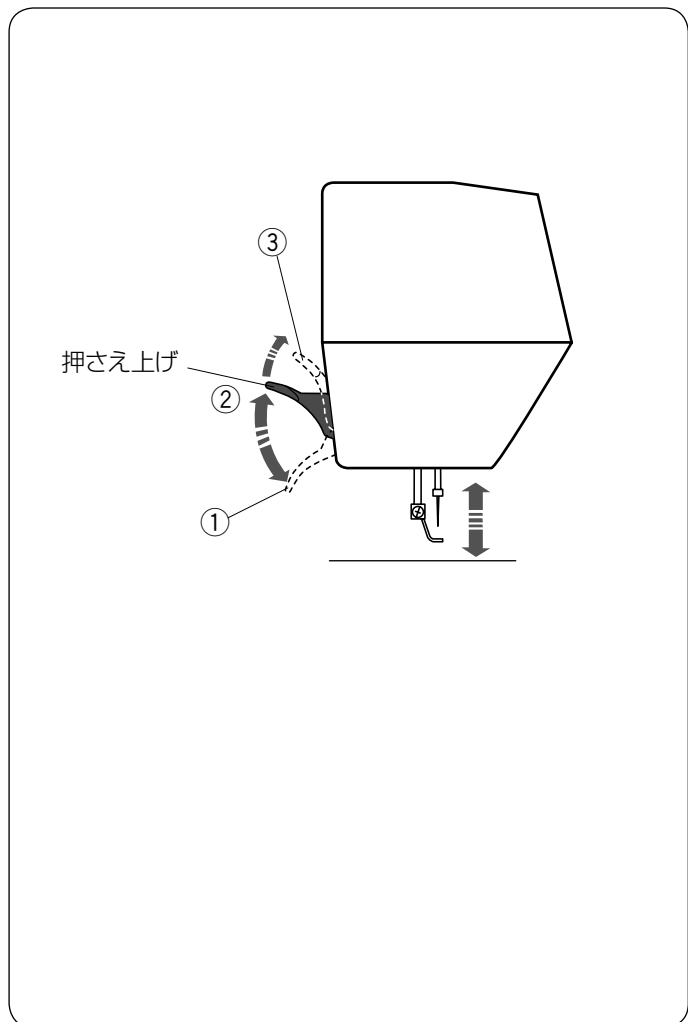
◎操作方法

●電源のつなぎ方

⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V で使用してください。ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが付着していると、湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。

- ① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。
 - ② 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込みます。
 - ③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。
 - ④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。
- ※ 電源スイッチを入ると、ミシンの準備のための初期設定が数秒間行われます。初期設定中はキャリッジなどが動きますので、ミシンに触れないでください。
- ※ 必ず付属の電源コードを使用してください。
- ※ 電源スイッチの「ON」(入)、「OFF」(切) の操作は 5 秒以上間かくをあけてください。

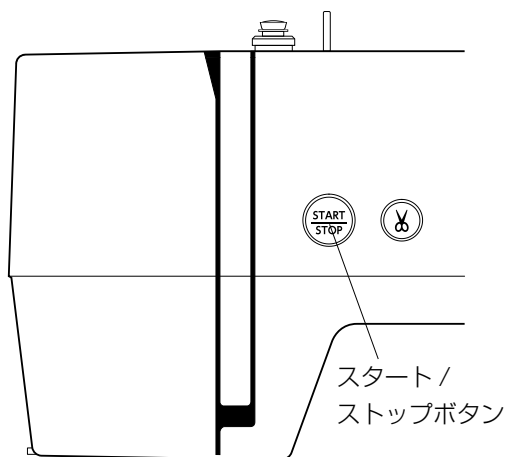


●押さえ上げ

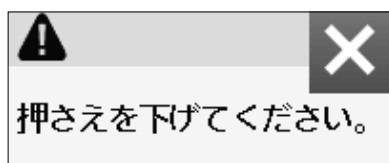
押さえ上げで、押さえのあげ下げを行います。

普通にあげた位置よりさらに高くあげることもでき、刺しゅう枠を入れるときなどに利用できます。

- ① さげた位置
ぬうときなど
 - ② 普通にあげた位置
刺しゅう枠のセットや取り出し、上糸かけや押さえの取り外しのときなど
 - ③ さらにあげた位置 (固定することはできません)
刺しゅう枠を入れるときなど
- ※ ぬいのときは押さえ上げをさげてスタートさせてください。



《メッセージ画面》



● スタート/ストップボタン

押さえ上げをさげて、スタート/ストップボタン (START/STOP) を押すと、マシンは動きはじめます。

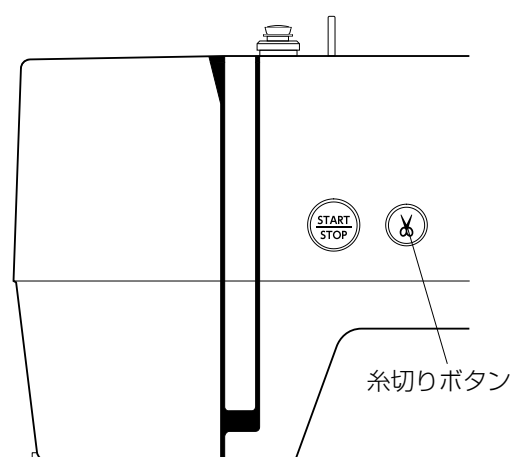
もう一度押すと停止します。

通常は針が上の位置で停止します。

※ 停止中はボタンが緑色に、運転中はボタンが赤に点灯します。

※ 押さえ上げをさげないでスタート/ストップボタン (START/STOP) を押すと、安全装置がはたらいてメッセージ画面が表示されマシンがスタートできないようになっています。

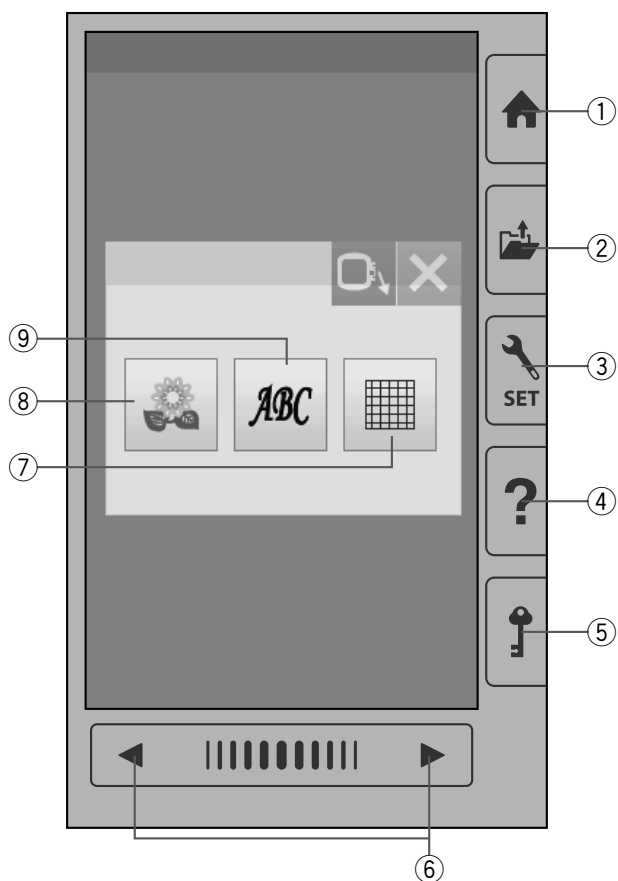
※ 押さえ上げをさげてスタートしてください。



● 糸切りボタン

ぬい終わったあとにボタンを押すと、上糸と下糸を自動的に切ります。

糸切り後は下糸を針板の上に引きあげないで、そのままの状態ですぐすることができます。



● 画面（タッチパネル）

⚠ 注意

画面のキーは付属のタッチペンか指で押してください。画面を鉛筆、ドライバーなどの硬いものや先のとがったもので押さないでください。故障の原因となります。

① ホームキー

目的の様子が属している模様グループを選ぶときに使います。ホーム画面が表示されます。

※ もとの画面の上に重ねてウインドウ画面が表示されます。

※ 閉じるキーを押すと前の画面にもどります。

【ホーム画面】

3つのモード（模様 / 文字 / 編集）キーを押して、モードを選びます。

② ファイルオープンキー（73～74 ページ参照）

ミシンやUSBメモリに保存してある模様データを呼び出すときに使います。

③ セットキー（57～66 ページ参照）

ミシンを初期の状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定するときに使います。

④ ヘルプキー（17 ページ参照）

ミシンの「下糸巻き」、「針の交換」、「糸の通し方」、「ボビンのセット」の手順を見ることができます。



⑤ ロックキー


押さえや針の交換、糸のセットを行うときなどに使います。すべてのボタンやキーの操作を受け付けなくし、ミシンも動きません。

ミシンが現在設定されている状態を保持したまま安全に刺しゅう枠や針の交換、糸のセットなどを行うことができます。

⑥ ページキー

表示されている模様選択画面や設定画面の次（前）の画面（ページ）を表示させることができます。

右側の  キーを押すと次の画面、左側の  キーを押すと前の画面にかわります。押し続けると連続してページが切りかわります。

また、中央の帯状の  キーを押しながら右側にスライドさせると次の画面、左側にスライドさせると前の画面に切りかえることもできます。

⑦ 編集キー（41 ページ参照）

模様を組み合わせたり、ぬい位置を移動したり、大きさや向きを変えたり、自由に編集することができます。

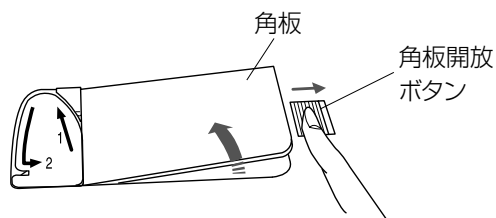
⑧ 模様キー（26 ページ参照）

模様選択画面を選ぶことができます。

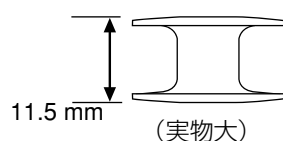
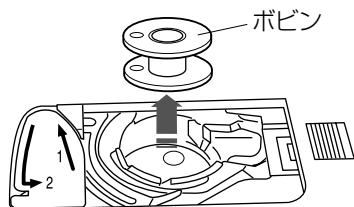
⑨ 文字キー（27 ページ参照）

文字選択画面を選ぶことができます。

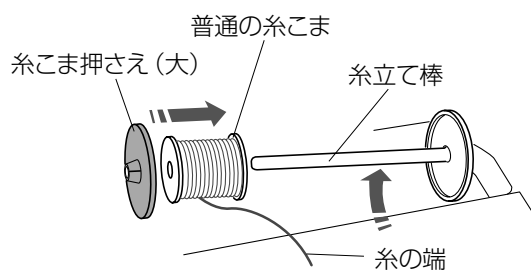
1



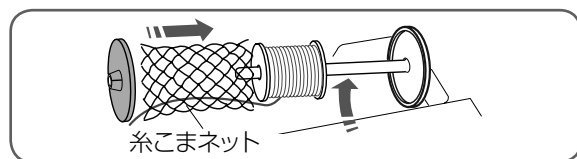
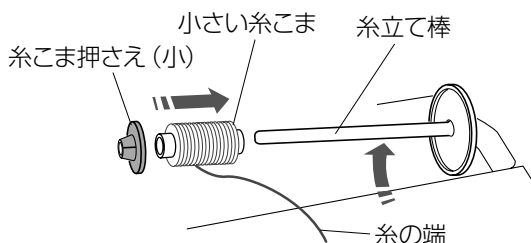
2



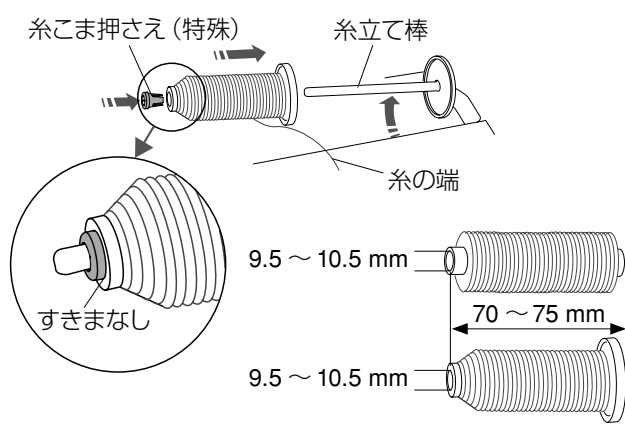
《普通の糸こまの場合》



《小さい糸こまの場合》



《特殊糸こまの場合》



◎ぬう前の準備

● 下糸の準備

★ ボビンの取り出し

- ① 押さえ上げをあげ、角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。
- ② ボビンを取り出します。

お願い

- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。(お買い上げの販売店へご相談ください。)
- ナイロン透明糸およびメタリック糸を、下糸に使用しないでください。
- 金属ボビンは使用しないでください。
かまにマグネットが使用されているため、糸調子の不具合や、故障の原因となります。

★ 糸こまのセット

糸立て棒を軽くおこし、糸の端が糸こまの下から手前に出るように糸こまを向けて糸立て棒に入れ、糸こま押さえを押しつけて糸こまを押さえます。

※ 普通の糸こまには糸こま押さえ(大)を、小さい糸こまには糸こま押さえ(小)を使います。

※ 伸縮性のある糸を使用する場合には、市販の糸こまネットの使用をおすすめします。糸外れや糸のよじれ防止効果があります。

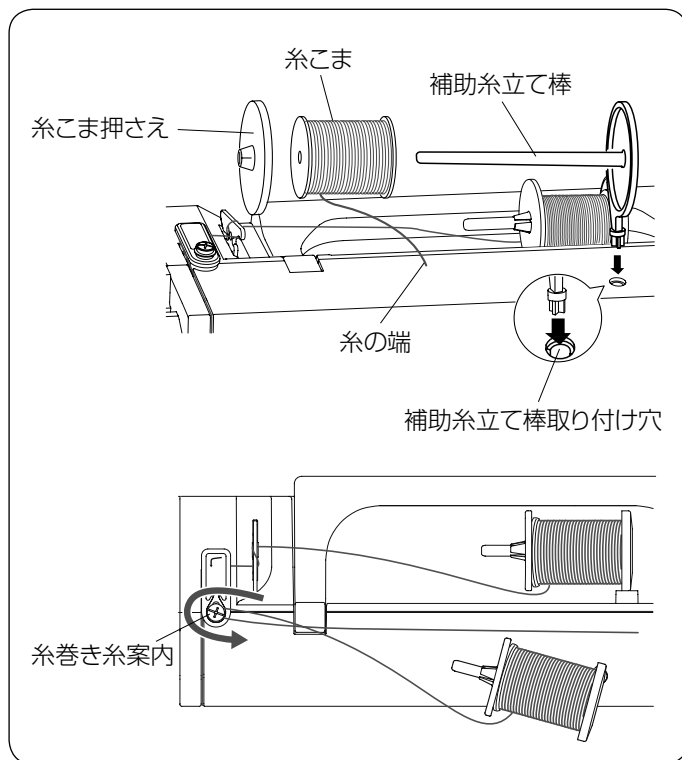
糸こまネットは、糸こまの大きさに合わせて切って使用してください。

※ 糸こまネットの途中に糸の端を入れないでください。

左図のような長さの糸こまを使用するときには、糸こま押さえ(特殊)を使用することで、糸こまを固定することができます。

糸こま押さえ(特殊)は、図のように、糸こまを糸立て棒にセットしたあと、糸こまの穴に入れてください。

※ 糸こまと糸こま押さえ(特殊)のあいだにはすきまがないようにしてください。



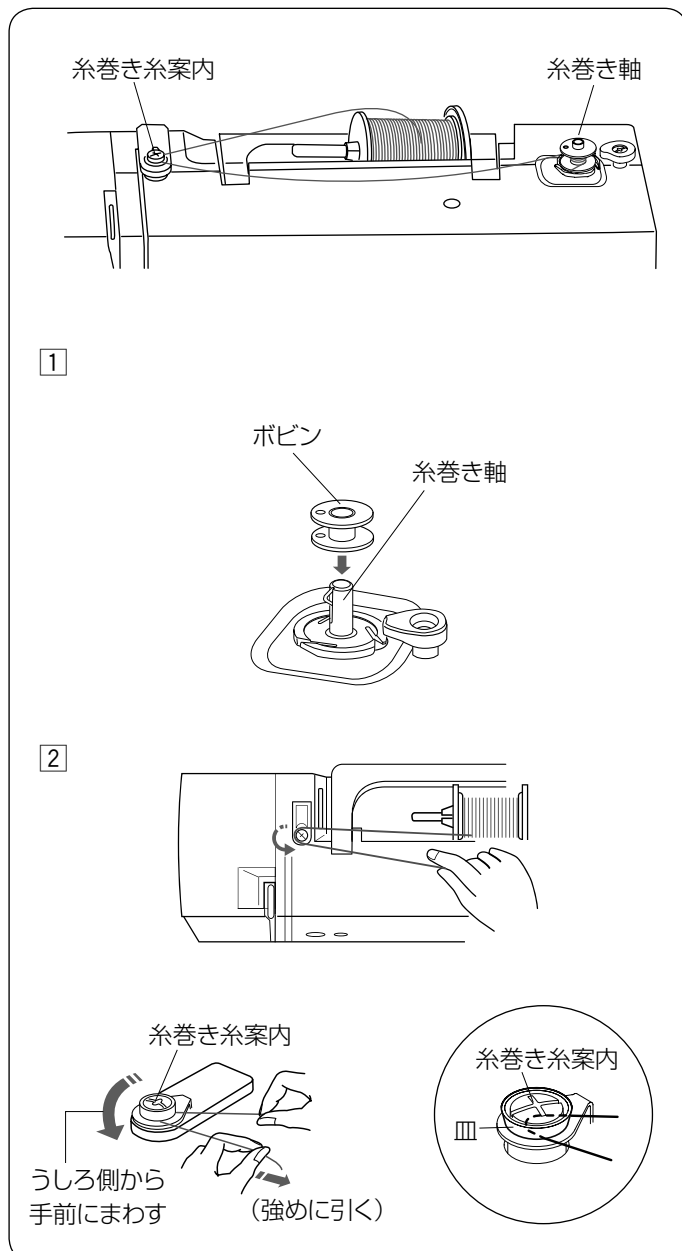
★ 補助糸立て棒の使い方

付属の補助糸立て棒は、ミシンに付いている糸立て棒に糸こまをセットした状態のまま、別の糸こまで糸巻きをするときに使います。

補助糸立て棒の先端を糸巻き糸案内の方に向けて、補助糸立て棒取り付け穴に差し込みます。

※ 正しい位置に差し込んだ場合、補助糸立て棒は回転しないで固定されます。

糸こまは、糸の端が糸こまの下から手前が出るようにセットし、糸こま押さえを押しつけて糸こまを押さえます。



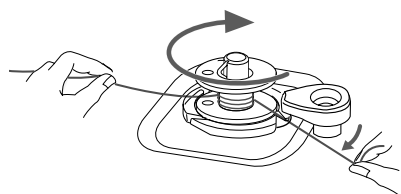
★ 下糸巻き

① 糸巻き軸にボビンを差し込みます。

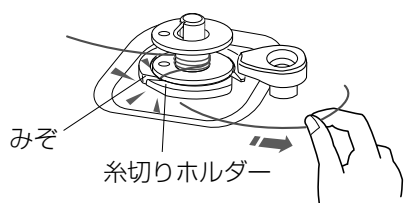
② 糸こま側の糸を押さえ、うしろ側から手前にまわし、矢印方向に引いて糸巻き糸案内に糸をかけます。

※ 糸を確実に皿の下に入れてください。
糸が皿の下に確実に入っていないと、均等に糸を巻くことができません。

③

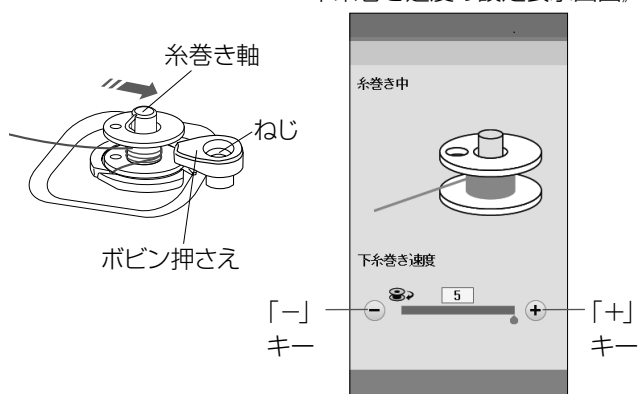


④

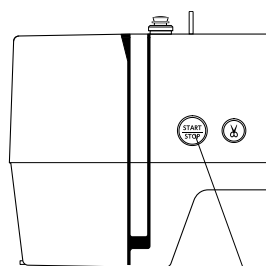


⑤

《糸巻き中表示 /
下糸巻き速度の設定表示画面》

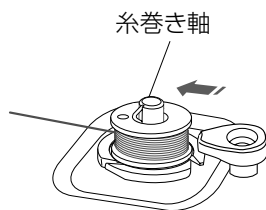


⑥

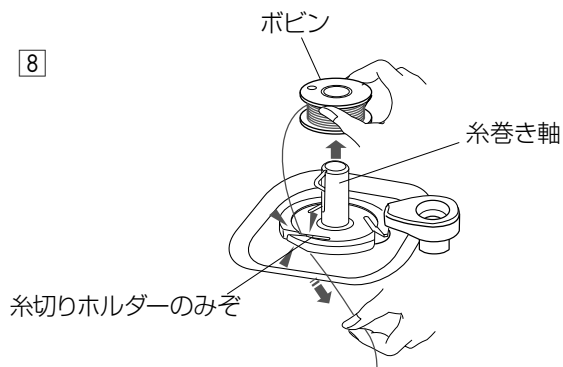


スタート/ストップボタン

⑦



⑧



③ 右に引き出した糸を左手で押さえ、右手で糸の端をボビンに右まわり（時計方向）に4～5回巻きます。

④ ボビンに4～5回巻いた糸を、ボビンの下にある糸切りホルダーのみぞに入れ、みぞにそって引いて糸を切ります。

※ みぞは3カ所あり、中にカッターが内蔵されています。

⑤ 糸巻き軸をボビン押さえの方に押しつけます。

※ 画面が糸巻き中の表示になります。下糸巻き速度の設定もできます。

下糸巻き速度設定

初期の状態（購入時の設定状態）は「1」～「5」の5段階で「5」（いちばん速い速度）に設定されています。「-」、「+」キーで「1」（いちばん遅い速度）～「5」（いちばん速い速度）のお好みの速度を選びます。

※ ボビン押さえのねじはさわらないでください。部品が外れることがあります。

⑥ スタート/ストップボタン（START/STOP）を押して巻き始めます。

巻き終わると自動的にボビンの回転が止まるので、ボビンの回転が止まったらミシンを停止します。

⑦ 糸巻き軸をもどします。

※ 安全のため、ミシンは下糸巻きが始まってから約1分30秒後に自動的に止まります。

※ 糸巻き軸は必ずミシンを停止してからもとの位置にもどしてください。

⑧ 糸巻き軸からボビンを外して、糸切りホルダーのみぞに入れ、みぞにそって引いて糸を切ります。

★ ボビンのセット



注意

ボビンを内がまにセットする場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。けがの原因となります。

準備：1. 押さえ上げをあげます。

2. ロックキーを押してミシンをロック状態にします。

① 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に出るように向けて（糸が左巻き）、ボビンを内がまに入れます。

※ ボビンから引き出される糸の状態の図が角板に表示されています。

② ボビンが回転しないように、右手でボビンを軽く押さえます。

左手で糸の端を持ち、内がまの手前のみぞにかけ、さらに手前のつもの下をくぐらせます。

※ 糸を各部に確実にかけるため、手順④が終わるまで右手でボビンを押さえおいてください。

③ つもの下をくぐらせた糸を矢印1の方向に引きあげて矢印1の右側のみぞに入れます。

糸が左側のみぞから出ているのを確認してください。

※ 手順②で、内がまの手前のみぞに糸がかかっていないと、内がまの板ばねのあいだに糸が入らず、1と書いてある矢印の右側のみぞにボビンから直接通ってしまいます。（左図B参照）

その場合は手順②からかけ直してください。

※ 糸が正しくかけられていないと、ぬい不良の原因となります。

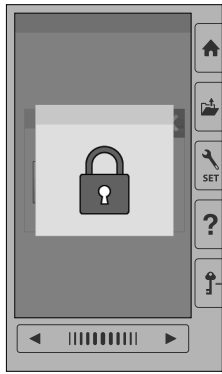
④ みぞにそって矢印2の方向に糸を通し、下側のカッター（下糸切り用）にかけて右に水平に引いて糸を切ります。

⑤ 角板を左側から合わせ、下に押してミシンに取り付けます。

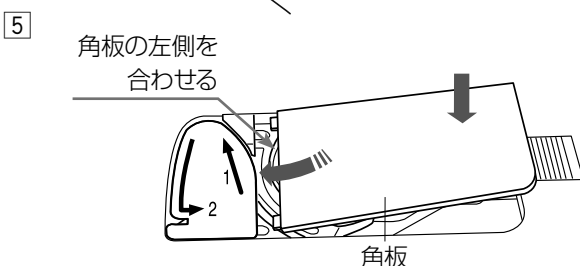
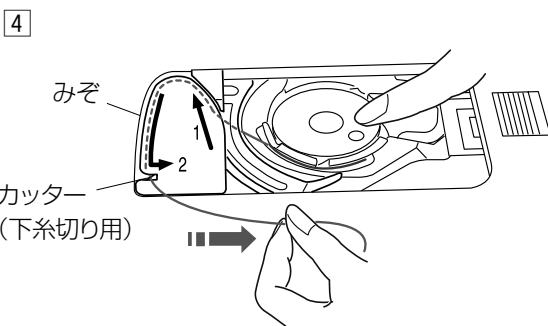
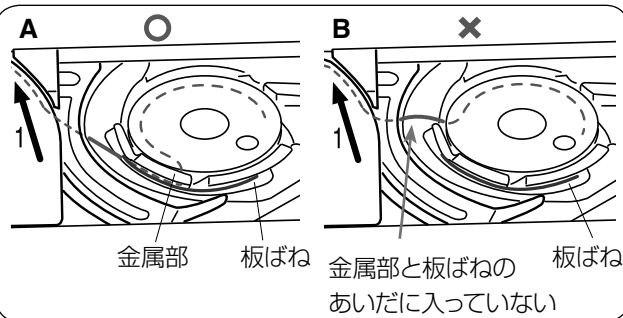
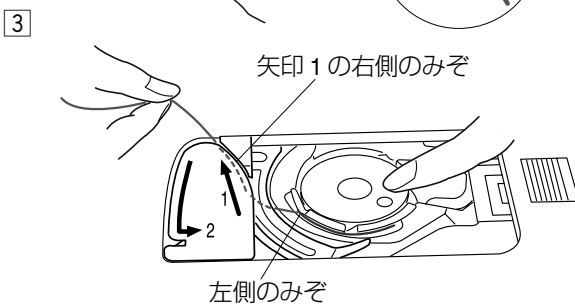
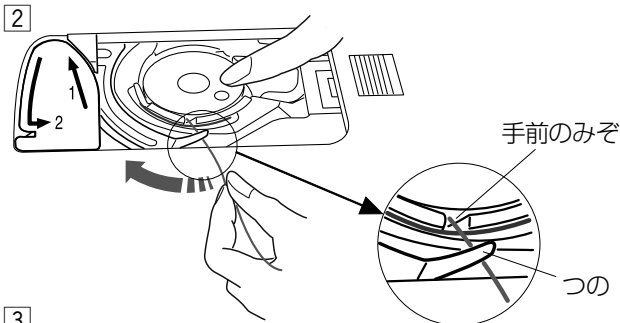
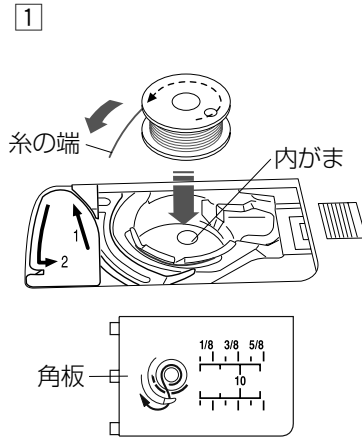
※ 通常は、下糸はこの状態のままでぬい始めることができます。

※ ぬい始めに下糸を針板の上に引き出す必要がある場合は、15ページをごらんください。

《ロック画面》



ロックキー



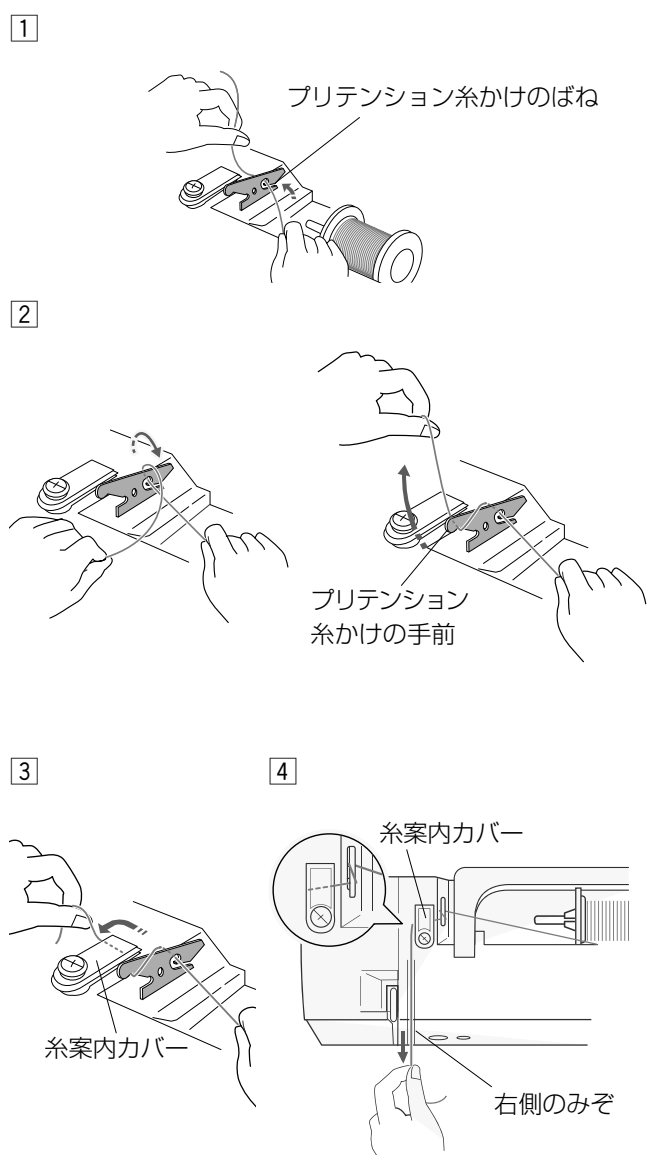
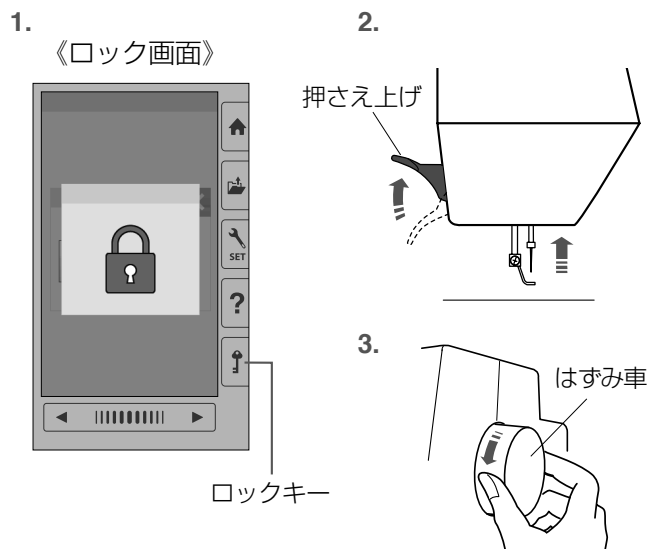


図 A

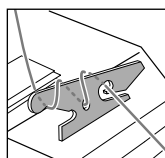
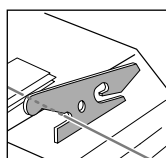
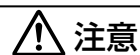


図 B



● 上糸の準備

★ 上糸かけ



注意

糸をかける場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。
けがの原因となります。

準備：1. ロックキーを押してミシンをロック状態にします。

2. 押さえ上げをあげます。

3. はずみ車を手で手前にゆっくりまわし、針および天びんをあげてください。

※ 糸こまが外れるのを防ぐため、必ず糸こま押さえを使用してください。

※ 上糸かけは、糸を各部に確実にかけるために、常に右手で糸こま側の糸を押さえながら、左手で強めに引いてかけてください。

※ 糸こまのセット方法は、「糸こまのセット」(8 ページ)をごらんください。

① 糸を両手で持ち、プリテンション糸かけのうしろのみぞに向こう側から手前に引き、ばねを通過させます。

② プリテンション糸かけの手前を図のように、右まわりにかけます。

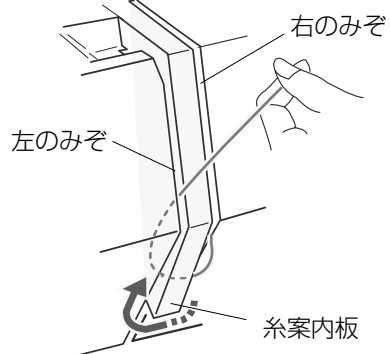
③ 右手で糸こま側の糸を押さえ、左手で糸案内カバーの下に巻きつけるようにかけます。

④ 糸を右側のみぞにそって手前に「パチン」と音がするまで強めに引き出します。

【お願い】

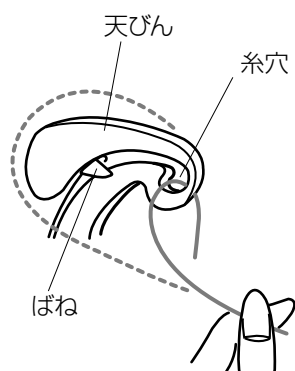
- ぬい途中にプリテンション糸かけから糸が外れる場合は、図 A のように、中央の穴に通してください。
- 自動糸切りのあと、糸が針穴から外れる場合は、図 B のようにプリテンション糸かけにかけてください。

5



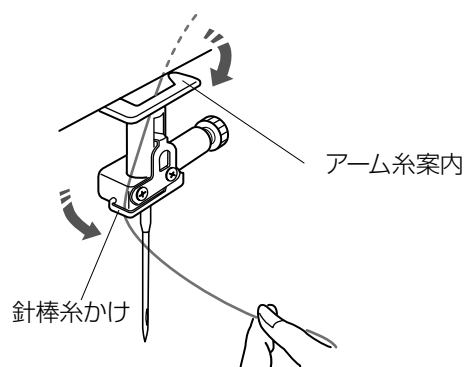
5 糸を右のみぞから糸案内板の下へくぐらせ、左上に引きあげ左のみぞに通します。

6



6 糸を天びんの右からうしろへまわして手前に引き、ばねを通過させて糸穴に入れ、まっすぐ下におろします。
※ 糸が天びんの糸穴まで入っていることを確認します。

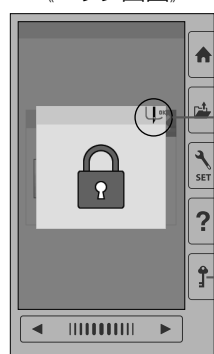
7 8



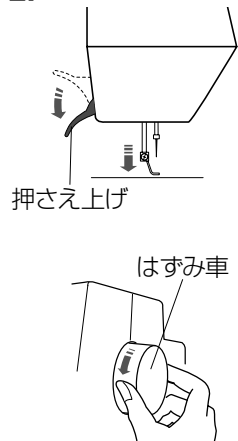
7 糸を右からアーム糸案内にかけ、左から針棒糸かけにかけます。

8 糸通しを使って針穴に糸を通します。
糸通しの使い方は、「糸通し」(14 ページ) をご覧ください。

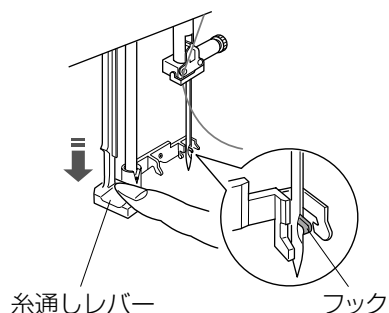
1. 《ロック画面》



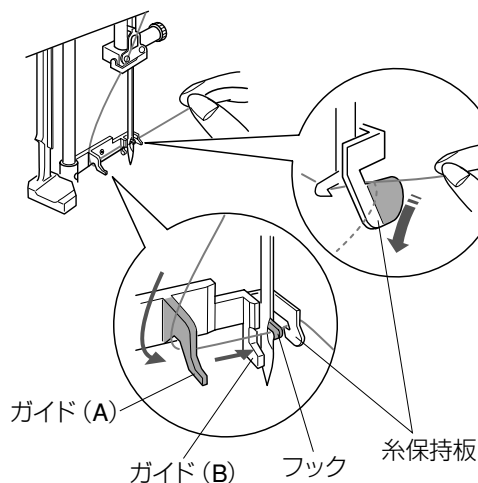
2.



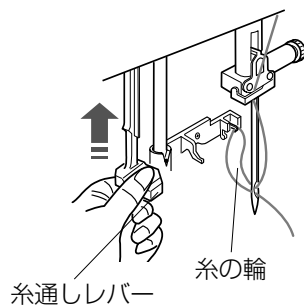
1



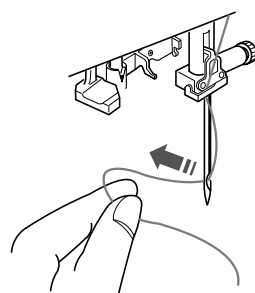
2



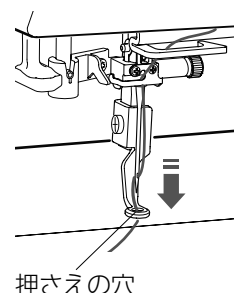
3



4



5



★ 糸通し

⚠ 注意

糸通しを使う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。けがの原因となります。

※ 針は家庭用ミシン針 (HA × 1) の 11 ~ 16 番、糸は 50 ~ 90 番を使用してください。

※ 30 番より太い糸は使用しないでください。

準備：1. ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。

2. 押さえ上げをさげます。

針が上まであがっていることを確認します。

針があがっていない場合は、はずみ車を手で手前にゆっくりまわし、針を上まであげます。

糸通しマークが表示されていることを確認します。

① 糸通しレバーを止まるまでさげます。

※ 糸通しレバーが止まった位置で、針穴にフックが入っています。

② 糸をガイド (A) の左側から下にまわし、ガイド (B) のくぼみに下からそわせながら糸保持板に下からかけ、手前にたらししておきます。

※ 糸はフックの下を通ります。

③ 糸通しレバーを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。

④ 糸の輪を糸通しから外し、糸の輪を向こう側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。

※ 糸の輪ができず、フックに引っかかってしまう場合は、そのまま糸をうしろに引き出してください。

⑤ 上糸を押さえの穴に通します。

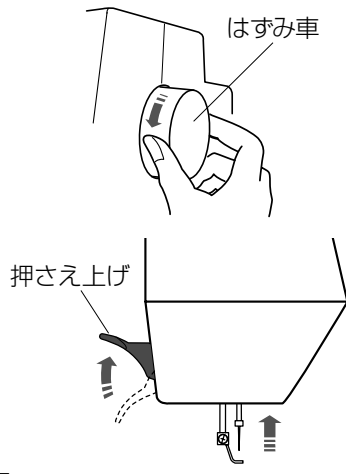
1.

《ロック画面》



ロックキー

2.



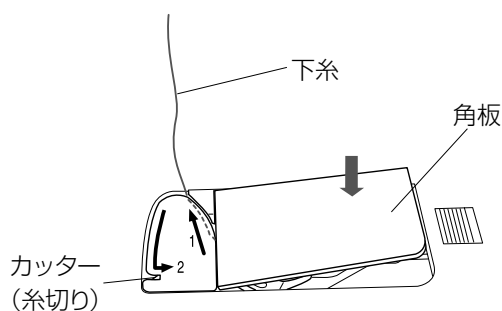
● 下糸を針板の上に引き出す場合

自動糸切り後やボビンを内がまにセットしたあとは、下糸を引きあげずにミシンをスタートすることができます。ただし、しつけぬいなど、ぬい始めの下糸を長くする必要があるときは、下記手順で下糸を針板の上に引き出します。

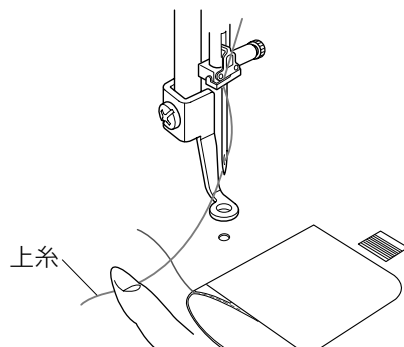
準備：1. ロックキーを押してミシンをロック状態にしてください。

2. はずみ車を手で手前にゆっくりまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。

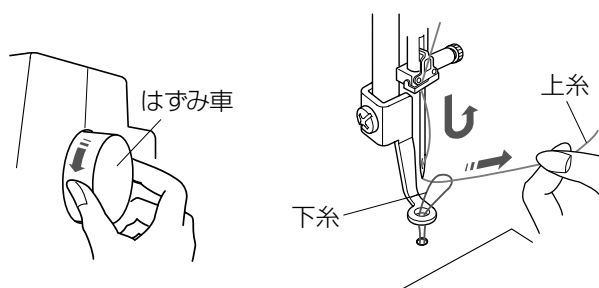
①



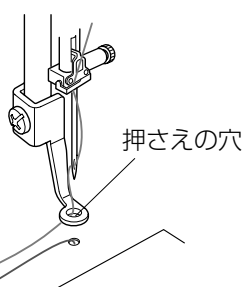
②



③



④



① ボビンを内がまに入れ、11 ページの手順①～③と同じ方法で下糸を矢印1の方向に引きあげてみぞに入れたら、そのまま10 cm ほど向こう側に引き出しておき、角板を取り付けます。

※ 下糸はカッター（糸切り）で切らないでください。

② 針に上糸を通し、押さえ上げをあげた状態で、上糸の端を指で押さえます。

③ はずみ車を、手前に一回転させます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

④ 下糸を押さえの穴から、下に引き出します。
上糸を押さえの穴に通します。

● 針の交換



注意

針の交換を行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。けがの原因となります。

準備：1. ロックキーを押してミシンをロック状態にします。

2. はずみ車を手で手前にゆっくりまわし、針をあげます。

① 押さえ上げをさげます。

② 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。

③ 交換する針の平らな面を向こう側に向け、差し込みます。差し込むとき、針を停止ピンにあたるまで押しあげます。

針止めねじをドライバーでまわし、針をしっかり止めます。

※ 正しく針が付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

【針の調べ方】

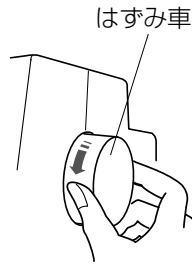
針の状態を見るには、針の平らな面を針板などの平らなものに乗せます。針と平らな面のすきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれたりしているものは使わないでください。

1. 《ロック画面》

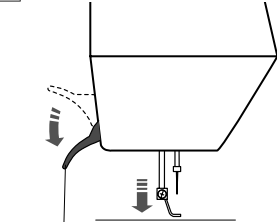


2.



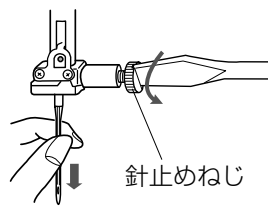
ロックキー

①



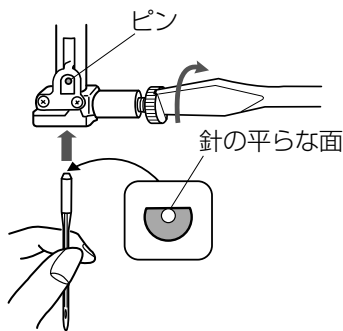
押さえ上げ

②



針止めねじ

③



針の平らな面

すきま

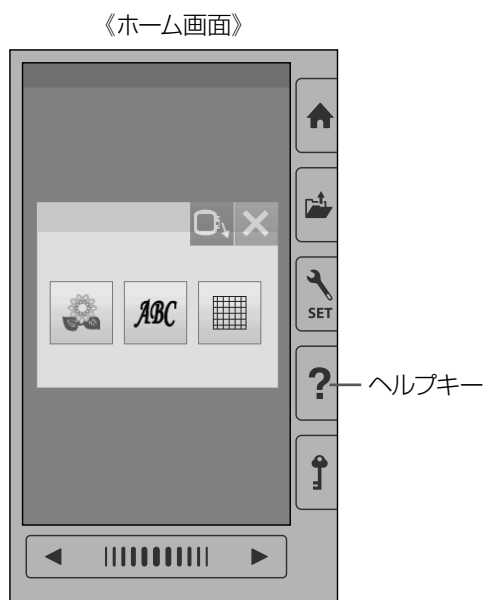
● 布に適した糸や針を選ぶ目安

※ 針は必ず、家庭用ミシン針（HA × 1）を使用してください。

布の種類	糸	針
薄い布	ミシン刺しゅう糸	14 番
普通の布 ニット地		または ブルー針
厚い布		14 番

※ 刺しゅうには、刺しゅう専用の下糸を使用してください。

1

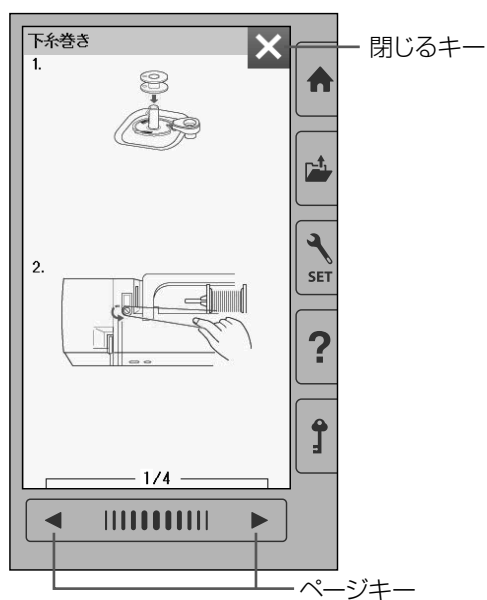


2



3

《下糸巻きヘルプ画面》(1/4 ページ)



● ヘルプ機能

ヘルプキーを押すと、「下糸巻き」「針の交換」「糸の通し方」「ボビンのセット」の4項目の基本的な操作方法を見ることができます。

【使い方】

① ヘルプキーを押します。

② 見たい項目のブックアイコンキーを押します。

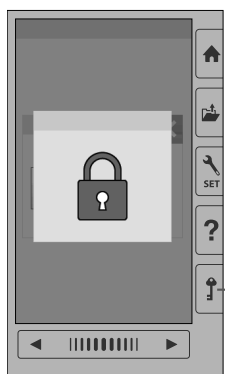
③ 例えば、「下糸巻き」のブックアイコンキーを押すと1/4 ページが表示されます。
ページキーで画面を切りかえます。

④ ヘルプ機能の初期画面にもどる場合は、閉じるキーを押します。

※ ヘルプ機能を終了する場合は、ヘルプキーの初期画面の閉じるキーを押します。

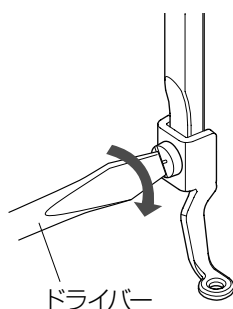
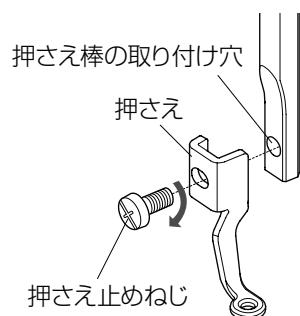
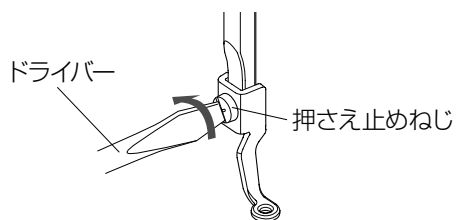
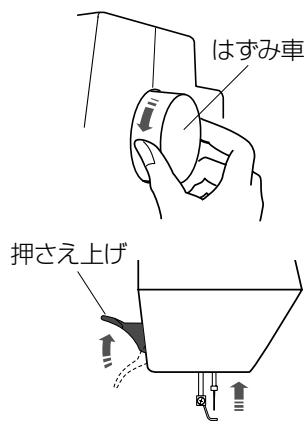
1.

《ロック画面》



ロックキー

2.



● 刺しゅう押さえの取り付け、取り外し

⚠ 注意

刺しゅう押さえの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。けがの原因となります。

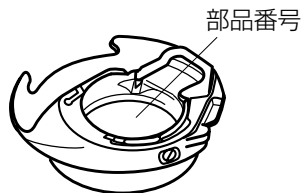
- 準備： 1. ロックキーを押してミシンをロック状態にします。
2. はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。

【外し方】

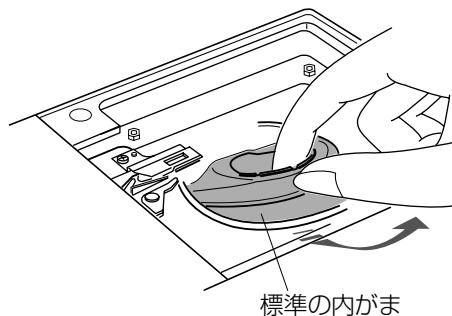
押さえ止めねじをドライバーで左にまわして外し、押さえを取り外します。

【付け方】

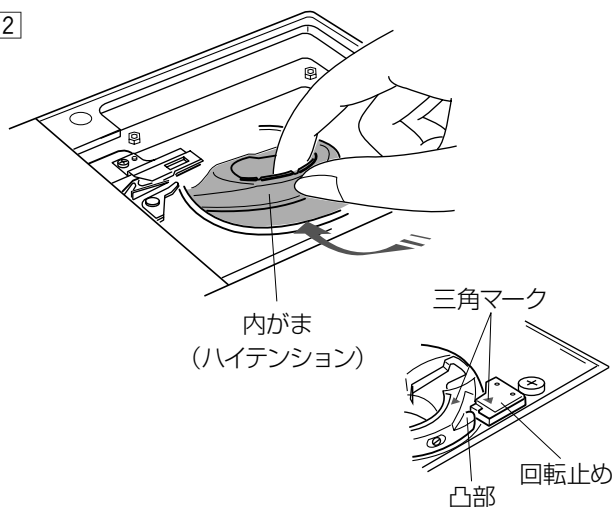
押さえを図のように押さえ棒の取り付け穴に合わせ、押さえ止めねじをドライバーで右にまわして、しっかりしめます。



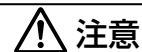
①



②



● 内がま（ハイテンション）



注意

内がまの取り付け、取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックするか電源スイッチを切ってください。けがの原因となります。

ジャノメの刺しゅう用下糸以外の下糸を使用する場合は、標準の内がま（部品番号 846652504）を添付の内がま（ハイテンション、部品番号 846652607）に交換してください。

内がまの左図の位置に部品番号（846652504 または 846652607）が表示されています。

① 針、刺しゅう押さえ、針板を取り外します。（16、18、75 ページ参照）

標準の内がまを取り出します。

② 内がま（ハイテンション）を取り付けます。

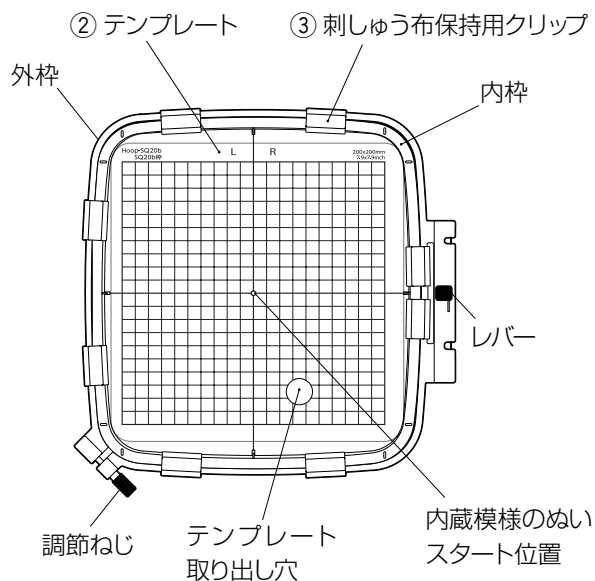
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が、回転止めの左側にくるように取り付けます。

※ 内がまを取り付けたあと、はずみ車を手でゆっくり手前にまわし、外がまがスムーズにまわることを確認してください。

針板、刺しゅう押さえ、針を取り付けます。

※ 上糸と下糸で同じ糸を使用するキルティング模様を刺しゅうする場合は、標準の内がま（部品番号 846652504）を使用してください。

① SQ20b 枠



● 刺しゅう枠とテンプレート

① SQ20b 枠

刺しゅうはんいは、横 20 cm X 縦 20 cm です。

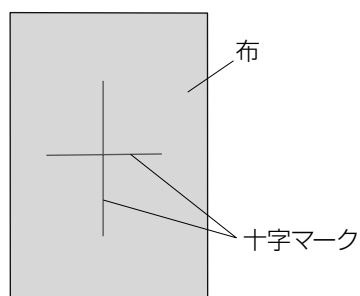
② テンプレート

まず目のはんいが刺しゅうできるはんいです。

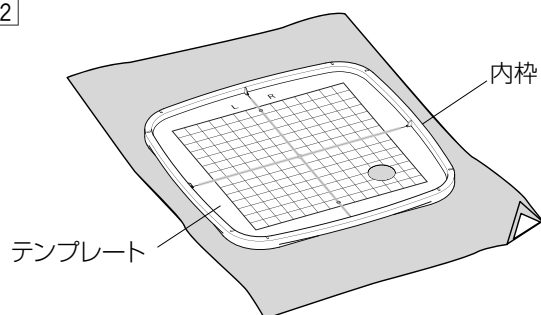
③ 刺しゅう布保持用クリップ

布を刺しゅう枠にとめるクリップです。

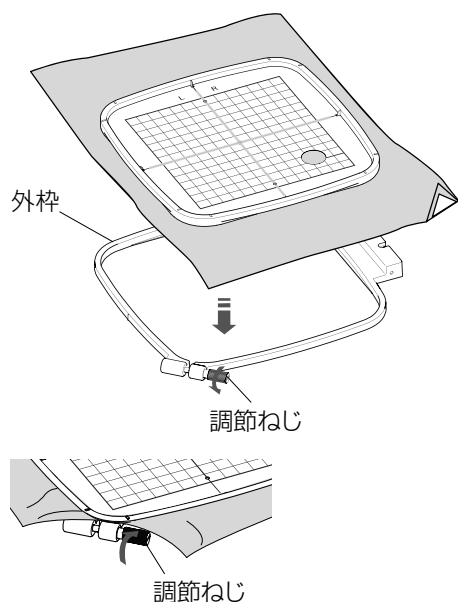
1



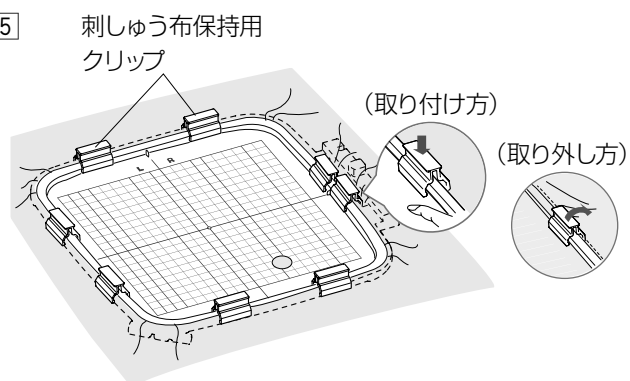
2



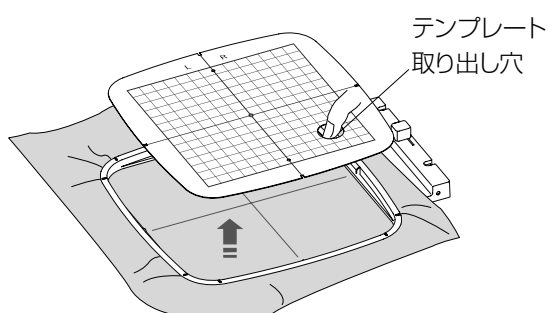
3 4



5



6



● 刺しゅう枠に布を張る

① 布を準備し、芯地を布の裏側に貼ります。

布と芯地は刺しゅう枠のサイズより大きいものを用意します。

模様の位置を決めるため、布の中心に十字マークを付けます。

※ 布に十字マークを付けるときは、付属のテンプレートシート CD に入っている、模様テンプレートシートを利用してください。

② 布の上に内枠を置き、その中にテンプレートを入れて、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせます。

③ 外枠の調節ねじをゆるめます。

布の十字マークとテンプレートの基準線がズレないように外枠にセットします。

④ 内枠と布を外枠に押し込み、調節ねじをしめて、布を張ります。

布をピンと張るため、調節ねじをしめた状態で一度内枠を外し、テンプレートの基準線と布の十字マークを合わせながらセットし直します。布地がたるまないように布地の4辺を引っ張り、ピンと張ります。

※ 布地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくらいピンと張ります。

⑤ 刺しゅう布保持用クリップを8カ所にセットします。

※ キルトなどの厚い布に刺しゅうする場合には、刺しゅう枠が右側に移動したとき、ミシンと刺しゅう枠のすきまがなく刺しゅう枠の動きを妨げていないか確認してください。

※ めい終わったら、矢印方向に刺しゅう布保持用クリップを外し、調節ねじをゆるめて布を外します。

⑥ 穴に指を入れ、テンプレートを外します。

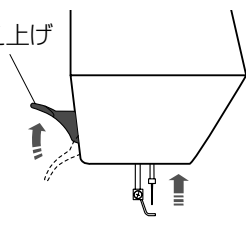


注意

布や芯地が厚くなっている所をぬうと、目とびしたり、糸が切れたり、針が折れたりする危険があります。
3 mm より厚くなっている所はぬわないでください。

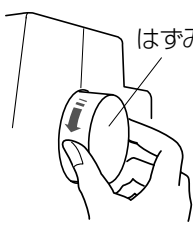
1.

押さえ上げ

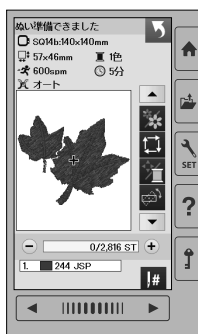


2.

はずみ車



3. 《刺しゅう実行画面》

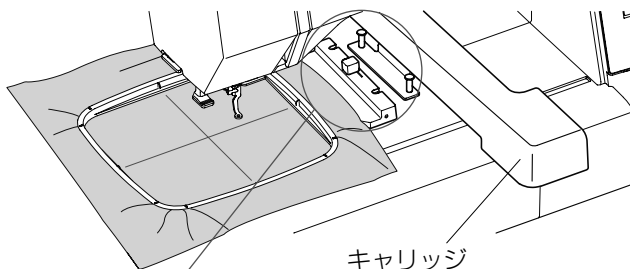


4. 《ロック画面》



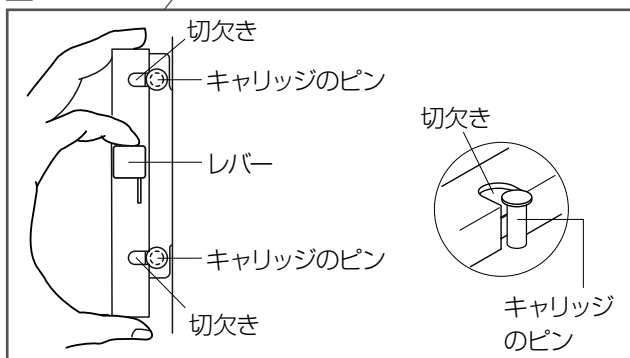
ロックキー

①



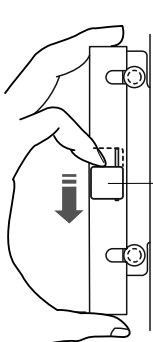
キャリッジ

②

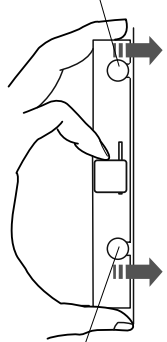


キャリッジのピン

③

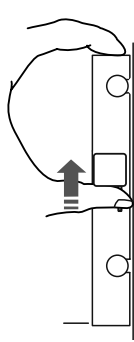


④



キャリッジのピン

⑤



● 刺しゅう枠の取り付け、取り外し

刺しゅう枠をキャリッジに取り付けるときや取り外すときは、模様を選び、キャリッジをホームポジション位置(ぬいスタート位置)にします。



注意

刺しゅう枠の取り付け・取り外しを行う場合、必ずロックキーを押してミシンをロックしてから行ってください。けがの原因となります。

準備：1. 押さえ上げをあげます。

2. はずみ車を手で手前にまわし、針をあげます。

3. 電源を入れ、模様を選びます。

4. ロックキーを押してミシンをロック状態にします。

【取り付け】

① 布を張った刺しゅう枠をミシンにセットします。

お願い

刺しゅう枠に厚物の布を張ったときなどは、押さえ上げを普通にあげた位置よりさらにあげて、刺しゅう枠を取り付けてください。(5 ページ参照)

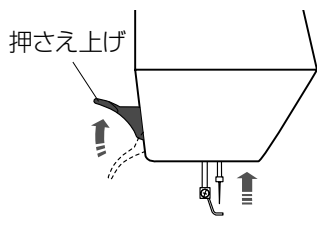
② 刺しゅう枠の切欠きをキャリッジのピンに合わせます。

③ レバーを矢印の方向に動かします。

④ 刺しゅう枠をキャリッジのピンに押し付けるようにして取り付けます。

⑤ レバーを矢印の方向に動かして刺しゅう枠を固定します。

1



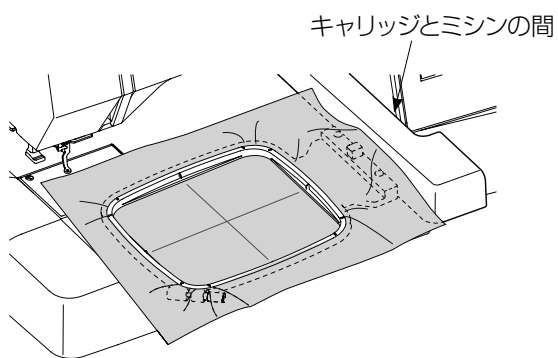
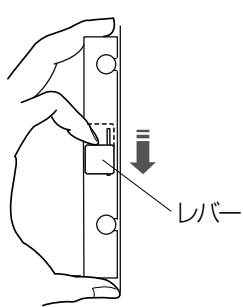
2



3



4



【取り外し】

ぬい終わったら刺しゅう枠を外します。

① 押さえ上げをあげます。

② はずみ車を手で手前にまわして針をあげます。

③ ロックキーを押してミシンをロック状態にします。

④ レバーを矢印の方向に動かして刺しゅう枠を外します。

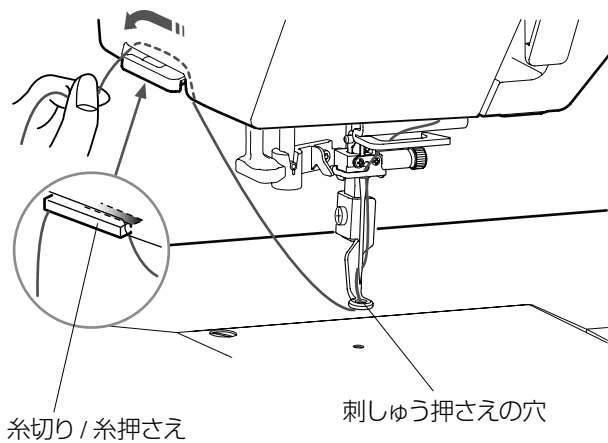
⚠ 注意

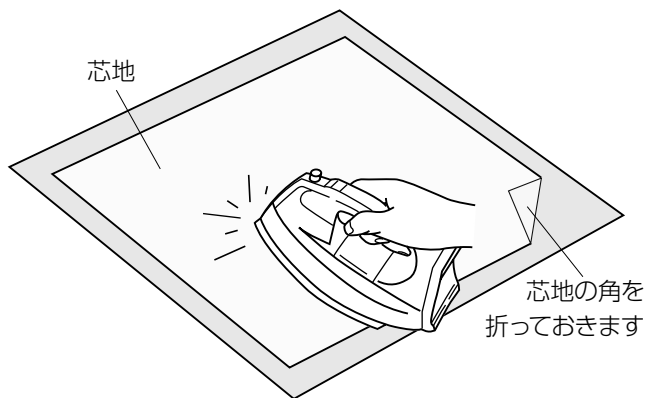
- キャリッジとミシンの間に布が入りこまないようにしてください。
- キャリッジは手で動かさないでください。
- ぬい中は、刺しゅう枠やキャリッジにふれないでください。

● ぬい始めの糸かけ

上糸の端をぬいこまないように、上糸を糸切り / 糸押さえにかけてください。

上糸を刺しゅう押さえの穴に通し、糸の端を糸切り / 糸押さえに手前から向こう側へ 2 ~ 3 cm 出してかけます。





● 芯地

刺しゅうをする布の裏側に芯地を貼るときれいに仕上がります。

使用法：

薄い布や化繊布、または、ジャージーのような伸縮性のある布の場合は、必ず芯地を貼ります。

しっかりした厚い布地は芯地を貼らずにそのままぬえます。芯地はアイロンで接着するタイプと接着しないタイプがあります。

接着しないタイプの芯地は、アイロンをかけられない布やアイロンをかけにくい部分に刺しゅうするとき使用してください。

【接着するタイプの芯地の貼り方】

布の裏（刺しゅうしない側）と、芯地の光沢のある糊付き面を向かい合わせにしておき、角を折ってアイロンがけします。

- ※ 芯地の角を折っておくと、刺しゅうが終わったあとに、芯地がはがしやすくなります。
- ※ アイロンの温度は、使用する芯地によって異なります。
- ※ のりが付着する場合があるので、ぬい終わったあとは、内がまをきれいに掃除してください。（75 ページ参照）

【水溶性の芯地（不織布タイプ）の用途、使用方法】

普通の芯地とは異なり、水溶性の芯地はぬるま湯にひたすか水洗いすることで溶けてなくなります。

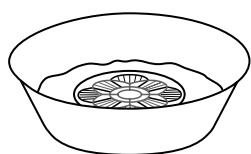
チュールやオーガンジーなどの薄い布や、タオルやベロア、コーデュロイなどの起毛している布の場合、水溶性の芯地を貼るときれいに仕上がります。

また、水溶性の芯地に刺しゅうをすると、模様そのものをモチーフとして使用したり、刺しゅう模様を重ねて立体的に仕上げたりすることができます。

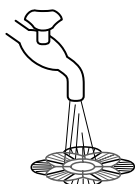
※ **水洗いできない素材には使用しないでください。**

※ タオルやベロア、コーデュロイなどの起毛している布に刺しゅうするときは、布の上に芯地を張ります。

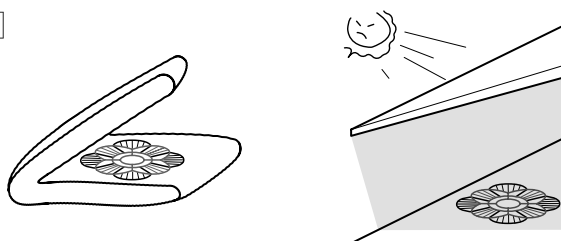
1



2



3



- 1 ぬい終わったあと、はさみで余分な芯地を切り落とし、ぬるま湯（35 ～ 45 度）にひたして芯地を溶かします。新しいぬるま湯にかえて 10 分程度ひたすと、きれいに取り除くことができます。
- 2 何度かぬるま湯ですすぐと柔らかくなります。
- ※ 強くもんだり、こすったりすると模様がくずれてしまうので注意してください。
- 3 芯地を溶かしたあとは、タオルにはさみ水分を吸い取り、日陰で平干しをして完全に乾かしてください。

◎ 内蔵模様の種類と選択方法

● 模様の選択（デザインカテゴリーキー）

電源投入時、通常ホーム画面が表示されます。

【模様キー】

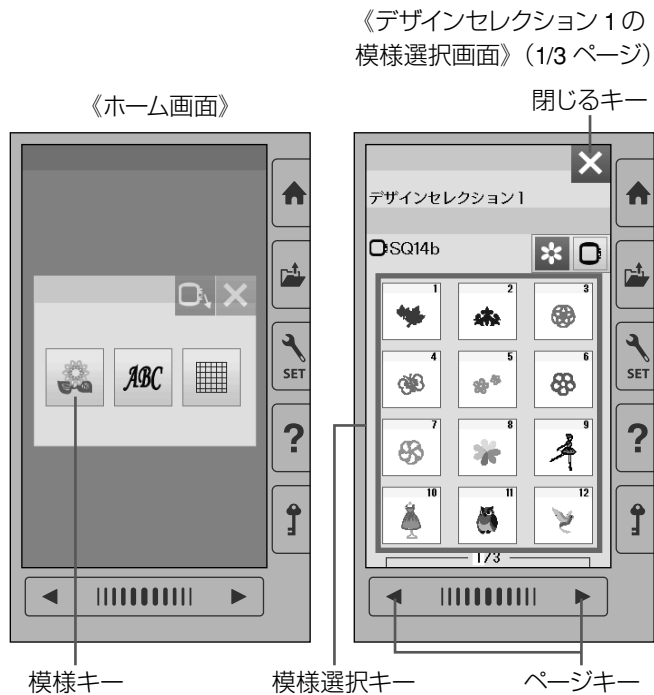
模様キーを押すと、ミシンに内蔵されているデザインセクション1の模様選択画面（1/3 ページ）になります。

※ ページキーでデザインセクション1の画面を切りかえます。

※ 閉じるキーを押すと、ホーム画面にもどります。

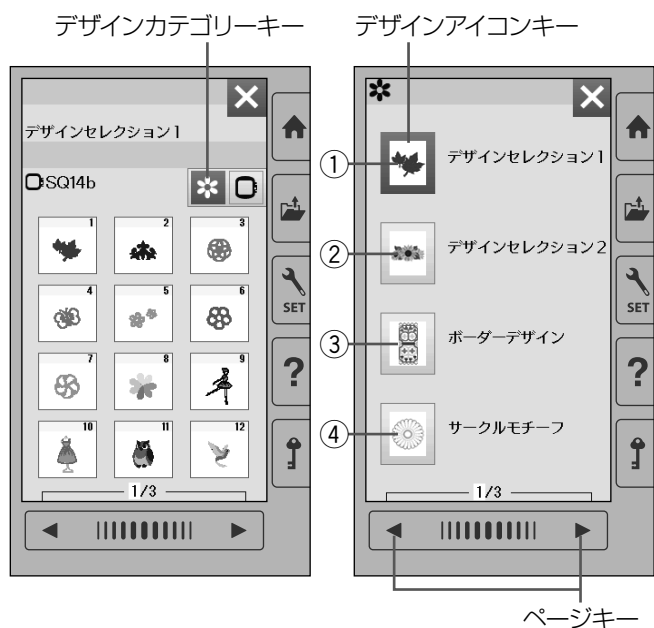
【模様選択キー】

模様選択キーを押すと、模様が選ばれます。



《デザインセクション1の
模様選択画面》（1/3 ページ）

《デザインカテゴリー画面》
（1/3 ページ）



● 模様の種類

【デザインカテゴリーキー】

他のグループの模様を選ぶときには、デザインカテゴリーキーを押します。

デザインアイコンキーを押して、グループを選びます。

内蔵模様のグループは、11 個のグループがあり、3 つのページに分かれています。

ページキーで画面を切りかえます。

【グループ模様】

① デザインセクション1

3 ページで構成されています。

SQ14b 枠使用模様が 25 個。

② デザインセクション2

4 ページで構成されています。

SQ14b 枠使用模様が 16 個。

SQ20b 枠使用模様が 14 個。

③ ボーダーデザイン

2 ページで構成されています。

SQ14b 枠使用模様が 4 個。

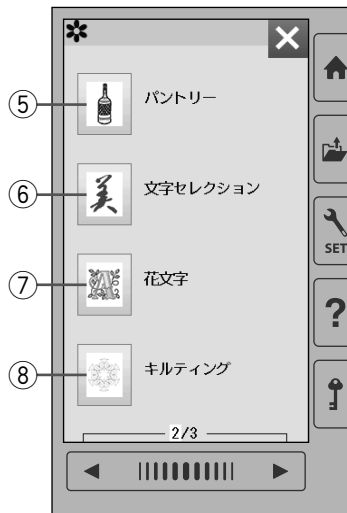
SQ20b 枠使用模様が 2 個。

④ サークルモチーフ

1 ページで構成されています。

SQ14b 枠使用模様が 12 個。

《デザインカテゴリー画面》
(2/3 ページ)



⑤ パントリー

2 ページで構成されています。
SQ14b 枠使用模様が 12 個。
SQ20b 枠使用模様が 2 個。

⑥ 文字セレクション

2 ページで構成されています。
SQ14b 枠使用模様が 8 個。
SQ20b 枠使用模様が 6 個。

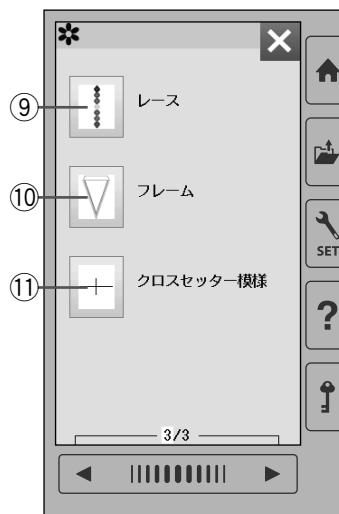
⑦ 花文字

4 ページで構成されています。
SQ14b 枠使用模様が 37 個。

⑧ キルティング

2 ページで構成されています。
SQ14b 枠使用模様が 4 個。
SQ20b 枠使用模様が 9 個。

《デザインカテゴリー画面》
(3/3 ページ)



⑨ レース

1 ページで構成されています。
SQ20b 枠使用模様が 5 個。

⑩ フレーム

1 ページで構成されています。
SQ20b 枠使用模様が 3 個。

⑪ クロスセッター模様

クロスセッター（オプション）に使用する基準線を作る模様です。
1 ページで構成されています。
SQ14b 枠使用模様が 1 個。

《デザインセレクション 1 の
模様選択画面》(1/3 ページ)

1



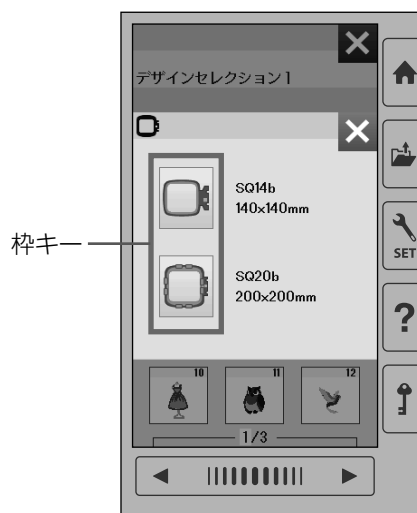
● 模様の選択（刺しゅう枠選択キー）

使用する刺しゅう枠から模様を選ぶことができます。

- ① 刺しゅう枠選択キーを押すと、刺しゅう枠の選択画面が表示されます。

2

《刺しゅう枠選択画面》



- ② 使用する枠キーを押します。

3 4

《SQ14b 模様選択画面》(1/10 ページ)

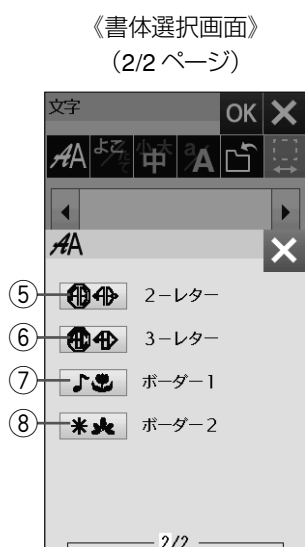
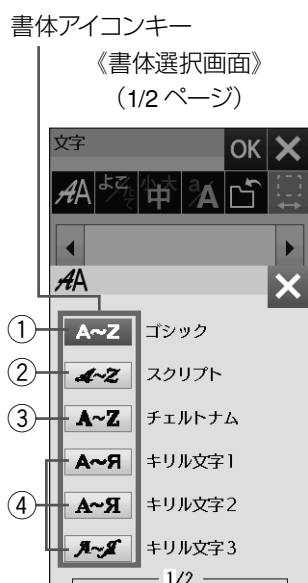
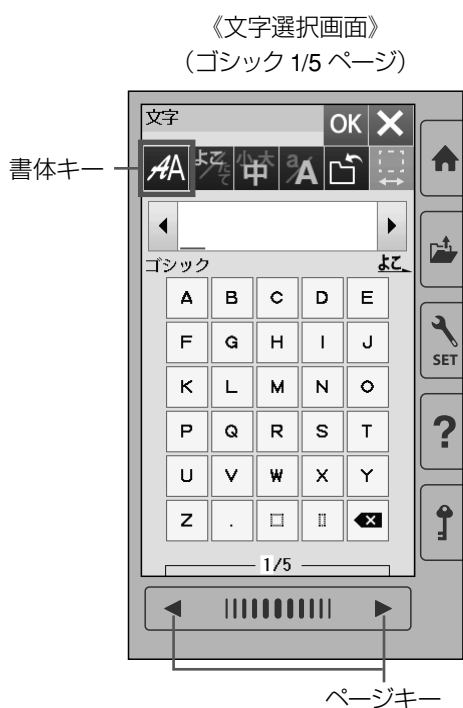
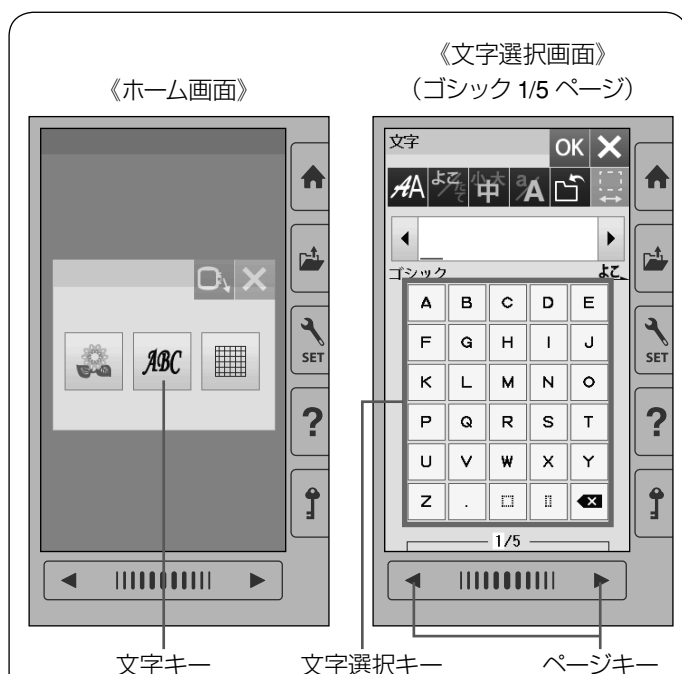


- ③ 選んだ刺しゅう枠のサイズで使える模様が表示されます。(例：SQ14b 枠)

※ ページキーで画面を切りかえます。

※ SQ14b 枠模様は、10 ページ、119 個模様があります。
SQ20b 枠模様は、4 ページ、41 個模様があります。

- ④ 模様選択キーを押して模様を選びます。



● 模様の選択（文字キー）

【文字キー】

文字キーを押すと、マシンに内蔵されているゴシック体文字グループの選択画面になります。

※ ページキーを押すと、数字、記号、ヨーロッパ文字に切りかえることができます。

文字選択キーを押して、文字を選びます。

【書体キー】

他の書体を選ぶときは、書体キーを押します。書体グループは、2 ページに 10 個のグループがあり、ページキーで切りかえます。

書体アイコンキーで書体グループを選びます。

【書体グループ】

① ゴシック

英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個の文字選択画面になります。

5 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

② スクリプト

英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個の文字選択画面になります。

5 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

③ チェルトナム

英字、数字、記号、ヨーロッパ文字、およびスペース模様 2 個の文字選択画面になります。

5 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

④ キリル文字 1・2・3

キリル文字は書体の異なる 3 種類です。

英字、数字、記号、およびスペース模様 2 個の文字選択画面になります。

3 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

⑤ 2-レター

2-レターの英字、枠の選択画面になります。

⑥ 3-レター

3-レターの英字、枠の選択画面になります。

⑦ ボーダー 1

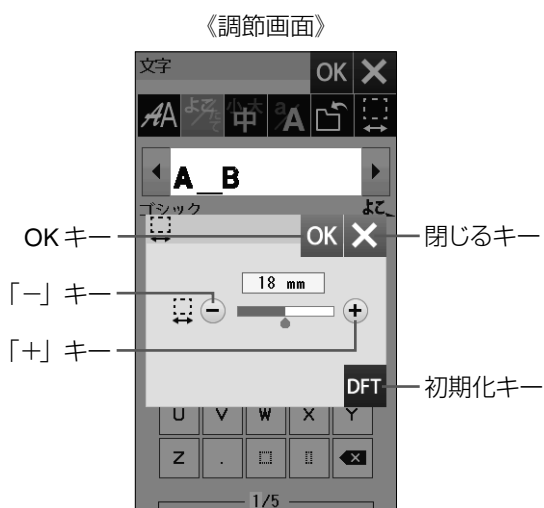
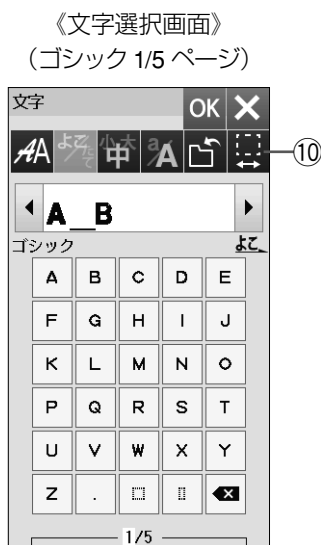
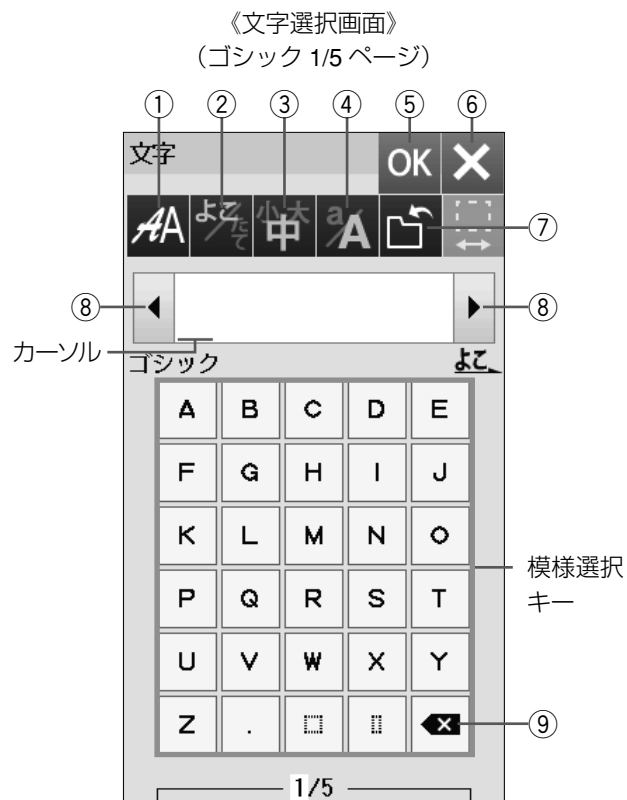
ボーダー模様の選択画面になります。

2 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。

⑧ ボーダー 2

ボーダー模様の選択画面になります。

4 つのページに分かれていて、ページキーで選択できます。



◎文字刺しゅう

●設定キー（文字選択画面）

文字（模様）に設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に設定します。

※ 選ばれている文字や設定の状態によっては、使用できないキーがあります。

① 書体キー

書体を選ぶときは、書体キーを押します。(27 ページ参照)

② 横書き・縦書き切りかえキー

横書きと縦書きを切りかえます。

※ 横書きと縦書きを組み合わせることはできません。

③ 文字サイズ切りかえキー

文字のサイズを「小」、「中」、「大」から選択します。
(小：10 mm、中：20 mm、大：30 mm)

④ 大文字・小文字切りかえキー

大文字と小文字を切りかえます。

⑤ OK キー

入力した文字を確定し、刺しゅう実行画面に移動します。

⑥ 閉じるキー

文字選択画面を閉じ、もとの画面にもどります。

⑦ 保存キー

組み合わせた文字をミシンや USB メモリに保存します。
(67 ～ 72 ページ参照)

⑧ カーソル移動キー

カーソルを移動させて、組み合わせた文字（模様）の中から変更したい文字（模様）を選ぶことができます。

⑨ 削除キー

カーソル移動キー ⑧ でカーソルを動かし、カーソル上の文字を削除します。カーソルが最後の文字の右側にある場合、最後の文字が削除されます。

⑩ スペース調節キー

スペースを入力してカーソルをスペースに合わせたときに表示されます。スペース調節キー押すと調節画面が表示されます。

文字間の間かくが均一でない場合、「+」、「-」キーで調節します。

「+」キーを押すと、間かくが広くなります。

「-」キーを押すと、間かくがせまくなります。

間かくを変更したあと OK キーを押します。

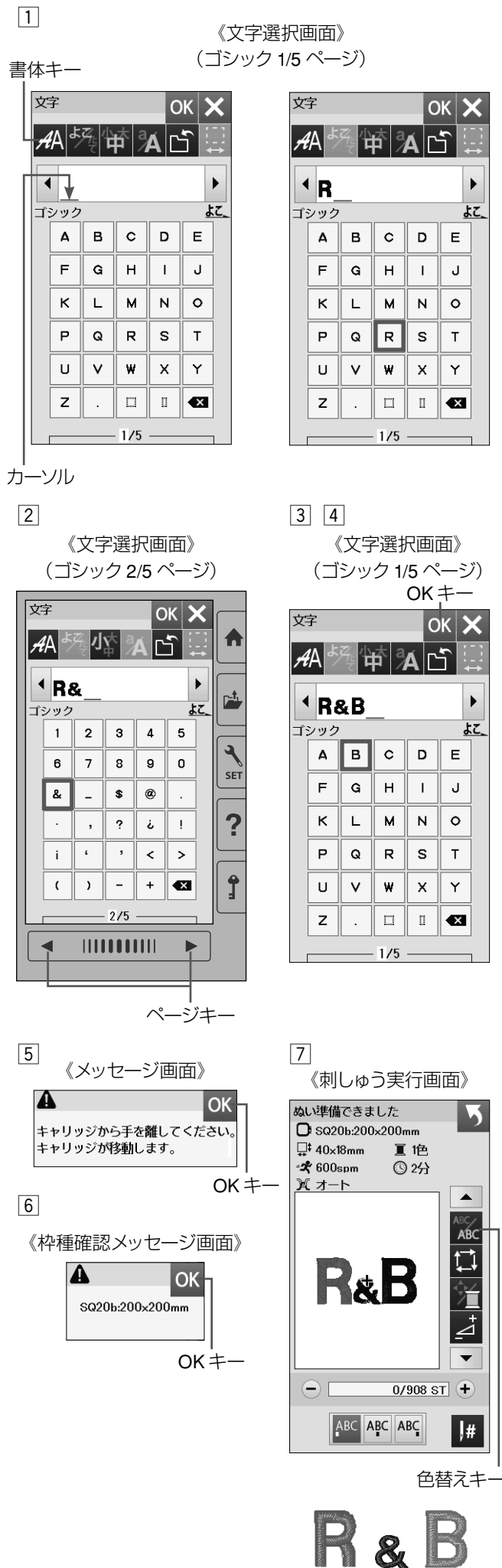
取り消すときは閉じるキーを押します。

※ オート値（購入時の設定状態）は 18 mm です。

オート値にもどす場合は、初期化キー（DFT）を押します。

● 文字の組み合わせ

例：書体「ゴシック」の「よこ書き」・文字サイズ「中」と「小」で「R&B」をぬう



1 書体キーでゴシックグループを選び、文字選択画面を表示させます。

「よこ書き」、文字サイズ「中」、文字「R」を選びます。

※ カーソルの位置に文字が挿入されます。

2 ページキーで 2/5 ページを表示させ、文字サイズ小、文字「&」を選びます。

3 ページキーで 1/5 ページを表示させ、文字サイズ中、文字「B」を選びます。

4 OK キーを押します。

5 キャリッジ移動のメッセージ画面が表示されます。
キャリッジから手を離し、OK キーを押します。

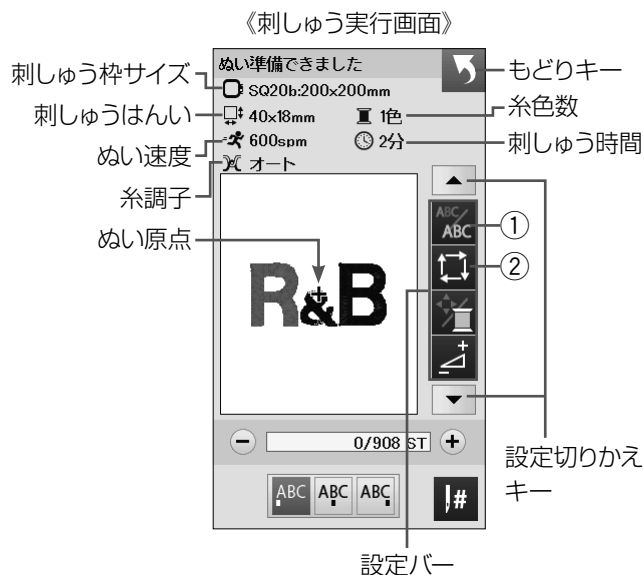
6 枠種確認メッセージ画面が表示されます。
枠を確認したら OK キーを押します。

※ 枠種確認メッセージ画面は、刺しゅうぬい設定の「枠種確認メッセージ」が「OFF」に設定されている場合は表示されません。(62 ページ参照)

7 ミシンをスタートさせると、「R&B」をぬったあと自動的にミシンは停止します。

※ 糸色をかえてぬうときは、ぬう前に色替えキーを押します。

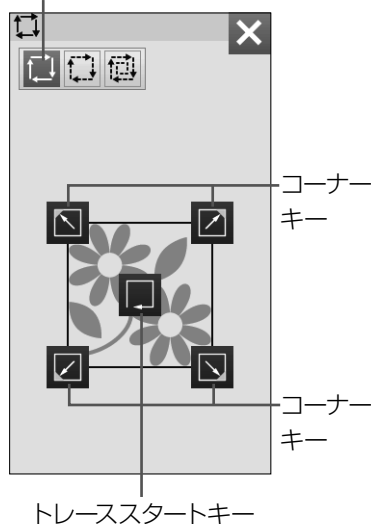
1 文字ぬうごとに、ミシンが停止します。糸を交換してぬいます。



1.

《ぬいはんい確認画面》

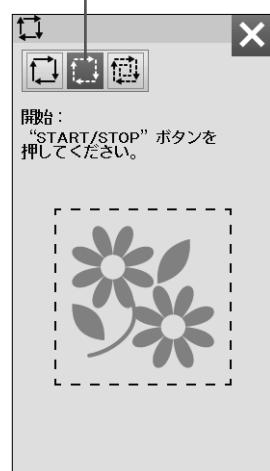
トレースキー



2.

《ぬいはんい確認画面》

トレース・しつけキー



3.

《ぬいはんい確認画面》

トレース・二重しつけキー



● 設定キー（文字刺しゅう実行画面）

※ 設定切り替えキーで設定バーの表示を切りかえます。

① 色替えキー

色替えキー①を押すと、キー表示がかわり 1 文字ぬうごとに、ミシンが停止します。糸を交換してぬいます。

② 刺しゅうはんい確認キー


刺しゅうはんい確認キー②を押すと、ぬいはんい確認画面が表示されます。

ぬいはんい確認画面から 3 つの確認ができます。

1. トレースキー

押さえ上げをあげます。

トレーススタートキー  を押して、刺しゅうはんい（全体）を確認します。

※ コーナーキー  を押すと、刺しゅうはんいの各コーナーの位置に刺しゅう枠を移動させることができ、コーナーごとに刺しゅうはんいを確認できます。

2. トレース・しつけぬいキー

押さえ上げをさげます。

スタート/ストップボタン (START/STOP) を押すと、しつけをしながら刺しゅうはんいを確認します。

※ しつけをする前に下糸を針板の上に引き出しておきます。(15 ページ参照)

※ しつけは、刺しゅうはんい外側 5 mm (ぬいしろ) をしつけぬいます。ただし、しつけぬいのはんいが刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

3. トレース・二重しつけぬいキー

押さえ上げをさげます。

スタート/ストップボタン (START/STOP) を押すと、内側と外側のしつけをしながら刺しゅうはんいを確認します。

※ しつけをする前に下糸を針板の上に引き出しておきます。(15 ページ参照)

※ しつけは、刺しゅうはんい外側 5 mm (ぬいしろ) をぬいます。ただし、しつけぬいのはんいが刺しゅう可能はんい最大値を超えたときは、ぬいしろは入りません。

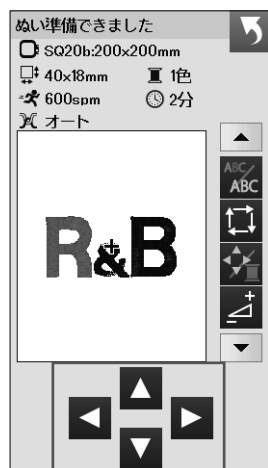
※ もとの画面にもどる場合は、押さえ上げをあげて、閉じるキーを押します。

《刺しゅう実行画面》



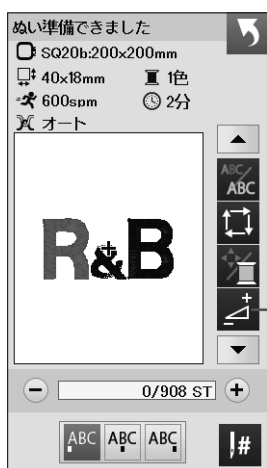
針数

《ジョグキー表示画面》

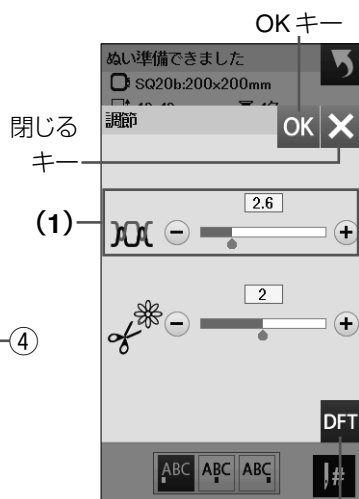


ジョグキー

《刺しゅう実行画面》

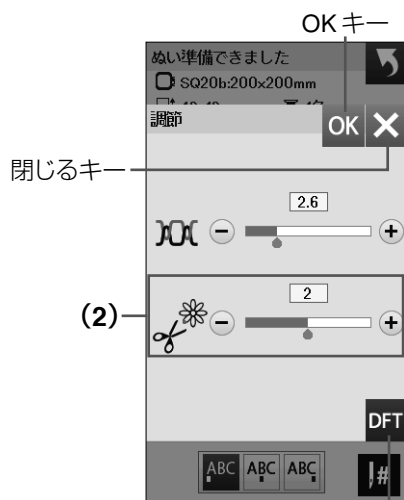


《調節画面》



初期化キー

《調節画面》



初期化キー

③ 針数・糸色/ジョグ切りかえキー

針数・糸色/ジョグ切りかえキー ③ を押すと、ジョグキーの画面が表示されます。

針位置が布の十字マークの中央の真上にくるようにジョグキーで刺しゅう位置を調節します。移動したい方向のジョグキーを押します。

※ もとの画面にもどる場合は、針数・糸色/ジョグ切りかえキー ③ を押します。

④ 調節キー

調節キー ④ を押すと、調節画面が表示されます。

糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さが調節できます。

(1) 糸調子の調節

「+」、「-」キーを押して糸調子を調節します。

糸調子を変更したあと、OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は受け付けられず、もとの画面にもどります。

※ オート値（購入時の設定状態）にもどすときは、初期化キー（DFT）を押して、OK キーを押します。

(2) 渡り糸の糸切り時の残糸の長さ調節

※ 刺しゅうぬい設定の「トリミングモード(糸切り設定)」が「ON」、または「カスタマイズ」で「渡り糸の糸切り長さ」(渡り糸の間隔が何 mm 以上の場合に行うかの数値)を「OFF」以外に設定している場合のみ設定できます。(64 ページ参照)

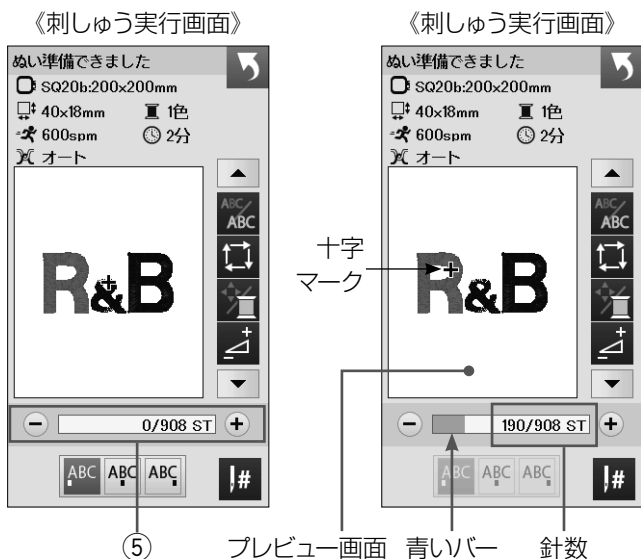
「+」、「-」キーを押して、渡り糸の糸切り時の残糸の長さを調節します。調節は、「1」、「2」、「3」で調節できます。

残糸の長さを変更したあと OK キーを押します。

取り消すときは閉じるキーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更した内容は受け付けられず、もとの画面にもどります。

※ オート値（購入時の設定状態）にもどすときは、初期化キー（DFT）を押して、OK キーを押します。



⑤ 針数

ぬい始めると、1 針目からの針数 ⑤ が表示されます。

針前進「+」キーと針後進「-」キーで針数を前進させたり後進させたりすることができます。

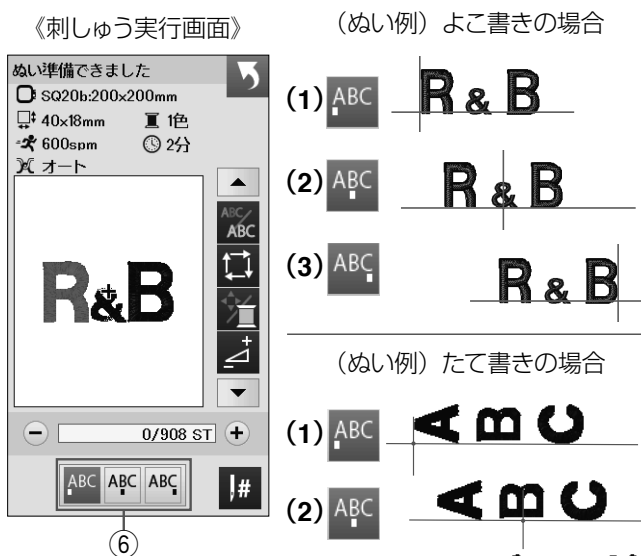
前進させるときは、針前進「+」キーを押します。

後進させるときは、針後進「-」キーを押します。

※ 「+」、「-」キーを長押しすると、1 針から 10 針、100 針、500 針と前進、または後進します。

※ 青いバーは、ぬいの進行具合を表示しています。

※ プレビュー画面上の十字マーク（ぬい位置）は、現在のぬい位置（針の位置）を表しています。
十字マークを消す場合、プレビュー画面を押してください。



⑥ ぬい原点キー

文字のぬい原点は、よこ書きとたて書きでそれぞれ 3 種類のぬい原点キー ⑥ で選択できます。

(1) トップボトム

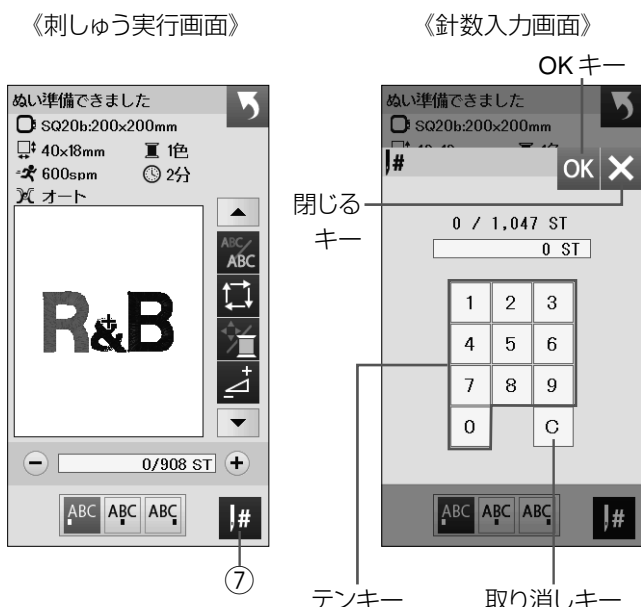
先頭のぬい原点で下合わせとなります。

(2) センターボトム

中央のぬい原点で下合わせとなります。

(3) エンドボトム

最終のぬい原点で下合わせとなります。



⑦ 針ジャンプキー

針ジャンプキー ⑦ を押すと、テンキーが表示されます。

移動したい針数の数字を入力してください。

OK キーを押すと、入力した針数の位置に枠が移動します。

※ 数字入力をまちがえたときは、取り消しキーを押して数字を消去してください。取り消しキーを押すと、数字は「0」になります。

※ 閉じるキーを押すと、数字入力は受け付けられず、もとの画面にもどります。

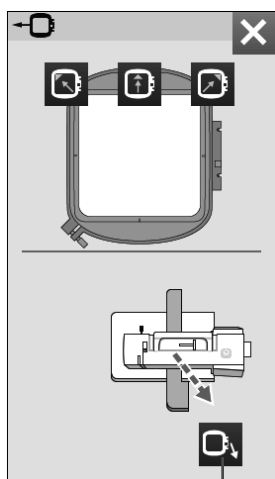
1 2 3

《刺しゅう実行画面》



4

《キャリッジ移動画面》



キャリッジ収納キー

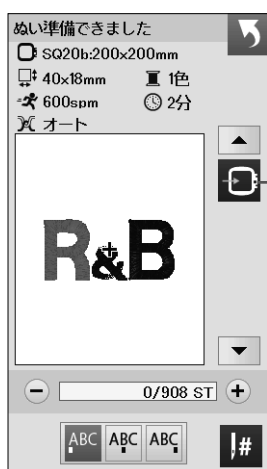
《メッセージ画面》



閉じるキー

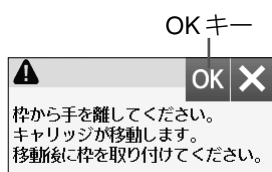
5

《刺しゅう実行画面》 (キャリッジ移動後)



キャリッジ
もどるキー

《メッセージ画面》



OKキー


⑧ キャリッジ移動キー


設定切り換えキーで設定バーの表示を切りかえます。
キャリッジ移動キー ⑧ を押すと、キャリッジ移動画面が表示されます。


- ① はずみ車を手で手前にまわし、針をあげます。
- ② 押さえ上げをあげます。
- ③ 刺しゅう実行画面のキャリッジ移動キー ⑧ を押すとキャリッジ移動画面が表示されます。
- ④ キャリッジ移動画面のキャリッジ収納キーを押すと、メッセージ画面が表示されます。
OK キーを押すと、キャリッジが収納位置に移動し刺しゅう実行画面にもどります。

※ 閉じるキーを押すと、もとの画面にもどります。

※ キャリッジ移動画面の  キーを押すと、枠の左上に針位置がくるようにキャリッジが移動します。

 キーを押すと、枠の中央上に針位置がくるようにキャリッジが移動します。

 キーを押すと、枠の右上に針位置がくるようにキャリッジが移動します。

※  キーは、刺しゅう枠を外してから使用してください。

⑤ 刺しゅう実行画面でキャリッジを移動したあとに表示されるキャリッジもどるキーか、スタート/ストップボタン (START/STOP) を押すと、メッセージ画面が表示されます。

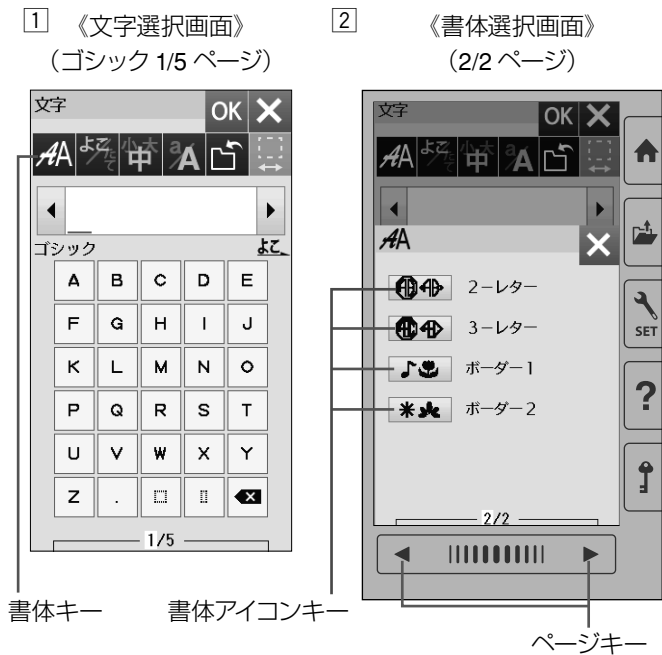
OK キーを押すと、キャリッジがもとの位置にもどります。

刺しゅう枠を取り外した場合、キャリッジ移動後に枠を取り付けます。

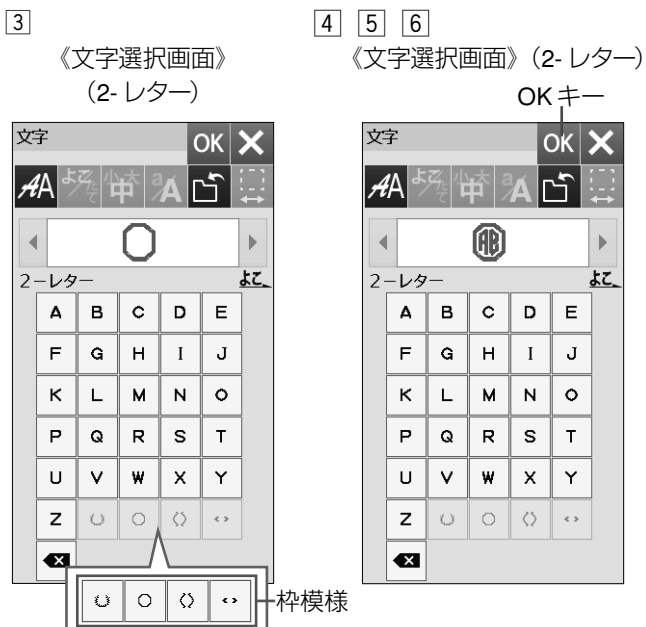
● 2- レター

例：2- レター「」をぬう

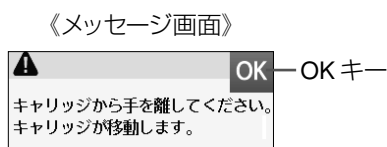
- ① 書体キーを押し、書体選択画面を表示させます。
- ② ページキーで 2/2 ページを表示させ、書体アイコンキーの「2- レター」を選びます。



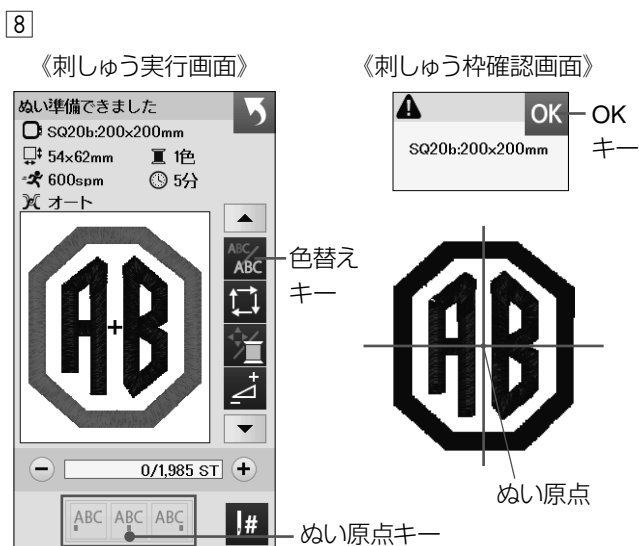
- ③ 枠模様を選びます。
※ 枠模様は、文字を選ぶ前に選んでください。
- ④ 文字「A」を選びます。
- ⑤ 文字「B」を選びます。
- ⑥ OK キーを押します。



- ⑦ キャリッジ移動のメッセージ画面が表示されます。
キャリッジから手を離し、OK キーを押します。
キャリッジがぬい開始位置に移動します。



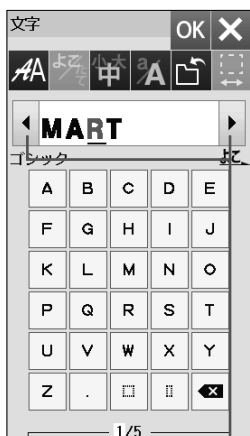
- ⑧ 刺しゅう枠確認画面が表示されます。
枠を確認し、OK キーを押します。
刺しゅう実行画面が表示されます。
ミシンをスタートさせます。
※ ぬいの前に色替えキーを押すと、1 文字ぬうごとに、ミシンが停止します。糸を交換してぬうことができます。



1 《文字選択画面》
(ゴシック 1/5 ページ)



2



カーソル移動キー

3

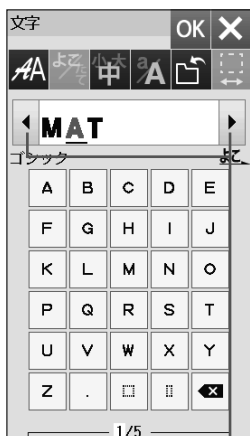


削除キー

《文字選択画面》
(ゴシック 1/5 ページ)



1



カーソル移動キー

2



● 文字の削除 / 挿入

文字を組み合わせたあとでも、組み合わせた文字の一部を削除したり、文字を追加したりすることができます。

文字の削除：「MART」の「R」を削除

1 「MART」と入力します。

2 カーソル移動キーで修正（削除）する文字「R」を選びます。

※ カーソルで選択された文字は赤色にかわります。

3 削除キーを押します。

※ 最後の文字を削除したい場合、カーソルが最後の文字の右側にあっても削除されます。

文字の挿入：「MAT」に「E」を挿入し、「MEAT」にする

1 カーソル移動キーで挿入したい次の文字「A」に移動します。

2 文字「E」を選びます。

「E」が「A」の前に挿入されます。

● 模様刺しゅう実行画面

例：デザインセレクション 2 の模様 1

(模様の選択は 24 ページ参照)

刺しゅう実行画面の表示は左のようになります。

【十字マーク】

プレビュー画面上の十字マークは、現在のぬい位置（針の位置）を表示しています。

十字マークを消す場合は、プレビュー画面を押してください。

【針前進 / 後進キ一】

ぬい始めると、1 針目からの針数が表示されます。

針前進「+」キーと針後進「-」キーで針数を前進させたり後進させたりすることができます。

前進させるときは、針前進「+」キーを押します。

後進させるときは、針後進「-」キーを押します。

※「+」、「-」キーを長押しすると、1 針から 10 針、100 針、500 針と前進、または後進します。

※ 針数と総針数は針数ウィンドウに表示されます。

※ めいが進むと進行バー（水色）が表示され、刺しゅうの進行具合を確認できます。

ぬいが終了すると、進行バーは「0」にもどります。

【針ジャンプキー】

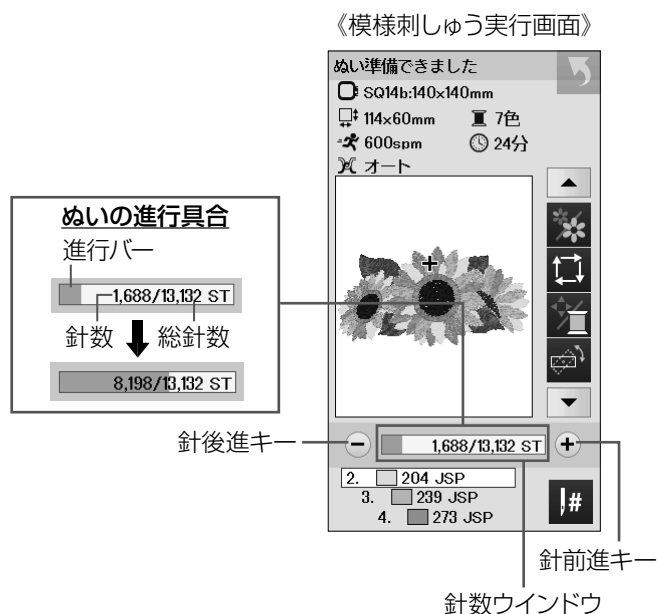
針ジャンプキーを押すと、テンキーが表示されます。

移動したい針数の数字を入力してください。

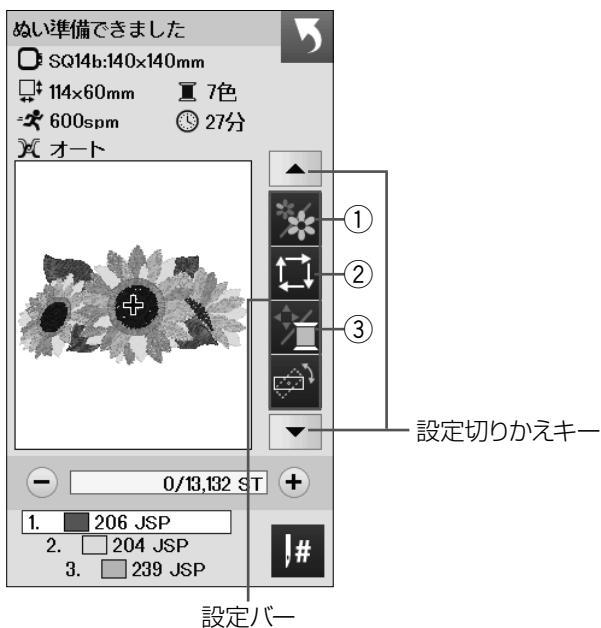
OK キーを押すと、入力した針数の位置に枠が移動します。(32 ページ参照)

※ 数字入力をまちがえたときは、取り消しキーを押して数字を消去してください。取り消しキーを押すと、数字は「0」になります。

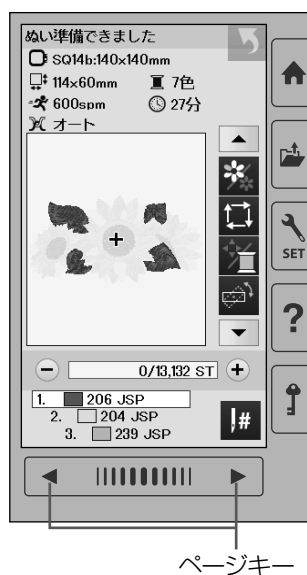
※ 閉じるキーを押すと、数字入力は受け付けられず、もとの画面にもどります。



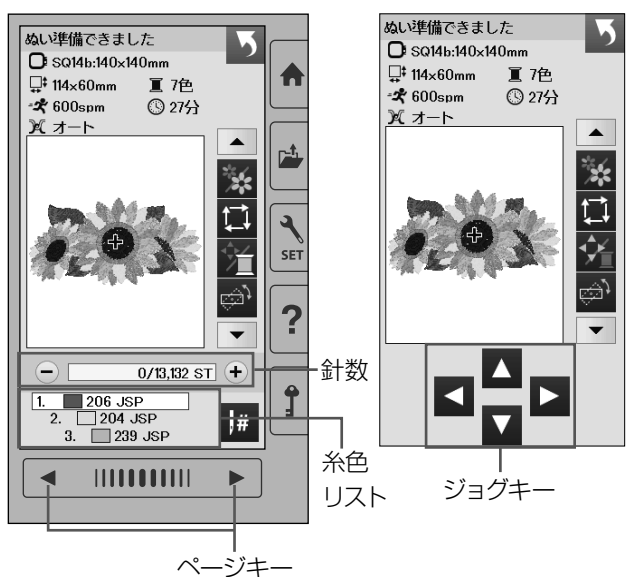
《模様刺しゅう実行画面》



《色替えごとの模様表示画面》



《模様刺しゅう実行画面》



● 設定キー（模様刺しゅう実行画面）

例：デザインセレクション 2 の模様 1

（模様の選択は 24 ページ参照）

設定キーで内蔵模様を設定されているぬい条件をお好みのぬい条件に変更します。

※ 設定切りかえキーで設定バーの表示を切りかえます。

① 模様表示切りかえキー

キーを押すと、色替えごとの模様表示画面になります。ぬい順序と使用する糸の糸色、糸色名が確認できます。ページキーで表示を切りかえます。

② 刺しゅうはんい確認キー

キーを押すと、ぬいはんい確認画面が表示されます。ぬいはんい確認画面から 3 つの確認ができます。（30 ページ参照）

③ 針数・糸色 / ジョグ切りかえキー

キーを押すと、ジョグキーの画面と針数、糸色リストの画面に切りかわります。

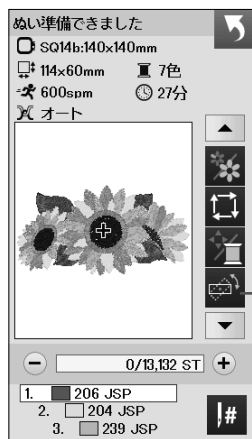
針位置が布の十字マークの中央の真上にくるようにジョグキーで刺しゅう位置を調節します。

移動したい方向のジョグキーを押します。

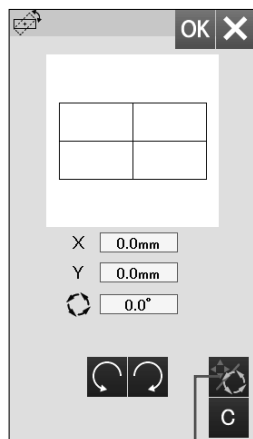
糸色リストの確認は、ページキーで行います。

※ 文字ぬいの場合は、糸色のリストはありませんが、模様の場合には、ジョグキーと針数と糸色リストに切りかわります。

《模様刺しゅう実行画面》

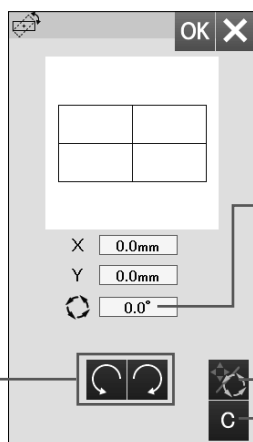


《模様外形表示画面》



角度 / ジョグキー切りかえキー

《角度微調節画面》



角度の値

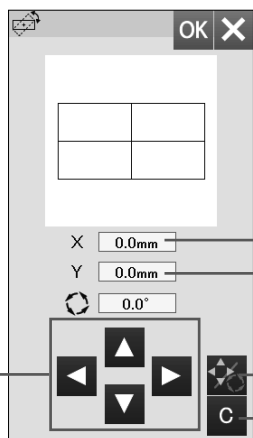
角度キー

角度 / ジョグキー

切りかえキー

取り消しキー

《位置微調節画面》



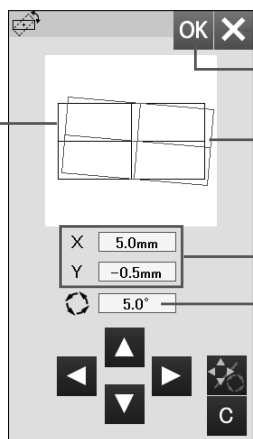
ジョグキー

角度 / ジョグキー

切りかえキー

取り消しキー

《微調節画面》(調節後)



閉じるキー

OK キー

赤い枠

移動距離

回転角度



④ 位置 / 角度微調節キー

刺しゅう枠をミシンから外さないで、刺しゅうの位置や角度の微調節ができます。

刺しゅう位置 / 角度微調節キーを押すと、模様外形表示画面が表示され、模様の外形と中心線を表示します。

【角度微調節】

角度 / ジョグキー切りかえキーを押して、角度微調節画面を表示させます。

- 角度キー  を押すと、模様を時計回りに 0.5° 回転させます。
- 角度キー  を押すと、模様を半時計回りに 0.5° 回転させます。

※ もとの位置から回転させた角度の値が画面に表示されます。





※ 角度は -5.0° ~ 5.0° のはんいで 0.5 mm 単位で調節できます。

※ 取り消しキーを押すと、設定値が「0.0」になります。

※ 刺しゅうはんいを超えて調節することはできません。

【位置微調節】

角度 / ジョグキー切りかえキーを押して、位置微調節画面（ジョグキーを表示）を表示させます。

- ジョグキー  を押すと、模様を右方向へ 0.5 mm 移動します。
- ジョグキー  を押すと、模様を左方向へ 0.5 mm 移動します。
- ジョグキー  を押すと、模様を上方向へ 0.5 mm 移動します。
- ジョグキー  を押すと、模様を下方向へ 0.5 mm 移動します。

※ もとの位置から移動した距離 (mm) は、横方向調節値 (X)、縦方向調節値 (Y) として画面に表示されます。

※ 刺しゅうの位置は -5.0 mm ~ 5.0 mm のはんいで 0.5 mm 単位で調節できます。

※ 取り消しキーを押すと、設定値が「0.0」になります。

※ 刺しゅうはんいを超えて調節することはできません。

※ 数値の単位はミリメートルで表示されます。

調節を行うと調節した角度および位置に赤い枠が表示され、もとの位置との違いが確認できます。

調節を確定するときは、OK キーを押します。

調節を取り消すときは、閉じるキーを押します。

《模様刺しゅう実行画面》



設定バー

設定切り換えキー

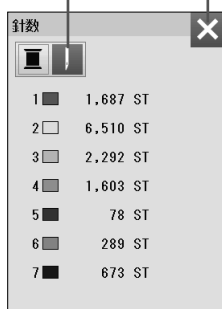
《糸色表示画面》

糸色キー 閉じるキー



《針数表示画面》

針数キー 閉じるキー



⑤ 糸色確認キー

設定切り換えキーで設定バーの表示を切りかえます。

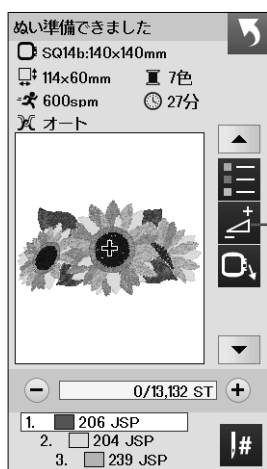
糸色確認キーを押すと、糸色表示画面が表示されます。

針数キーを押すと、使用糸色の針数が表示されます。

糸色キーを押すと、ぬい順序と使用する糸の糸色、糸色名が表示されます。

※ 閉じるキーを押すと、もとの画面にもどります。

《模様刺しゅう実行画面》



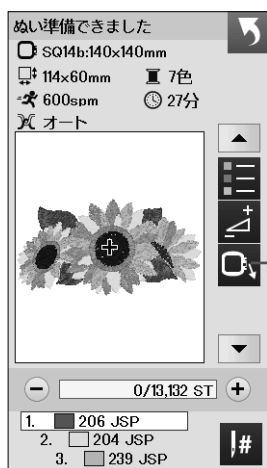
⑥

⑥ 調節キー

キーを押すと、調節画面が表示されます。

糸調子、渡り糸の糸切り時の残糸の長さが調節できます。
(31 ページ参照)

《模様刺しゅう実行画面》



⑦

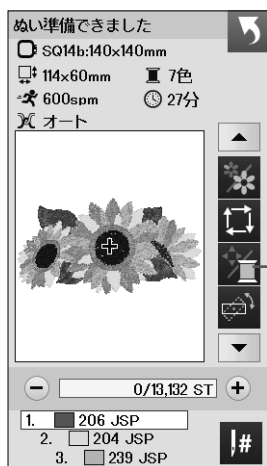
⑦ キャリッジ移動キー

キーを押すと、キャリッジ移動画面が表示されます。

(33 ページ参照)

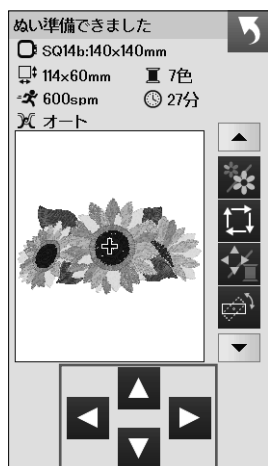
1

《ぬい実行画面》



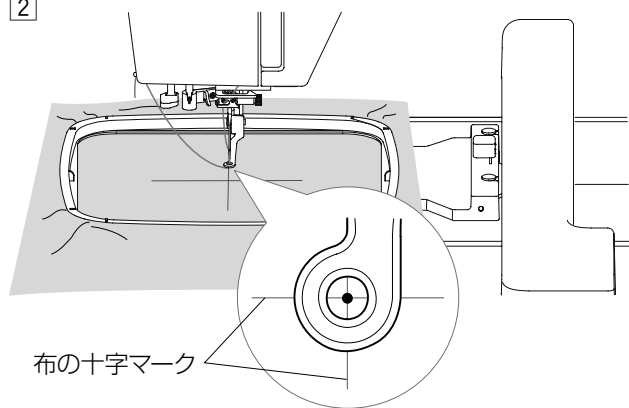
針数・糸色 / ジョグ切りかえキー

《ぬい実行画面》



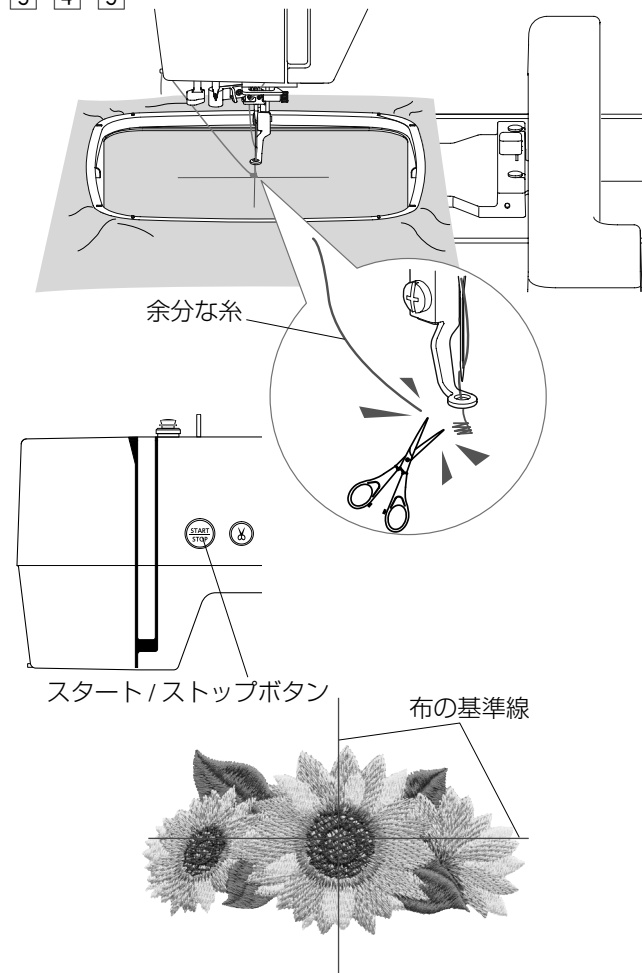
ジョグキー

2



布の十字マーク

3 4 5



スタート/ストップボタン

布の基準線

● 模様刺しゅう

例：デザインセレクション 2 の模様 1

(模様の選択は 24 ページ参照)

- 1 デザインセレクション 2 グループの模様 1 を選びます。

- 2 布の十字マーク中央と針の位置がずれている場合は、ジョグキーで十字マークの中央に針がくるように調節します。

※ ジョグキー表示は針数・糸色 / ジョグ切りかえキーを押します。

注意

ぬい途中でジョグキーを操作した場合、ぬい終了時にはジョグキーで移動した調節量は、破棄されます。次にぬう場合は、ぬい開始時の位置にもどります。また、編集画面にもどったときにもジョグキーの調節量は反映されません。

- 3 糸を糸切り / 糸押さえにかけて (22 ページ参照)、スタート / ストップボタン (START/STOP) を押します。

5 ~ 6 針ぬったところでスタート / ストップボタン (START/STOP) を押し、ミシンを止めます。

- 4 糸切り / 糸押さえにかけた糸をぬい目の近くで切ります。

- 5 スタート / ストップボタン (START/STOP) を再度押します。1 番目の糸色をぬい終わると、ミシンが自動的に止まります。

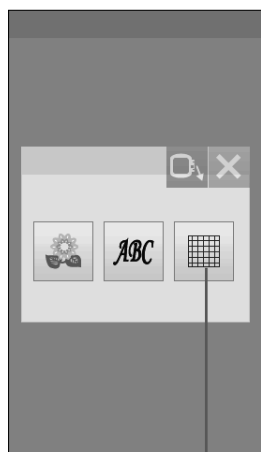
刺しゅうぬい設定の「トリミングモード(糸切り設定)」が「ON」の場合、自動的に糸が切られます。(64 ページ参照)

【ぬいあがり】

模様は、布の基準線に対して、図のようにぬいあがります。

1

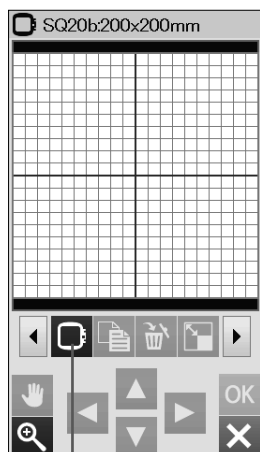
《ホーム画面》



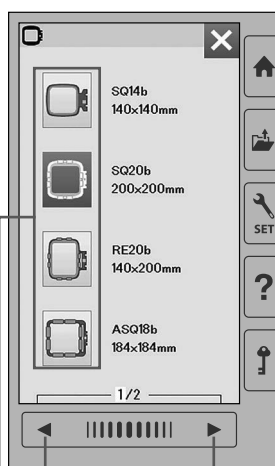
編集キー

2

《編集画面》

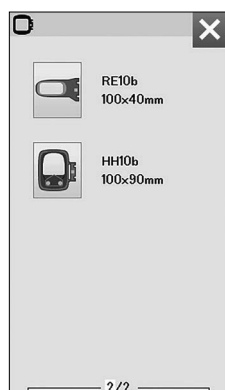


枠選択キー

《刺しゅう枠選択画面》
(1/2 ページ)

ページキー

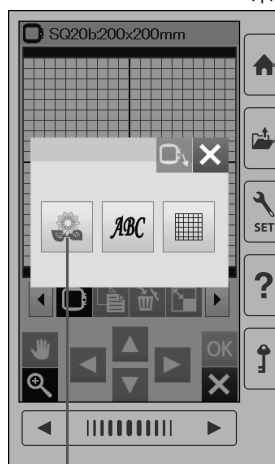
刺しゅう枠のアイコン

《刺しゅう枠選択画面》
(2/2 ページ)

《ホーム画面》

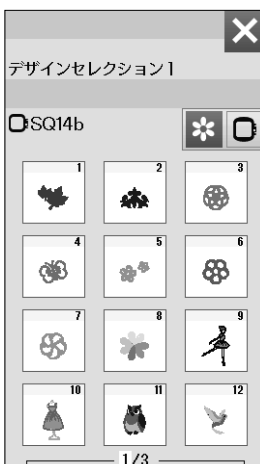
ホームキー

《模様選択画面》



模様キー

ファイルオープンキー



◎ 刺しゅう模様の編集

● 編集画面を開く

編集画面では、刺しゅう模様を組み合わせたり、ぬい位置を移動したり、大きさや向きをかえたり、自由に編集することができます。

① 編集キーを押します。

編集画面に切りかわります。

② 編集画面の枠選択キーを押すと、刺しゅう枠選択画面 (1/2 ページ) が表示されます。

ページキーで画面を切りかえます。

刺しゅう枠のアイコンを押して、お好みの刺しゅう枠を選択します。

※ 初期の状態（購入時の設定状態）は、刺しゅう枠 (SQ20b) が表示されます。

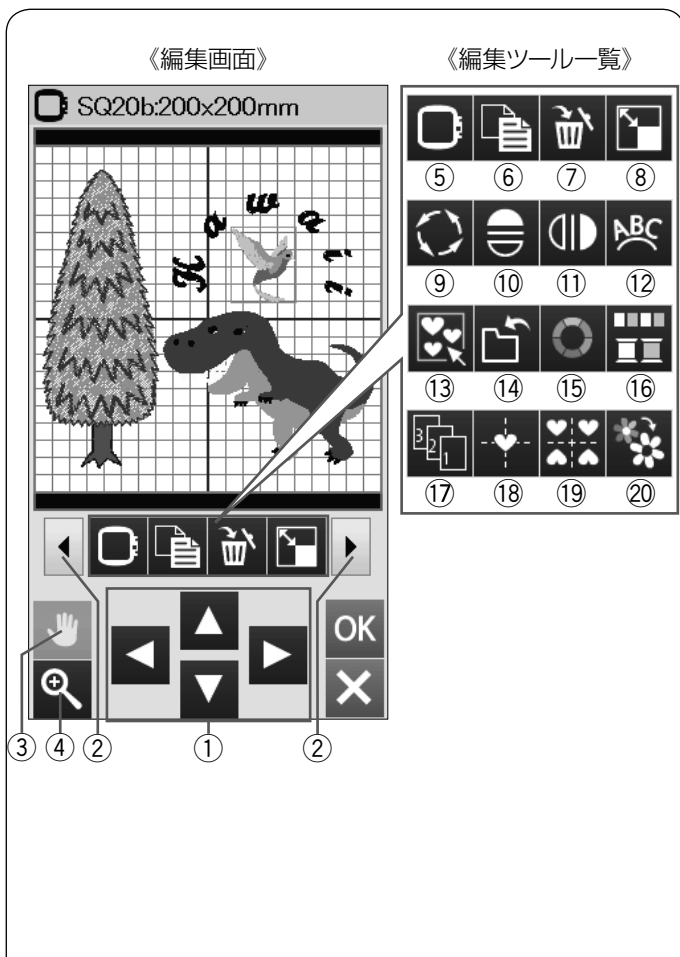
※ その他の刺しゅう枠は、オプションになります。

● 模様を選択する

編集画面では内蔵模様、文字、USB メモリに保存した刺しゅう模様を開くことができます。

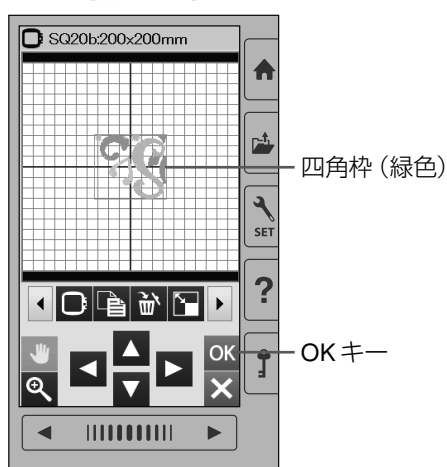
※ 内蔵模様、文字を選ぶ場合は、ホームキーを押します。

※ USB メモリから模様を選ぶ場合は、ファイルオープンキーを押します。(73 ~ 74 ページ参照)



1

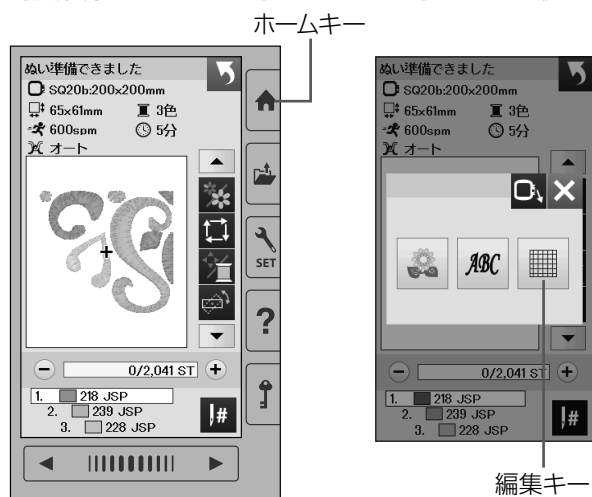
《編集画面》



2

《模様刺しゅう実行画面》

《ホーム画面》



● 編集ツール

模様（編集）に設定されているぬい条件をお好みの条件に変更します。

編集ツールバーには以下の編集ツールキーが含まれています。設定切りかえキーを押し、編集ツールバーの表示を切りかえます。

※ 選ばれている模様や設定の状態によっては、使用できないキーがあります。

- ① ジョグキー
- ② 設定切りかえキー
- ③ 表示移動キー
- ④ ズームキー
- ⑤ 枠選択キー
- ⑥ コピーキー
- ⑦ 削除キー
- ⑧ 拡大 / 縮小キー
- ⑨ 回転キー
- ⑩ 上下反転キー
- ⑪ 左右反転キー
- ⑫ アークキー
- ⑬ グループキー
- ⑭ 保存キー
- ⑮ 模様色 / 背景色変更キー
- ⑯ 同色まとめキー
- ⑰ ぬい順序変更キー
- ⑱ センターポジションキー
- ⑲ コーナーレイアウトキー
- ⑳ 単色ぬいキー

★ 編集する模様の選択

例：サークルモチーフの模様 11

（模様の選択は 24 ページ参照）

サークルモチーフの模様 11 を選ぶと、編集画面の中央に模様が表示されます。

- ① 編集画面で編集したい模様を押すと、選択された模様は、緑色の四角枠で囲まれます。

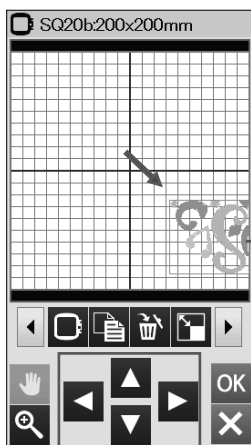
OK キーを押します。

- ② 模様刺しゅう実行画面になります。

※ ホームキーを押し、編集キーを押すと、編集画面にもどります。

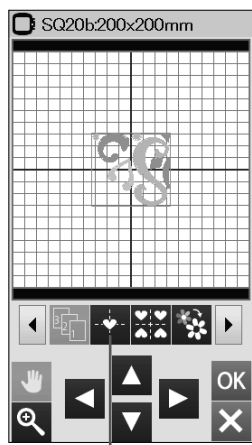
※ ぬっている途中で、編集はできません。

《編集画面》



ジョグキー

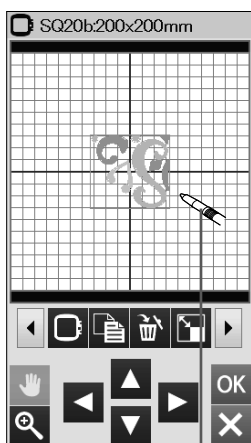
《編集画面》



センターポジションキー

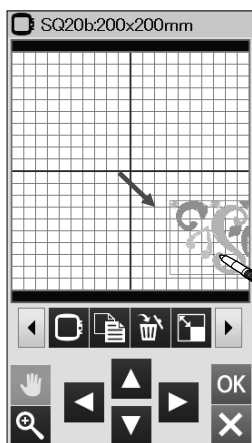
四角枠 (緑色)

《編集画面》



タッチペン

《編集画面》



★ 模様の移動

【ジョグキーを使う】

編集画面内の模様を移動させるには、動かしたい模様を押します。

選択した模様が緑色の枠で囲まれます。

動かしたい方向のジョグキーを押して、移動します。

センターポジションキーを押すと、中心位置に模様がもどります。

※ 模様を移動してもキャリッジは移動しません。

【タッチペンか指を使う】

動かしたい模様をタッチペンか指で押しながら、動かしたい位置までそのまま移動します。

※ 先端のとがったもので画面を押さないでください。
故障の原因となります。

★ 編集画面を拡大する

編集画面を拡大表示して編集することができます。

- ① ズームキー（+）を押します。
- ② 拡大表示キー選択画面が表示されます。
好みのキーを選びます。
- ③ 拡大表示画面になります。

※ ズームキー（-）を押すと、拡大表示キー選択画面にもどります。

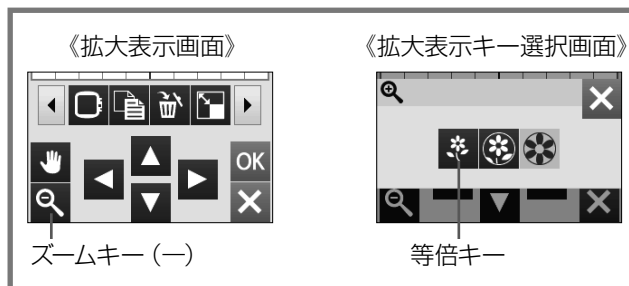
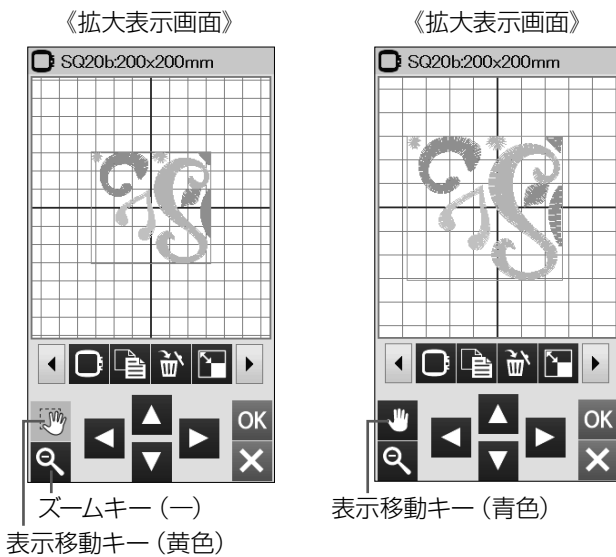
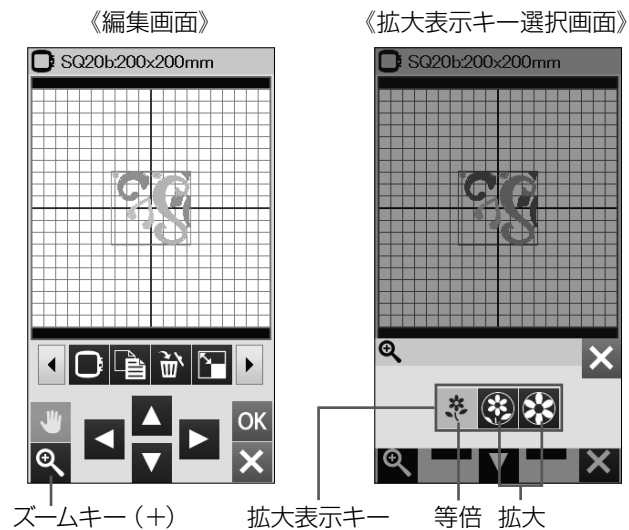
【表示移動キー】

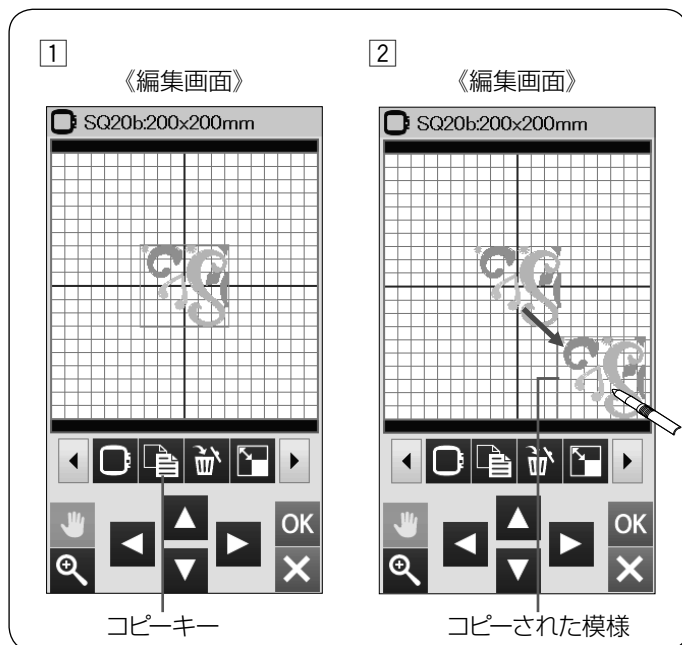
ズームキー（+）で拡大表示させたときに、大きな模様や編集画面上の端にレイアウトした模様は、画面上に表示しきれない場合があります。ズームキー（+）を押すと自動的に表示移動キーがオン（黄色）にかわり、画面にタッチペンか指で直接ふれて画面を移動させることができます。

※ ジョグキーで移動させないでください。
模様のぬい位置が移動します。

表示移動キーを押してキーを青色にかけると、選択した模様の移動ができます。

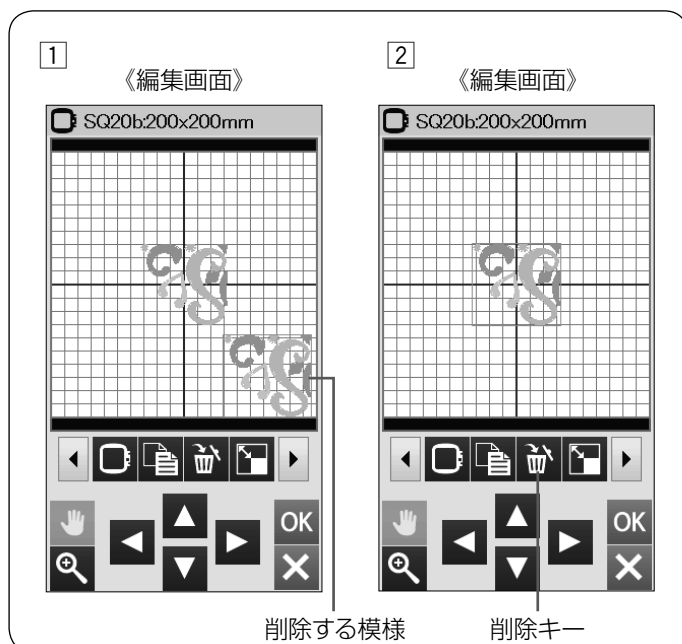
※ 拡大した模様をもとのサイズにもどすときは、ズームキー（-）を押し、拡大表示キー選択画面の等倍キーを押します。





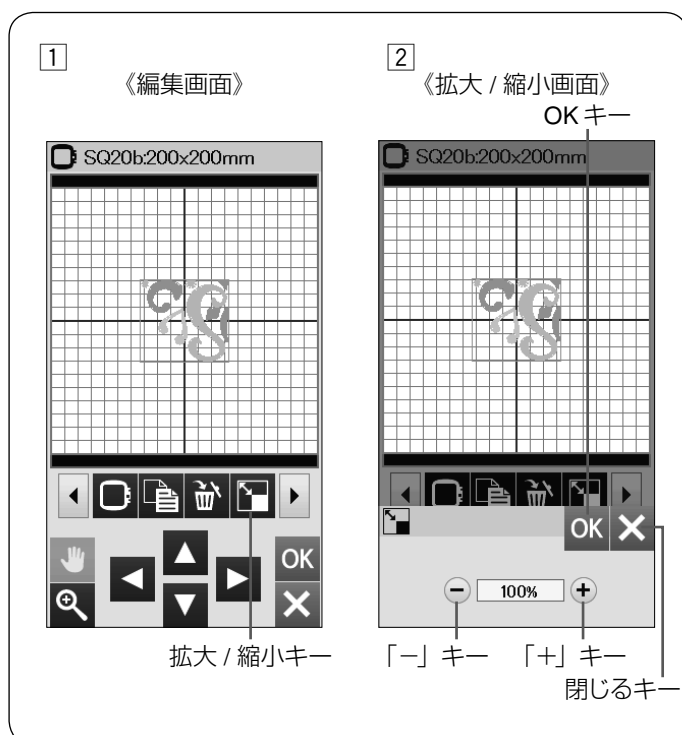
★ 模様をコピーする

- 1 コピーする模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
コピーキーを押し、選択した模様をコピーします。
- 2 コピーされた模様はもとの模様の上に重ねて置かれます。
指またはタッチペン、ジョグキーなどで移動します。



★ 模様の削除





- 1 削除する模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
- 2 削除キーを押し、選択した模様を削除します。



★ 模様の変更する


- 1 拡大または縮小する模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲まれます。
拡大/縮小キーを押し、拡大/縮小画面を表示させます。
 - 2 「+」キーを押して、拡大します。
「-」キーを押して、縮小します。
選択した模様のサイズを 80 %～ 120 %のはんいで 1 %ずつ変更できます。
OK キーを押してサイズを変更します。
- ※ 「+」、「-」キーを長押しすると、サイズを変更する速度が速くなります。
- ※ 変更した模様の大さはパーセンテージで表示されます。
- ※ 拡大すると枠のはんいを超えてしまう模様の場合、120 %まで拡大できません。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。


★ 模様を回転させる

- 1 回転させる模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲われます。
設定切りかえキーを押し、編集ツールの次のセットを表示させます。
回転キーを押し、回転画面を表示させます。
- 2  キーを押すと、選択した模様が 45° 反時計回りに回転します。
 キーを押すと、選択した模様が 1° 反時計回りに回転します。
 キーを押すと、選択した模様が 1° 時計回りに回転します。
 キーを押すと、選択した模様が 45° 時計回りに回転します。
回転させた模様の角度が表示されます。
OK キーを押し、角度を変更します。

- ※ 閉じるキーを押すと、変更しなくても元の画面にもどります。
- ※ 回転により模様が枠表示から外れた場合、模様表示がグレーで表示されます。

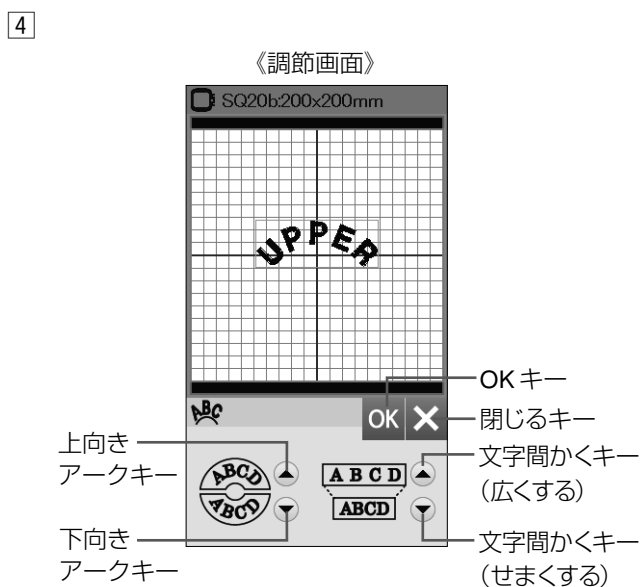
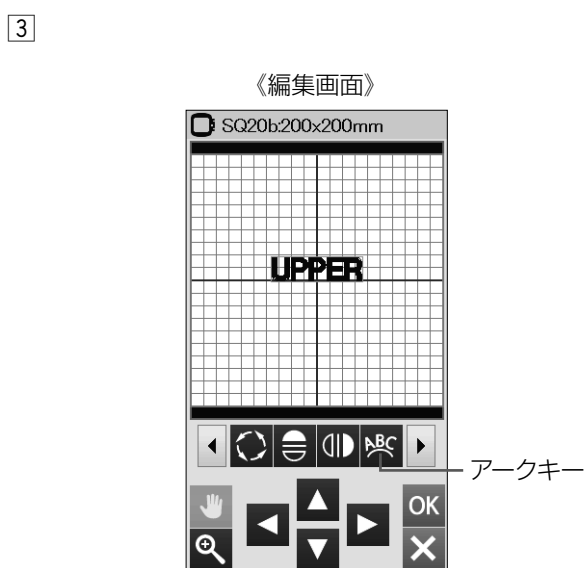
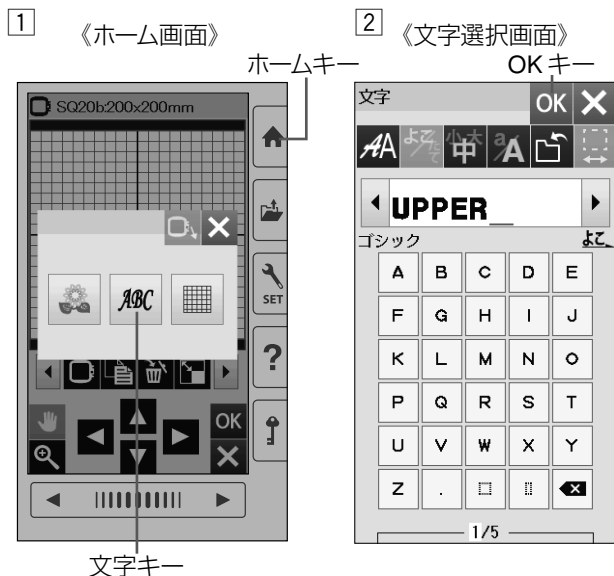
★ 模様を反転させる

- 1 反転させる模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲われます。
上下反転キーもしくは左右反転キーを押します。
- 2 上下反転キー  を押すと、選択した模様が上下に反転します。

- 3 左右反転キー  を押すと、選択した模様が左右に反転します。

OK キーを押します。

- ※ 閉じるキーを押すと、変更しなくても元の画面にもどります。



★ 文字を円弧（アーク）状に配置する

文字を入力し、編集画面にするとアークキーが表示されます。編集モードでは、上向きアークと下向きアークを作成できます。

例：UPPER/ ゴシック/ よこ書き/ 文字サイズ中

① 編集画面を開いた状態でホームキーを押し、文字キーを選びます。

② 文字を入力し、OK キーを押します。

③ 入力した文字が編集画面に表示されます。アークキーを押します。

④ 調節画面が表示されます。

上向きアークキーを押すと、上向き円弧にします。

下向きアークキーを押すと、下向き円弧にします。

文字間かくキー（広くする）を押すと、文字間かくが広くなります。

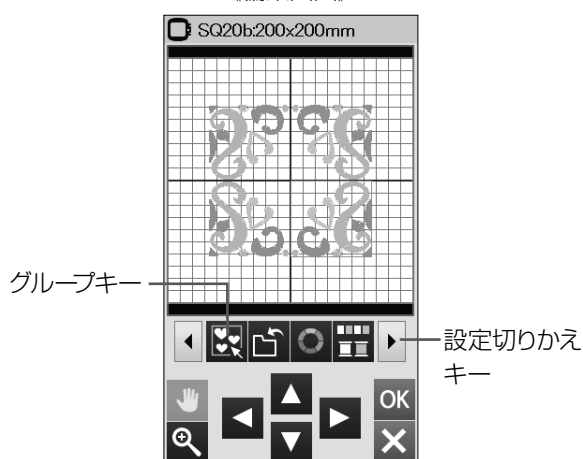
文字間かくキー（せまくする）を押すと、文字間かくがせまくなります。

⑤ OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

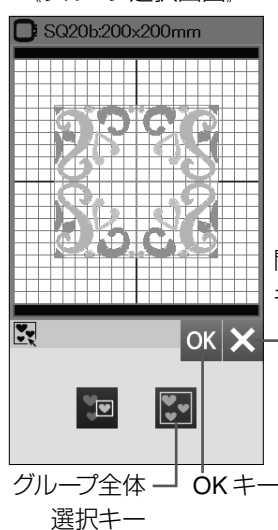
1

《編集画面》



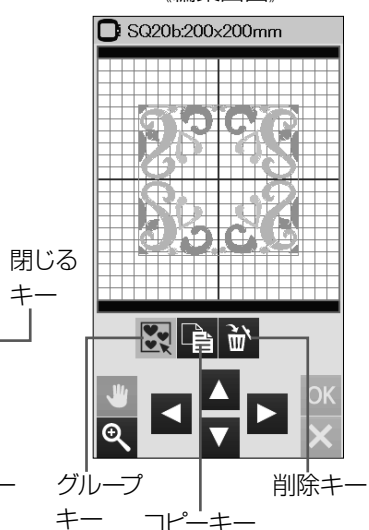
1 2

《グループ選択画面》



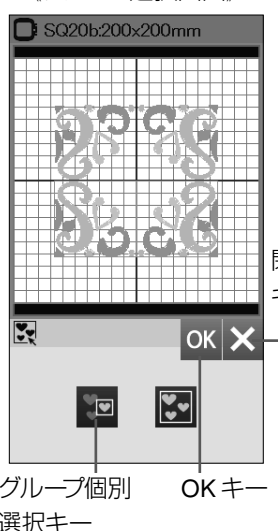
3

《編集画面》



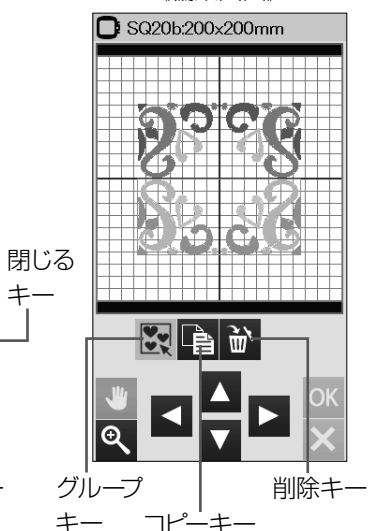
1 2

《グループ選択画面》



3

《編集画面》

グループ個別
選択キー

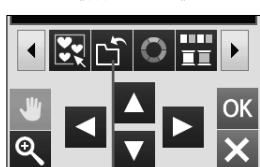
OK キー

グループ
キー

コピーキー

削除キー

《編集画面》



保存キー

★ 模様のグループ化

編集画面の模様全部または、選んだ模様だけをグループ化してコピー、削除、移動することができます。

※ グループキーは、複数の模様がある場合に表示されます。

① 設定切り替えキーを押し、グループキーを表示させます。

グループキーを押し、グループ選択画面を表示させます。

【グループ全体選択キー】

グループ全体選択キーは、模様全体を1つのグループにすることができます。

① グループ全体選択キーを押すと、各模様が緑色の四角枠で囲まれます。

② OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないで元の画面にもどります。

③ 編集画面になり、模様全体が緑色の四角枠で囲まれます。

グループ化した模様はコピーキーや削除キーを使用し1つのグループとして移動、コピー、削除ができます。編集作業が終わったら、グループキーを押します。

【グループ個別選択キー】

グループ個別選択キーは、複数の模様を1つのグループにすることができます。

① グループ個別選択キーを押します。

② グループにしたい模様を選択（押す）します。

選択した模様は緑色の四角枠で囲まれます。

OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないで元の画面にもどります。

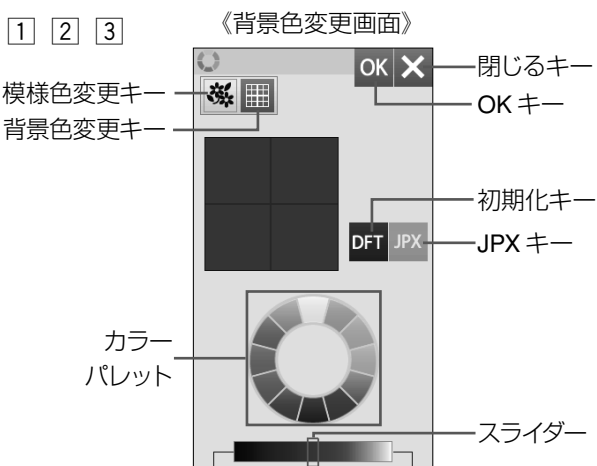
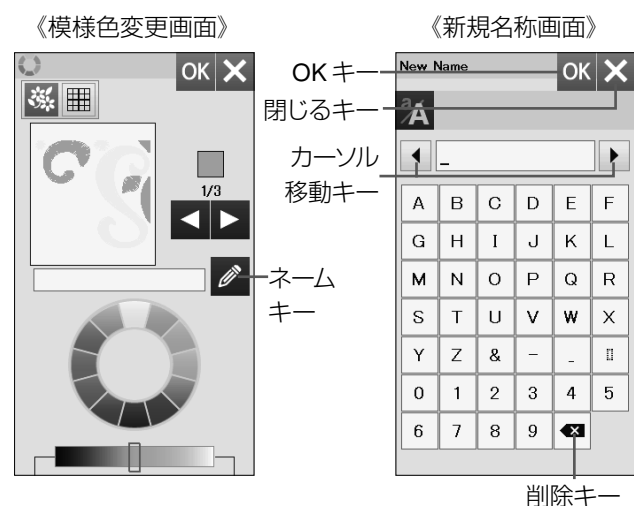
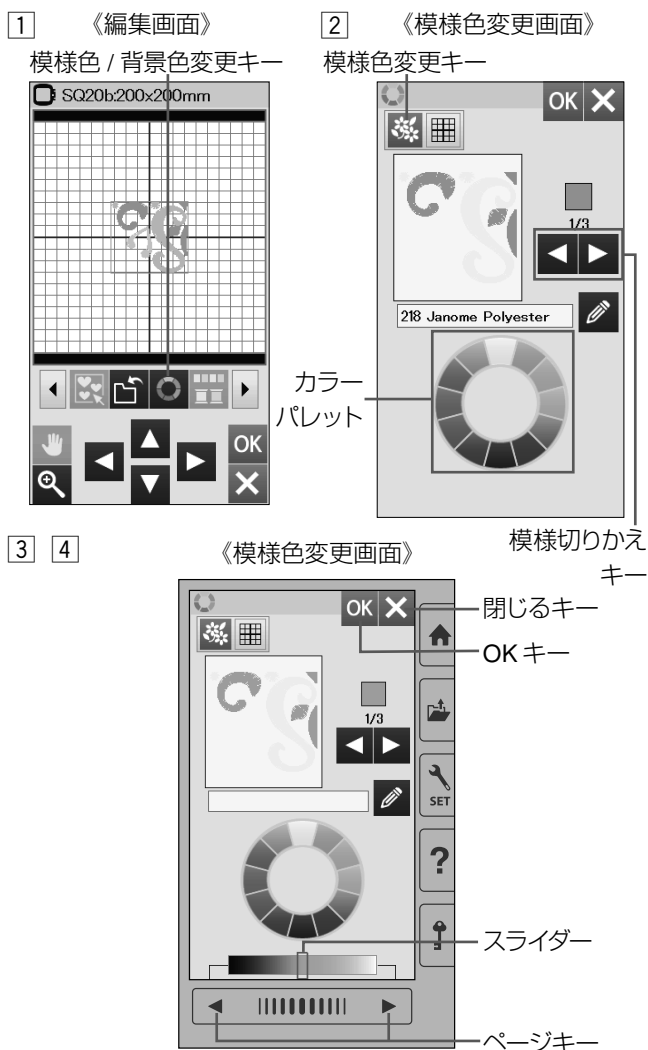
③ グループ編集画面になります。

グループ化した模様はコピーキーや削除キーを使用し1つのグループとして移動、コピー、削除ができます。編集作業が終わったら、グループキーを押します。

※ グループにしなかった模様は、グレーで表示され選択できなくなります。

★ データを保存する

編集した模様をマシンに保存したり、USB メモリに保存するときに保存キーを使います。(67 ~ 68 ページ参照)



★ 模様や背景の色を変更する

編集画面の背景色と模様の色（糸色）を変更して、実際にぬう布と糸の色で編集イメージをつくることができます。

【模様色の変更】

- 1 模様色を変更したい模様を選択し、模様色 / 背景色変更キーを押します。
 - 2 模様色変更画面が表示され、模様色変更キーが選択されています。
模様切りかえキーで色替えしたい部分（糸）を選びます。
 - 3 カラーパレットからお好みの色を選びます。
色の明るさを変更するときは、スライダーをタッチペンか指で右または左へ移動させるか、ページキーで移動します。
 - 4 OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

【色名の変更】

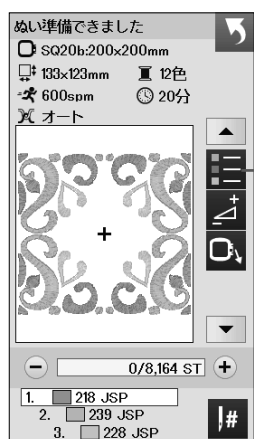
- ネームキーを押すと、新規名称画面が表示されます。
変更した色に名称が付けられます。
名称を入力し、OK キーを押します。
- ※ 20 文字まで入力できます。
名称確認は、カーソル移動キーで行います。
- ※ 文字の削除は、削除キーで行います。
文字の挿入は、カーソル移動キーで入力する位置の次の文字を選択し、入力します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

【背景色の変更】

- 1 背景色変更キーを押します。
背景色変更画面が表示されます。
 - 2 カラーパレットからお好みの色を選びます。
色の明るさを変更するときは、スライダーをタッチペンか指で右または左へ移動させるか、ページキーで移動します。
 - 3 OK キーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。模様色も変更されません。
- ※ 模様色の変更にもどる場合、模様色変更キーを押してください。
- ※ 模様色を白に設定すると、背景色は自動でグレーになります。
- ※ 初期の状態（購入時の設定状態）白にもどすときは、初期化キー（DFT）を押します。
- ※ JPX フォーマット（背景画像）のファイルを開くときは、JPX キーを押します。

1

《模様刺しゅう実行画面》

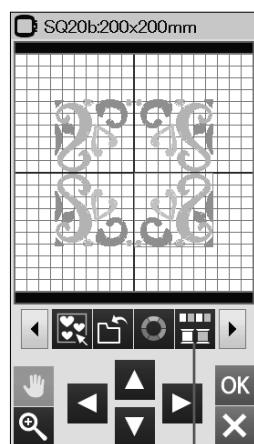


糸色確認キー

《糸色表示画面》
(同色まとめ前)

2

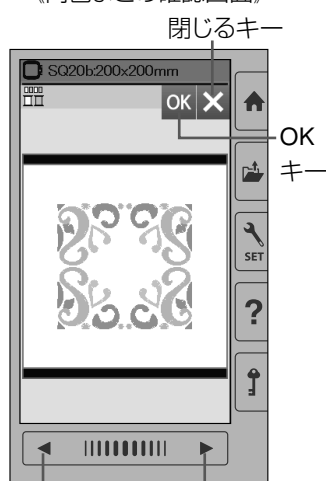
《編集画面》



同色まとめキー

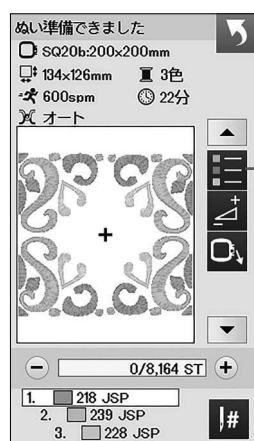
3

《同色まとめ確認画面》



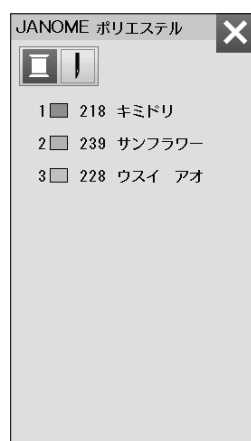
4

《模様刺しゅう実行画面》



糸色確認キー

《糸色表示画面》



★ 同色をまとめて刺しゅうする

組み合わせた同じ模様の同じ糸色を 1 つにまとめ、糸替えの回数をへらすことができます。

※ 同じ模様のぬい順序が続くように、ぬい順序を設定してください。(51 ページ参照)

同じ模様のあいだに違う模様をぬう順序になっていると、同じ模様の同じ糸色を 1 つにまとめることができません。

1 模様刺しゅう実行画面で糸色確認キーを押します。

糸色表示画面で糸色を確認すると 12 色の色替えになっています。

2 編集画面の同色まとめキーを押します。

3 同色まとめ確認画面が表示されます。

同じ模様は、1 画面です。

異なる模様の組み合わせのときは、ページキーで確認できます。

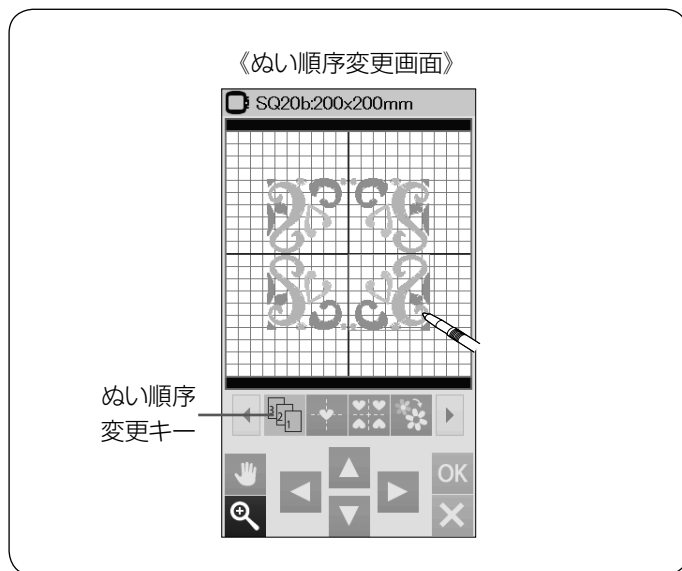
OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

4 模様刺しゅう実行画面になります。

糸色確認キーで糸色を確認すると、12 色から 3 色になっています。(糸の交換が 3 回)

※ 編集画面にもどった場合は、同色まとめ設定は解除されます。

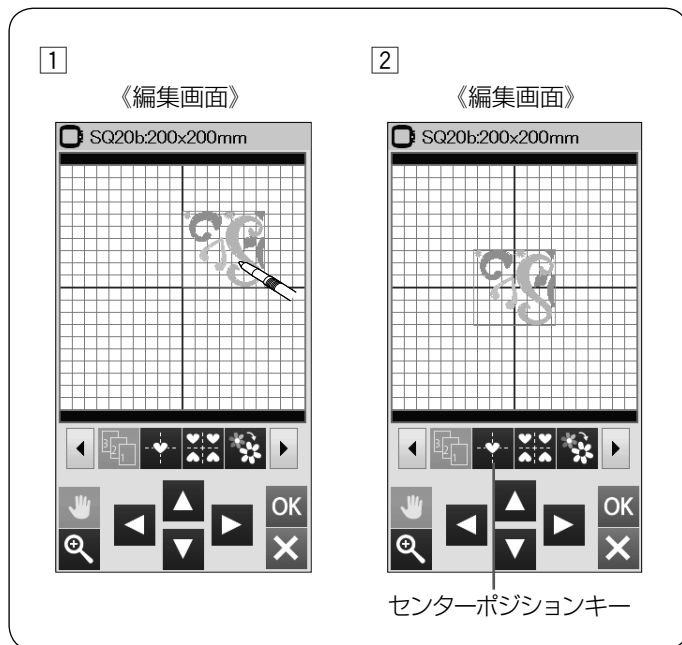


★ ぬい順序を変更する

組み合わせた模様のぬい順序を変更できます。

ぬい順序変更キーを押し、ぬいたい順番に模様を押していきます。

再度、ぬい順序変更キーを押すと前の画面にもどります。



★ 模様を画面中央に配置する

選択した模様を画面の中央に配置できます。

- 1 移動する模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲われます。
- 2 センターポジションキーを押すと、選択した模様が画面の中心に配置されます。

★ コーナーレイアウト

コーナーレイアウトキーで、中心の十字の線を基準に反転コピーします。

1つの模様を上下左右に反転してコピーすることで、四角い枠などを作ることができます。

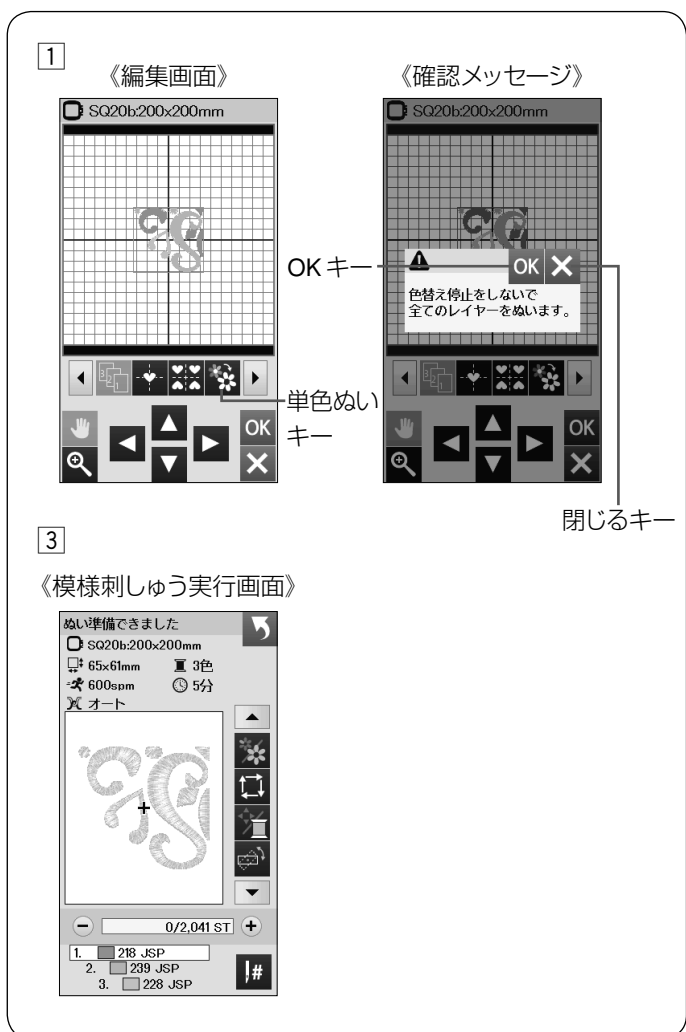
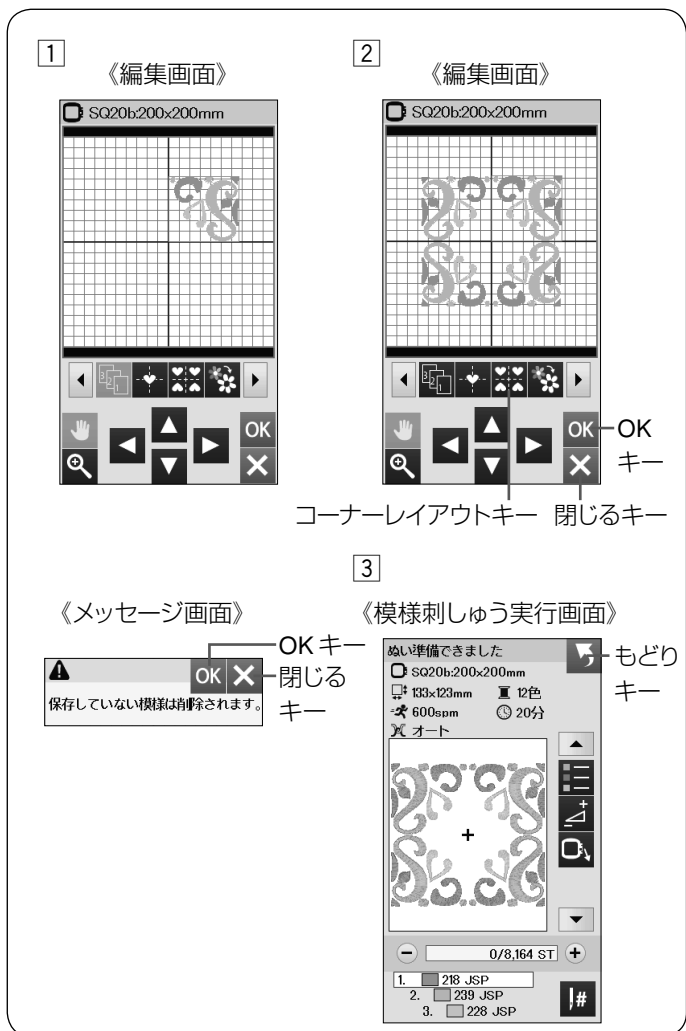
- ① コピーする模様を押します。
選択した模様が緑色の枠で囲われます。
 - ② コーナーレイアウトキー①を押します。
模様が上下左右対称にコピー・配置されます。
- ※ 閉じるキーを押すと、メッセージ画面が表示されます。
OKキーを押すと、模様が削除されて、ホーム画面になります。
- ※ 閉じるキーを押すと、編集画面にもどります。
- ③ OKキーを押すと、模様刺しゅう実行画面になります。
- ※ 模様刺しゅう実行画面のもどりキーを押すと、編集画面にもどります。

★ 単色で刺しゅうする

模様全てを1色でぬうことができます。

全ての模様をぬい終わるまでミシンは停止しません。

- ① 単色ぬいキーを押します。
 - ② 確認画面が表示されたら、OKキーを押します。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しないで元の画面にもどります。
- ③ 模様刺しゅう実行画面になります。
- 模様はグレー1色で表示されます。
- スタート/ストップボタン (START/STOP) を押し、好みの色で単色をぬいます。
- 全ての模様をぬい終わるまでミシンは止まりません。
- ※ もどりキーで編集画面にもどると、単色ぬい設定は解除されます。



1

《模様刺しゅう実行画面》



刺しゅうはんい確認キー

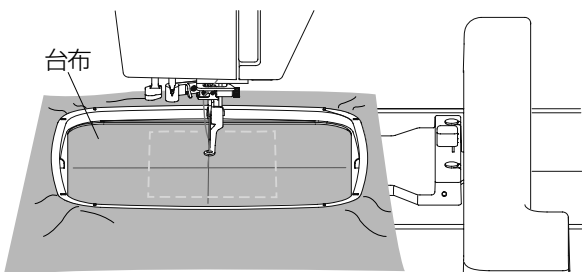
2

《ぬいはんい確認画面》

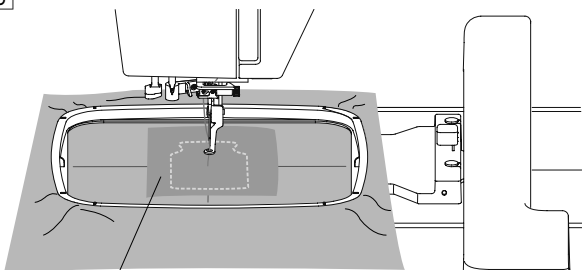
トレース・しつけキー



2

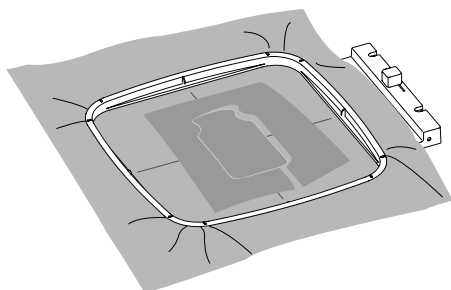


3



アップリケ布

4



5



◎刺しゅう模様を使った作品例

● アップリケ模様のぬい方 1

パントリー模様 SQ14b 枠の模様 67 ~ 69 はミシンアップリケの模様です。

台布にアップリケをつけると同時にミシンアップリケ模様を刺しゅうすることができます。

例：パントリー模様 SQ14b 枠の模様 67

※ SQ14b 枠はオプションです。標準付属の SQ20b 枠でも使用できます。

① 台布とアップリケの布を用意します。

模様選択画面の刺しゅう枠リストから SQ14b 枠を選択して模様 67 を選び (26 ページ参照)、ロックキーを押します。

台布を枠に張ります。

② 枠をキャリッジに取り付けてロックキーを押し、ロックを解除します。

刺しゅうはんい確認キーを押します。

トレース・しつけキーを押してトレース (しつけ) します。(30 ページ参照)

ミシンをスタートさせて、しつけで模様はんいの周りをぬいます。

③ アップリケ布をしつけと同じ大きさに切ります。

アップリケ布をしつけをした部分の上において 1 色目をぬいます。

※ 必要であれば、まち針か布用ののりなどでアップリケの布を固定します。

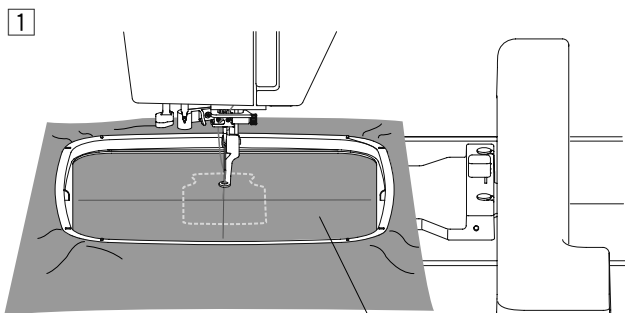
④ 布を枠に張ったままで、枠をキャリッジから外します。しつけ糸を取ります。

なるべくぬい目のきわで余分なアップリケの布を切ります。

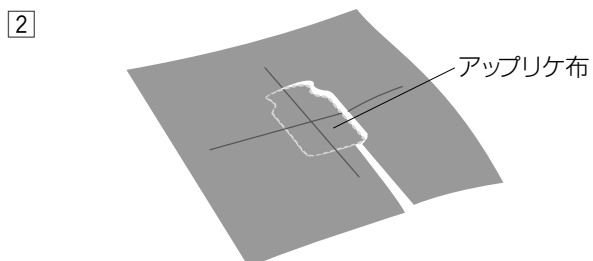
⑤ ロックキーを押します。

再び枠をキャリッジに取り付けます。

ロックキーを押して、ロックを解除し、アップリケ模様の残りの色をぬいます。



アップリケ布

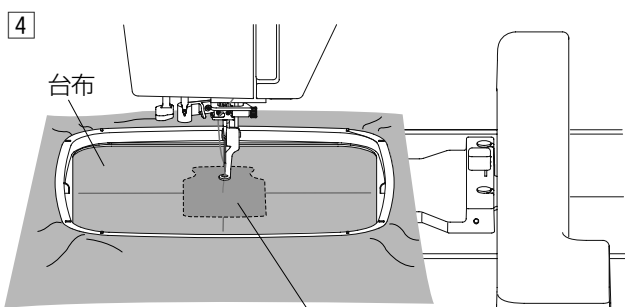


アップリケ布

③ 《模様刺しゅう実行画面》



ページキー



切っておいたアップリケ布



● アップリケ模様のぬい方 2

- ① 枠より大きいアップリケ用の布を用意し、枠に張ります。
ロックキーを押します。
枠をキャリッジに取り付けてロックキーを押し、ロックを解除します。
1 色目をぬいます。

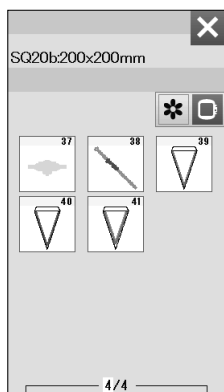
- ② 1 色目がぬい終わったら、刺しゅう枠をミシンから外します。
刺しゅう枠からアップリケ用の布を外し、ぬい目に沿って切り取ります。

- ③ 台布を用意して枠に張り、ロックキーを押します。
枠をキャリッジに取り付けてロックキーを押し、ロックを解除します。
ページキーを押して 1 色目にもどし、1 色目をぬいます。

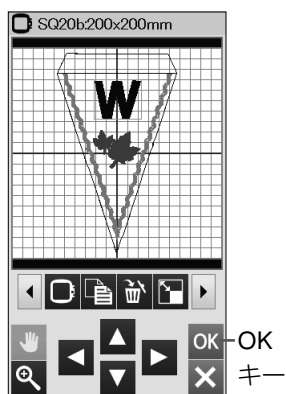
- ④ 台布の 1 色目がぬい終わった場所に、切っておいたアップリケ布を固定します。
※ まち針か布用ののりなどを使用してください。

- ⑤ アップリケ模様の残りの色をぬいます。

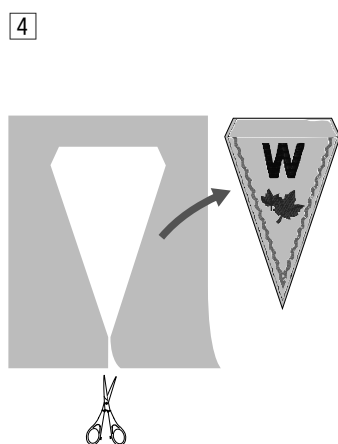
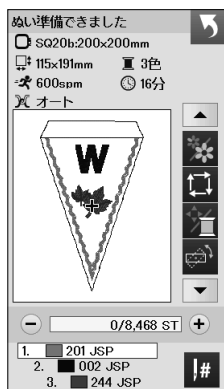
1 《SQ20b 模様選択画面》
(4/4 ページ)



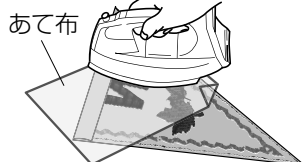
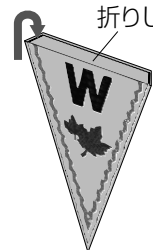
2 《編集画面》



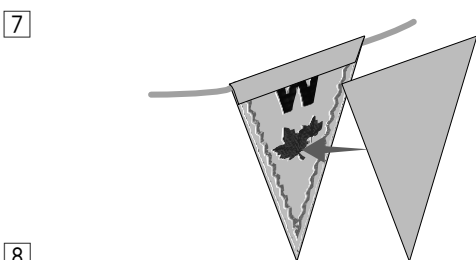
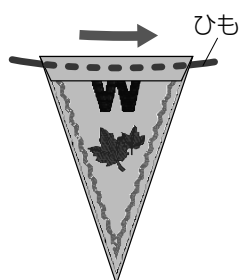
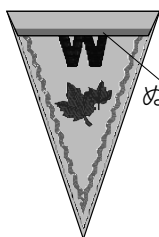
3 《模様刺しゅう実行画面》



5 折りしろ



6 ぬい合わせ



● フラッグデザインのぬい方

フラッグデザインの内側に刺しゅうを入れて、お好みのフラッグ・ガーランドを作ることができます。

例：SQ20b 枠の模様 39

- 1 模様選択画面の刺しゅう枠リストから SQ20b 枠を選択します。
模様 39 を選択し (26 ページ参照)、OK キーを押します。
- 2 編集画面で編集を行います。
OK キーを押して、模様刺しゅう実行画面を表示します。
- 3 布を枠に張り、ロックキーを押します。
枠をキャリッジに取り付けてロックキーを押し、ロックを解除します。
スタート/ストップボタン (START/STOP) を押してぬいます。
- 4 ぬい終わったら、枠をキャリッジから外します。
布を枠から外します。
外側のぬい目に沿って、ペナント模様を切ります。

- 5 折りしろを裏側に折り、アイロンでしっかり折り目をつけます。

あて布をおいてアイロンをかけます。

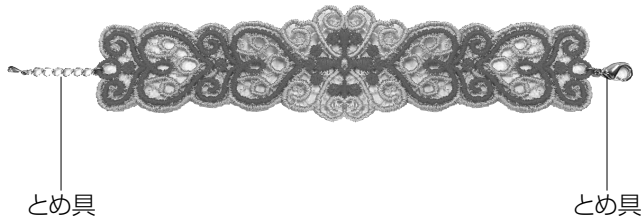
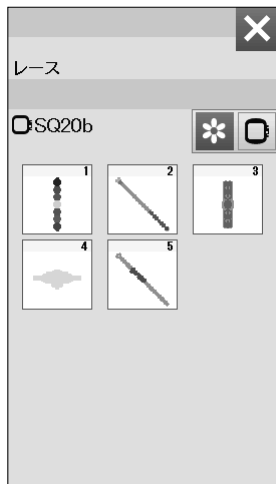
- ※ アイロンを使用するときには、当て布をしてください。
アイロンの熱で刺しゅう糸がつぶれてしまうことがあります。

- 6 ひもを通すすき間を残して折りしろをぬい合わせ、図のようにひもを通します。

- 7 別の布をフラッグと同じ大きさに切り、裏側にぬい付けるときれいに仕上がります。

- 8 上の手順で何枚か作成し、ひもを通して完成です。

《模様選択画面》



● レース模様のぬい方

水溶性の芯地にレース模様をぬい好みのプレスレットを作ることができます。

- ※ 上糸と同じ糸を下糸に使用します。
- ※ 十分に巻いたボビンを使用します。
- ※ 刺しゅうぬい設定の「下糸残量」を「3」か「4」に設定します。(61 ページ参照)
- ※ 刺しゅうぬい設定の「最高ぬい速度」を「400 spm」～「600 spm」に設定します。(61 ページ参照)

- ① 水溶性芯地を枠に張ります。
 - ※ 芯地を軽くたたくと、太鼓のような音がするくらいピンと張ります。
- ② お好みのレース模様を選択してぬいます。
(例：模様 3)
- ③ 水溶性芯地を枠から外します。
模様のまわりの余分な芯地をはさみで切ります。
- ④ プレスレット模様をぬった芯地をぬるま湯につけて芯地をとкаします。(23 ページ参照)
- ⑤ とめ具(※)を両端につけます。
 - ※ とめ具は標準付属には含まれていません。

《共通設定画面》(1/4 ページ)



◎ ミシンの設定

セットキーは、ミシンを初期の状態（購入時の設定状態）からお好みの状態に設定するときに使います。

ミシン設定のモードを下記 3 つのキーから選びます。

① 共通設定キー

共通設定モードキーを押し、共通設定モードに入ります。共通設定モードではミシン全般の設定を変更できます。（57 ～ 60 ページ参照）

② 刺しゅうぬい設定キー

刺しゅうぬい設定モードキーを押し、刺しゅうぬい設定モードに入ります。

刺しゅうぬい設定モードでは刺しゅうぬいの設定を変更できます。（61 ～ 65 ページ参照）

③ 言語設定キー

言語設定モードキーを押し、言語設定モードに入ります。言語設定モードでは画面に表示する言語を変更できます。（66 ページ参照）

※ ページキーで画面（ページ）を切りかえます。

【設定の登録】

設定を変更した場合、OK キーを押して新しい設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。

● 共通設定

セットキーを押すと共通設定画面が表示されます。

4 つのページに分かれていて、12 項目のミシン全般の設定ができます。

設定を変更した場合、OK キーを押して新しい設定を適用します。閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。

① 画面のコントラスト

画面のコントラストを「+」、「-」キーで調節します。

② 音量

キーを操作したときに鳴るブザーの音量を「+」、「-」キーで調節します。

〈OFF（消音）・1～5 の 6 段階、初期設定：3〉

③ インチ/ミリ

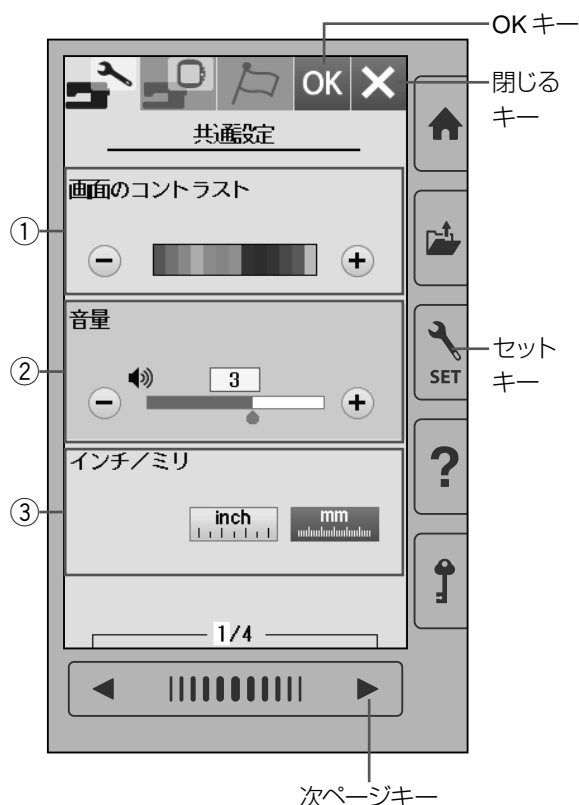
画面に表示される数値の単位 (inch/mm) を切りかえます。

〈初期設定：mm〉

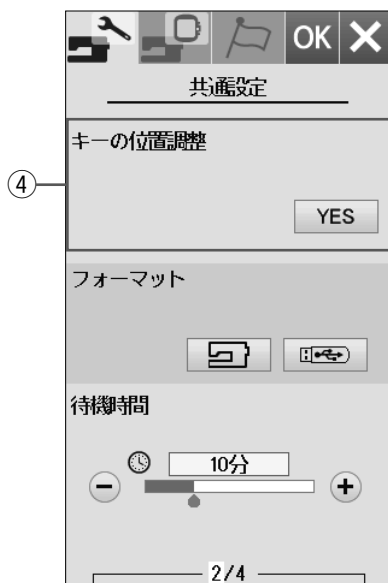
※ 刺しゅうの大きさを示す数値など、画面に単位の「mm」または「inch」が表示されているものが切りかわります。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

《共通設定画面》(1/4 ページ)



《共通設定画面》(2/4 ページ)



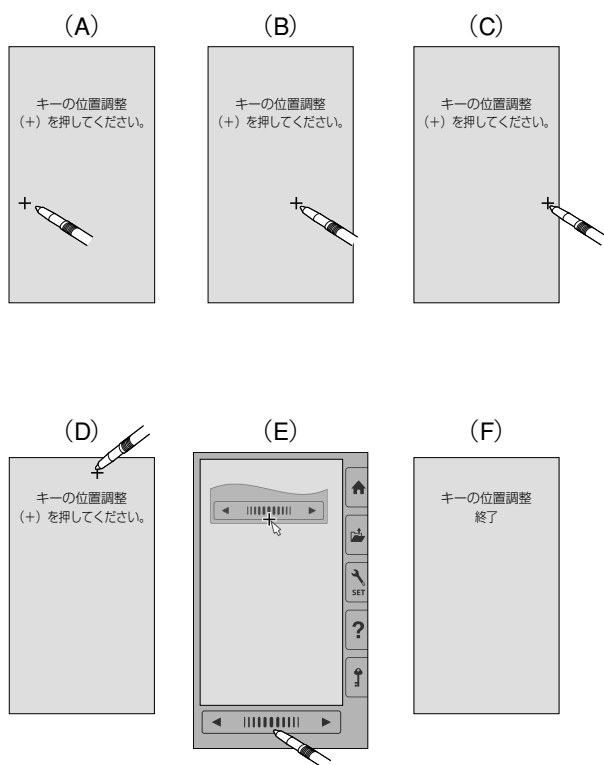
④

⑤ キーの位置調整

画面上のキー表示の位置と実際のキーの位置がずれていて、押しても反応しない場合などに調整します。

調整する場合は、画面の「YES」キーを押し調整モードに入ります。

《キーの位置調整画面》



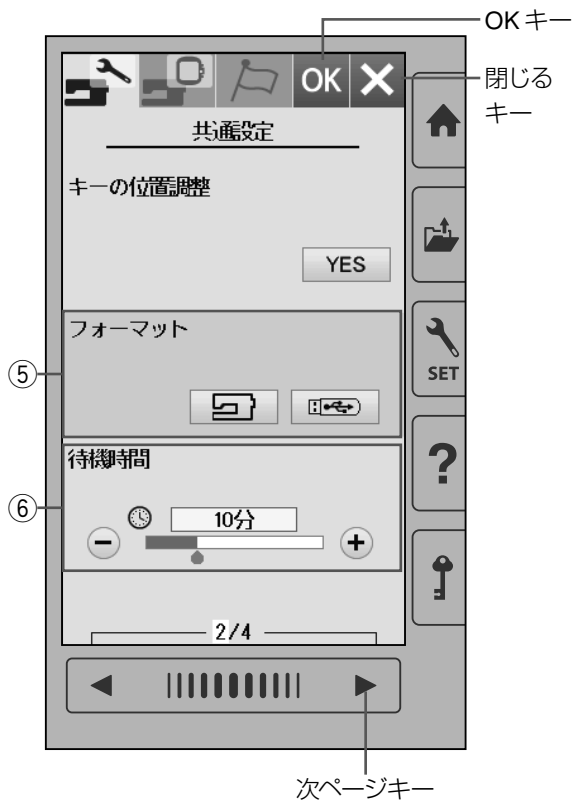
付属のタッチペンで「+」の中心を押します。

押すと、次の画面に切りかわるので、順番に (A) ~ (D) の画面の「+」の中心を押します。

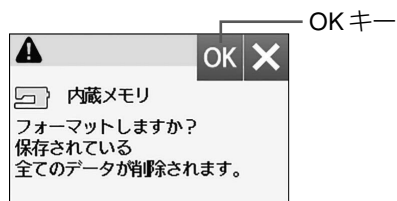
(E) の画面は、ページキー中央の下側を押します。

(E) の画面が終了すると (F) の画面が数秒表示され、共通設定画面にもどります。

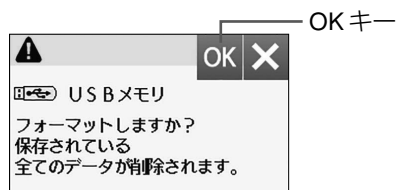
《共通設定画面》(2/4 ページ)



《内蔵メモリフォーマット画面》



《USB メモリフォーマット画面》



⑤ フォーマット

ミシンの内蔵メモリおよび USB メモリをフォーマットします。

内蔵メモリをフォーマットする場合は のキー、USB メモリをフォーマットする場合は キーを押し、フォーマット画面を表示させます。

フォーマット画面の「OK」キーを押し、フォーマットします。

※ フォーマットすると、現在保存されている模様データがすべて消えます。

⚠ 注意

画面に警告メッセージが出ているあいだ、電源を切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。データが消えるなど、損傷する恐れがあります。

⑥ 待機時間

電源を入れたままミシンを使用しない状態が続いた場合、一定時間が経過するとミシンのライトが消え、ミシンは省エネモードとなります。省エネモードに入るまでの時間を設定します。

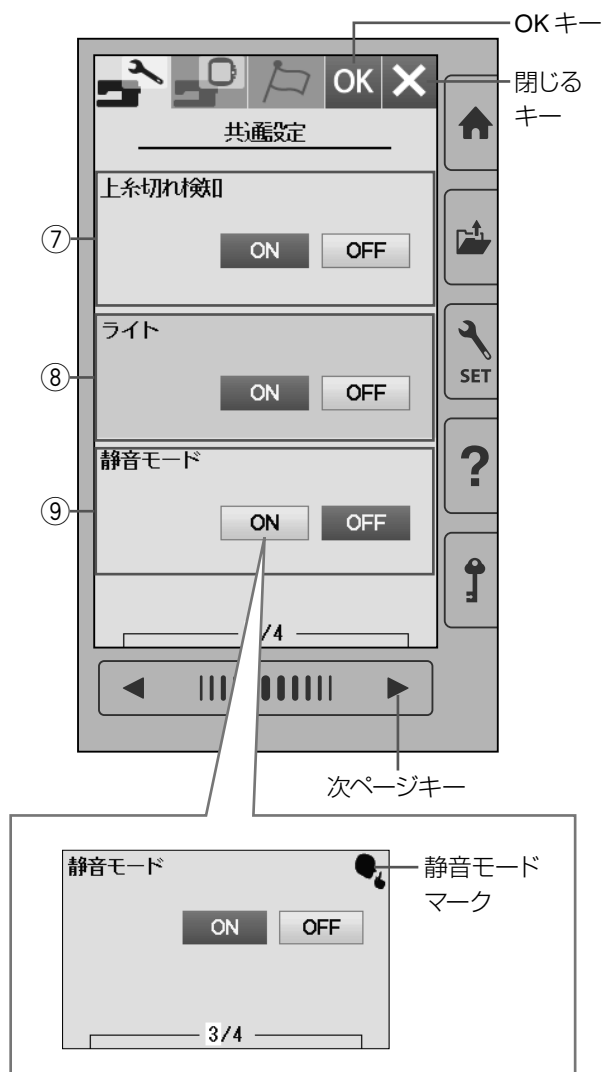
〈1 ～ 30 分および OFF (なし)、初期設定：10 分〉

※ 省エネモード中、画面や操作ボタンにさわると元の画面にもどり、ミシンのライトも点灯します。

※ 「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「+」キーを押します。

次ページキーを押し、次のメニューに移動します。

《共通設定画面》(3/4 ページ)



⑦ 上糸切れ検知

ぬい途中に上糸が切れた場合、切れたことを知らせてミシンを停止する上糸切れ検知機能の設定をします。

上糸切れ検知あり(「ON」)、なし(「OFF」)を設定します。上糸をかけずにミシンを動かしたいときは「OFF」に設定してください。

〈初期設定：ON〉

※ 通常は、「ON」に設定してください。途中で上糸が切れてしまったあとの無駄なぬいを防ぎます。

⑧ ライト

ミシンライトの「ON」「OFF」を設定することができます。

「ON」、「OFF」キーで変更し、OK キーを押します。

〈初期設定：ON〉

⑨ 静音モード

ミシンの動作音を静かにしたい場合、静音モードでミシンの動作音をおさえることができます。

静音モードを「ON」に設定すると、静音モードマークが表示され、ブザーの音量 1 (設定が OFF のときは OFF のまま)、刺しゅうぬい設定の「最高ぬい速度」は最低速度になります。

「ON」、「OFF」キーで変更し、OK キーを押します。

〈初期設定：OFF〉

⑩ かま掃除メッセージ

設定「ON」のとき、ミシン可動時間がおおよそ 15 時間以上経過した場合、かま掃除をうながすメッセージが表示されます。

「ON」、「OFF」キーで変更し、OK キーを押します。

〈初期設定：ON〉

⑪ 背景色

画面の背景を 3 パターンから設定することができます。

「 グレー」、「 ピンク」、「 黄」キーで変更し、OK キーを押します。

〈初期設定：グレー〉

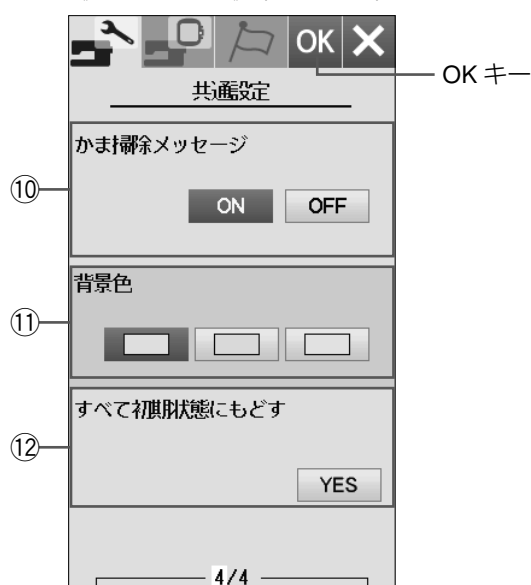
⑫ すべて初期状態にもどす

共通項目と刺しゅうぬい項目で設定したすべての内容を初期の状態(購入時の設定状態)にもどすことができます。

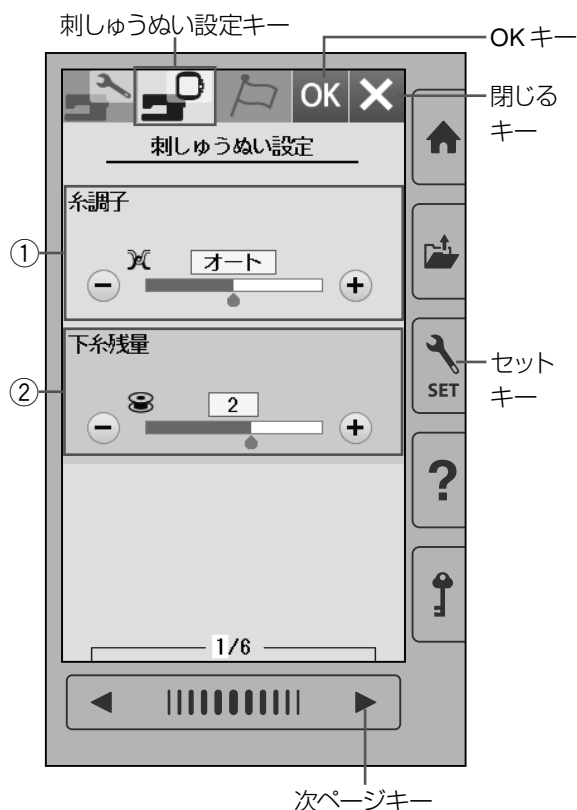
「YES」キーを押して、OK キーを押します。

言語の設定を除く変更したすべての内容が初期の状態にもどり、セットキーを押す前の画面にもどります。

《共通設定画面》(4/4 ページ)



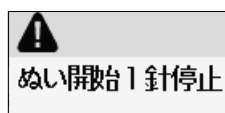
《刺しゅうぬい設定画面》(1/6 ページ)



《刺しゅうぬい設定画面》(2/6 ページ)



《ぬい開始1針停止「ON」時のメッセージ画面》



● 刺しゅうぬい設定

セットキーを押し、刺しゅうぬい設定キーを押します。

6つのページに分かれていて、13項目の刺しゅうぬいの設定ができます。

設定を変更した場合、OKキーを押して新しい設定を適用します。閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。

① 糸調子

模様を選ぶと、標準的な条件において最適な糸調子になるよう自動で設定されますが、自動で設定される値（オート値）をすべての模様に対して全体的に強くしたり（+）、弱くしたり（-）できます。

〈オート-5～オート+5の11段階、初期設定：オート〉

② 下糸残量

下糸の残量が少なくなった場合の警告を出す時期を設定します。数値が大きいほど、早め（下糸残量が多いとき）に検出されます。「+」、「-」キーで設定します。

〈OFF（なし）、0.5、1～4の6段階、初期設定：2〉

「OFF」に設定したい場合、画面に「OFF」が表示されるまで「-」キーを押します。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

③ 最高ぬい速度

刺しゅう時のぬい速度は、ぬい目によって変化しますが、その中の最高速度を設定できます。「+」、「-」キーで設定します。

〈400 spm～860 spm（100刻み）、初期設定：600 spm〉

※ 針数の多い模様は、ぬい速度を遅くした方が、きれいに仕上がります。

④ ぬい開始1針停止

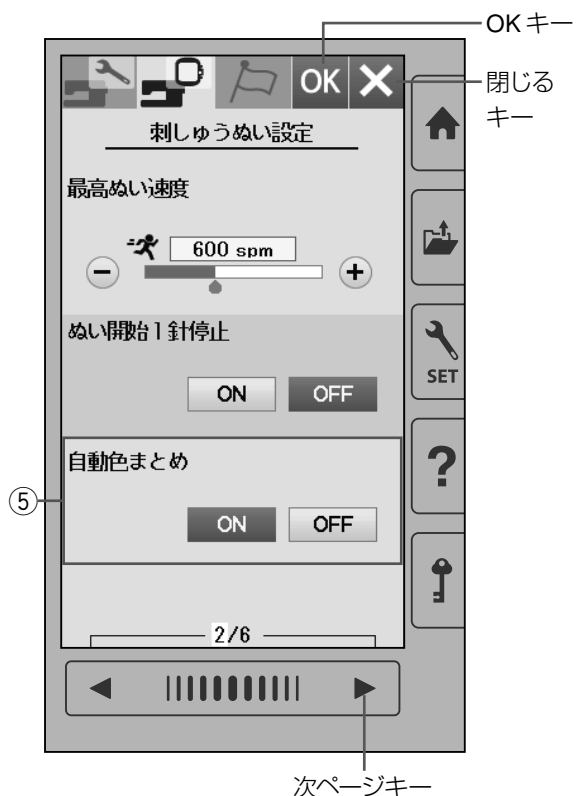
ぬい開始1針停止を「ON」に設定すると、ぬい始めや色替え後のぬい始め、および上糸切れ検出後のぬい始めにミシンをスタートさせたとき、ミシンは自動的に1針ぬって停止し、メッセージ画面が表示されます。

「ON」、「OFF」キーで変更し、OKキーを押します。

〈初期設定：OFF〉

※ ぬい開始1針停止は、1針ぬってミシン停止後に、上糸を上へ引いて下糸を布の上に引き出すことで、下糸を布の裏側にぬい込まないようにするための機能です。

《刺しゅうぬい設定画面》(2/6 ページ)



⑤ 自動色まとめ

自動色まとめを「OFF」に設定すると、外部で作成された刺しゅうデータで刺しゅうする場合、データ上に同色で異なるブロック(レイヤー)が連続しているとき、グループ化しないで色替えのためにミシンを停止させることができます。

「ON」、「OFF」キーで変更し、OK キーを押します。

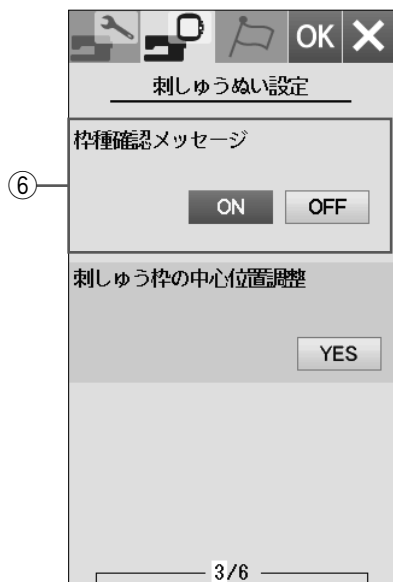
〈初期設定：ON〉

※ この機能は内蔵模様と外部のデザインを組み合わせるときには使用できません。

※ 自動色まとめを「ON」に設定すると、グループ化され、同一グループ(同色)として、ミシンは色替え停止しません。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

《刺しゅうぬい設定画面》(3/6 ページ)



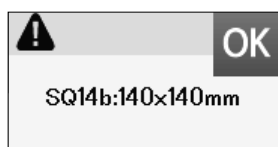
⑥ 枠種確認メッセージ

枠種確認メッセージを「OFF」に設定すると、模様を選択して刺しゅう実行画面にかわるときに表示される枠確認のメッセージ画面が表示されなくなります。

「ON」、「OFF」キーで変更し、OK キーを押します。

〈初期設定：ON〉

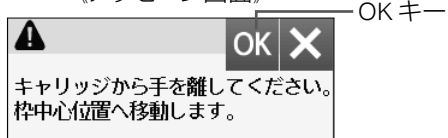
《枠種確認メッセージ画面》



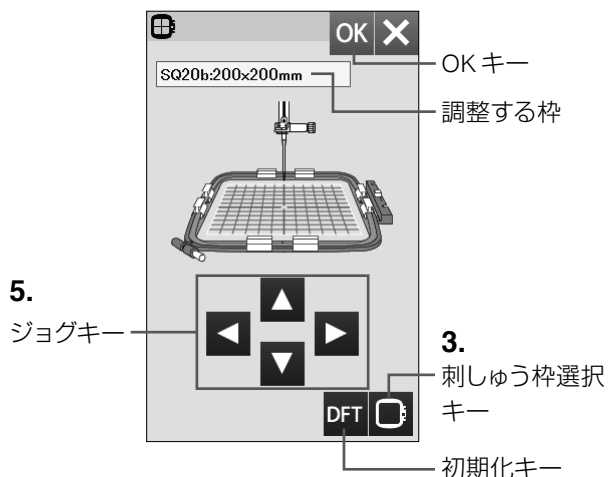
《刺しゅうぬい設定画面》(3/6 ページ)



《メッセージ画面》



《刺しゅう枠位置調整画面》(例) 枠 SQ20b



《刺しゅう枠選択画面》



⑦ 刺しゅう枠の中心位置調整

刺しゅう枠の中心位置を調整できます。

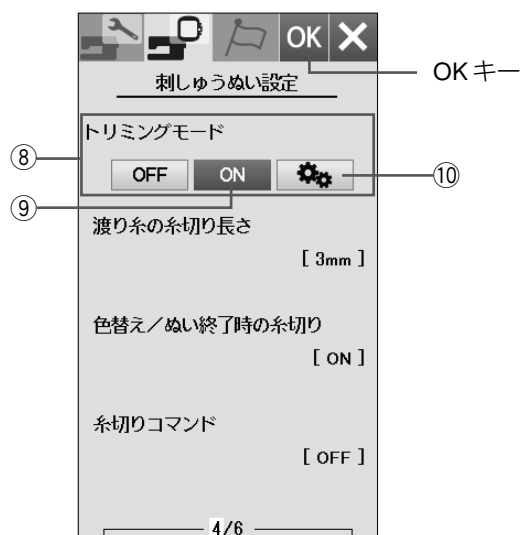
調整を行うと正確な位置に刺しゅうできます。

※ 枠の種類ごとに調整が必要です。

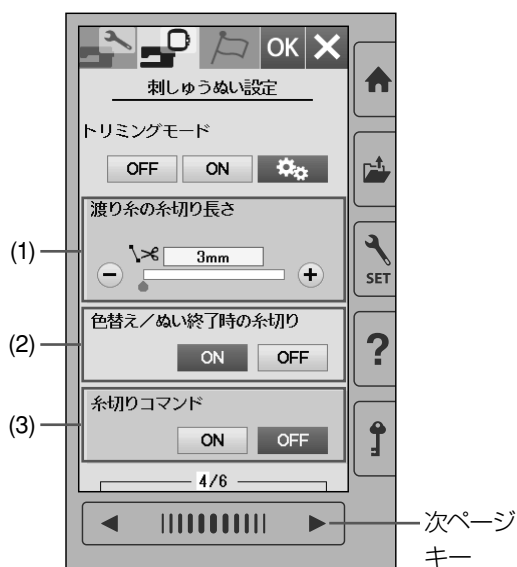
1. 調整を行う場合、「YES」キー ⑦-1 を押します。
2. メッセージ画面が表示されるので、OK キーを押します。
3. 刺しゅう枠位置調整画面が表示され、キャリッジが中央に移動します。
刺しゅう枠選択キーを押すと、刺しゅう枠選択画面が表示されます。
4. 調整したい枠を選びます。
5. 刺しゅう枠をキャリッジに取り付け、テンプレートをセットします。
ジョグキーを押し、針がテンプレートの真ん中の穴の真上に来るよう刺しゅう枠の位置を調整し、OK キーを押します。
刺しゅうぬい設定画面にもどります。
- ※ 初期の状態(購入時の設定状態)にもどす場合は、刺しゅう枠位置調整画面で、初期化キーを押してから OK キーを押し、刺しゅうぬい設定画面で OK キーを押してください。
6. 刺しゅうぬい設定画面で、OK キーを押します。
- ※ 刺しゅうぬい設定画面の OK キーが押されるまで確定はされません。

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

《刺しゅうぬい設定画面》(4/6 ページ)



〔カスタマイズ画面〕



《刺しゅうぬい設定画面》(5/6 ページ)



⑧ トリミングモード (糸切り設定)

色替えおよび、ぬい終了時の自動糸切り、渡り糸の自動糸切りの設定をします。

「OFF」にすると、自動糸切りを行いません。

〈初期設定：ON〉

⑨ 簡単設定

「ON」の場合、以下の条件で自動的に糸が切られます。

- 渡り糸の長さが 3 mm 以上の場合
- 糸替え時にミシンが自動停止した場合

OK キーを押して設定を適用します。

⑩ カスタマイズ

カスタマイズキー ⑩ を押すとカスタマイズ画面が表示され、渡り糸の糸切り長さ ⑧-(1)、色替え / ぬい終了時の糸切り「ON」/「OFF」⑧-(2)、糸切りコマンドの「ON」/「OFF」⑧-(3) を個別に設定できます。

(1) 渡り糸の糸切り長さ

渡り糸の糸切り長さ（渡り糸の間かくが何 mm 以上の場合に行うかの数値）を設定することができます。

「OFF」に設定すると渡り糸の自動糸切りを行いません。「+」、「-」キーで設定します。

〈3～5 mm まで 1 mm 刻み、5～30 mm まで 5 mm 刻み、OFF の 8 段階、初期設定：3 mm〉

(2) 色替え / ぬい終了時の糸切り

色替えおよびぬい終了時の自動糸切りを行う（「ON」）か、行わない（「OFF」）かを設定することができます。

〈初期設定：ON〉

(3) 糸切りコマンド

外部で作成された刺しゅうデータの糸切りコマンドに対応する（「ON」）、しない（「OFF」）を設定することができます。

「ON」に設定すると、外部から読み込んだぬいデータ内に自動糸切りコマンドがある場合に糸を自動的に切ります。

〈初期設定：OFF〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

⑪ 糸選択

使用する刺しゅう糸の種類を、10 種類の中から選びます。使用する刺しゅう糸のキーを押します。

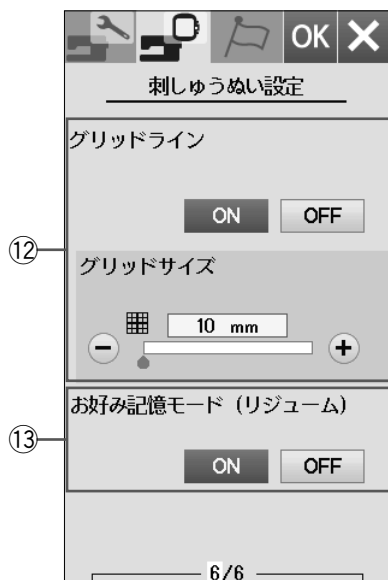
選択すると刺しゅう実行画面の糸色表示が選んだ糸の種類の表示に対応し、糸色のコードが表示されます。

読み込んだデータ内に正しい刺しゅう糸情報がある場合、オリジナルキーを選択すると、読み込んだ模様が持っている糸情報が表示されます。

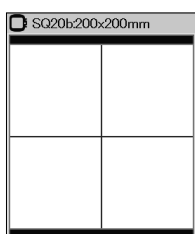
〈初期設定：JANOME ポリエステル〉

次ページキーを押して、次のメニューに移動します。

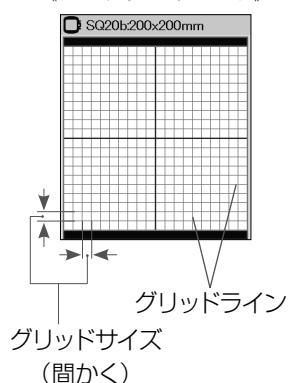
《刺しゅうぬい設定画面》(6/6 ページ)



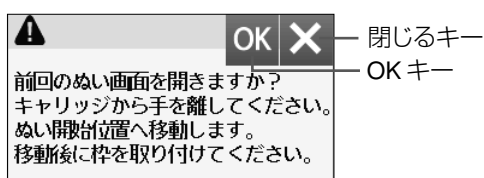
《グリッドラインなし》



《グリッドラインあり》



《メッセージ画面》



《刺しゅうぬい設定画面》(6/6 ページ)



⑫ グリッドライン

「OFF」に設定すると、編集画面のグリッドラインを消すことができます。

〈初期設定：ON〉

「ON」に設定すると、編集画面のグリッドラインの間かく（グリッドサイズ）を変更できます。

〈10 ～ 30 mm の 3 段階、初期設定：10 mm〉

⑬ お好み記憶モード (リジューム)

「ON」に設定すると、刺しゅうのぬい実行中（ぬい停止中）に電源スイッチを切っても、次回電源スイッチを入れたとき、前回ぬっていた模様の表示画面になり、前回の続きからぬい始めることができます。

「ON」に設定し電源スイッチを入れると、メッセージ画面が表示されます。

メッセージ画面の OK キーを押すと前回最後にぬっていた模様の画面になります。

〈初期設定：ON〉

※ メッセージ画面の閉じるキーを押すと、ホーム画面が表示されます。

※ 各設定が終わったら刺しゅうぬい設定画面の OK キーを押し、新しい設定を適用します。閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。

● 言語設定

画面に表示されている言語を 14 カ国の中から設定することができます。

セットキーを押し、言語設定キーを押して言語設定画面を開きます。

好みの言語を選択して、OK キーを押します。

選択した言語でメッセージが表示されます。

〈初期設定：日本語〉

※ 設定が終わったら言語設定画面の OK キーを押し、新しい設定を適用します。

閉じるキーを押すと、変更がキャンセルとなり、設定画面が終了します。



1

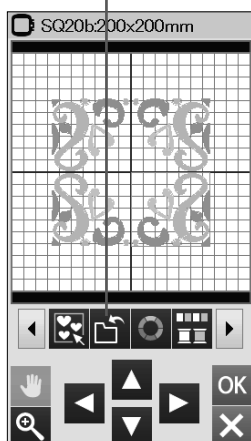
《文字選択画面》
(ゴシック 1/5 ページ)

保存キー



《編集画面》

保存キー

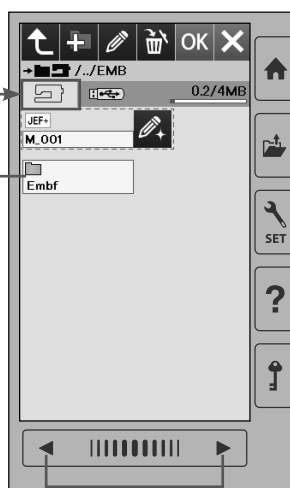


2

《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)

ミシンの内蔵メモリが選択された状態

「Embf」キー

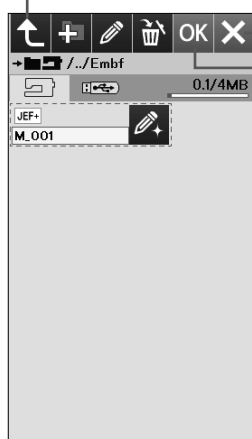


ページキー

3

《Embf 保存画面》

フォルダー階層移動キー



閉じるキー

OK キー

◎ 模様データの保存 / 呼び出し

組み合わせた模様や文字データ、刺しゅうの編集機能などで作成した模様データをミシンや USB メモリに保存し (ファイルセーブ)、いつでも呼び出して (ファイルオープン) めうことができます。

文字ぬいおよび編集機能使用中にデータを保存できます。

※ 問題が起きたときのため、常に外部メディアにデータを保存してください。

⚠ 注意

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中 (転送中) に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。

● 模様データの保存

★ ミシンの内蔵メモリに保存する

1 文字選択画面および編集画面で保存キーを押すと、「ファイルを保存」画面が表示されます。

2 ミシンに用意されているフォルダーに保存する場合、Embf キーを押します。

※ 新しいフォルダーを作成して保存する場合、69 ページの「新規フォルダーの作成」をごらんください。

※ 手順 2 や 3 の画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数だけ保存されている場合、ページキーで次のページを確認できます。

3 Embf 保存画面が表示されます。

ミシンに用意されているファイル名「M_001」で保存する場合、Embf 保存画面の OK キーを押します。

模様データがミシンに保存され、文字選択画面および編集画面にもどります。

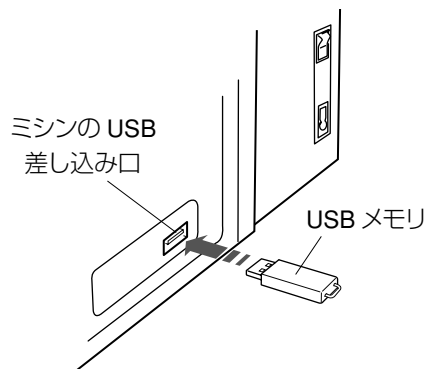
※ すでに「M_001」名で保存されているデータがある場合、自動的に番号が繰り上がり、「M_002」が表示されます。番号は M_001 ~ 順番に割り当てられます。

※ お好みのファイル名で保存する場合、70 ~ 71 ページの「名称変更キーの使い方」をごらんください。

※ フォルダー階層移動キーを押すと、現在のフォルダーの階層上のフォルダーへ移動します。

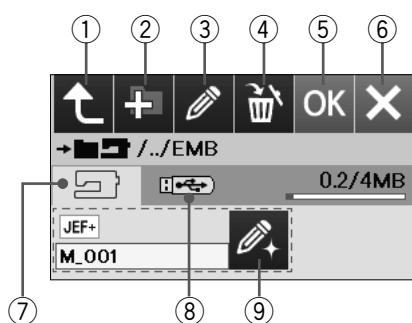
※ 閉じるキーを押すと、模様データは保存されずに文字選択画面または編集画面にもどります。

1



2

《ファイル保存画面》
(USB メモリ)



★ USB メモリに保存する

① USB メモリに保存する場合は、ミシンの USB 差し込み口に USB メモリを差し込みます。

ミシンの内蔵メモリに保存するのと同じように、文字選択画面および編集画面で保存キーを押すと、ファイル保存画面が表示されます。

② 保存先の USB メモリキーを押します。

※ 保存方法は、ミシンの内蔵メモリに保存する方法と同じです。(67 ページ参照)

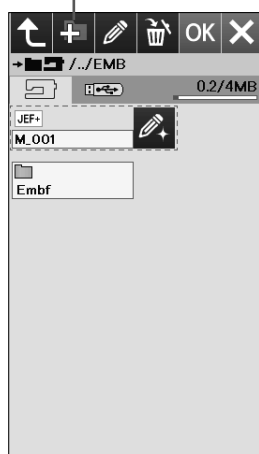
※ ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中(転送中)に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

★ 保存画面のキー説明

名称	内容
① フォルダ階層移動キー	現在あるフォルダの 1 階層上のフォルダに移動します。
② 新規フォルダキー	新しいフォルダを作成します。
③ 名称変更キー	すでに名前の付いているフォルダ名やミシンに用意されているファイル名を変更します。(70 ~ 71 ページ参照)
④ 削除キー	フォルダやファイルを削除します。(72 ページ参照)
⑤ OK キー	保存を確定します。
⑥ 閉じるキー	模様を保存せずに保存モードを終了します。
⑦ ミシンの内蔵メモリキー	データの保存先にミシンの内蔵メモリを選びます。
⑧ USB メモリキー	データの保存先に USB メモリを選びます。
⑨ 新規ファイル名称変更キー	ファイルを保存するときに、自動的に付けられた名前を変更します。

1

《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)
新規フォルダーキー



2 3

《新規名称画面》



《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)



《メッセージ画面》



★ 新規フォルダーの作成

ミシンに用意されているフォルダーを使わないで、好みのフォルダーを作成してデータを保存する場合は、下記の手順で保存します。

① ファイル保存画面の新規フォルダーキーを押します。

② 新規名称画面が表示されます。

好みの名称を入力します。(例 .SEW_1)

※ 10 文字まで入力できます。

※ 大文字、小文字切りかえキーで小文字も入力できます。

※ 文字の削除は、削除キーで行います。

※ 文字の挿入は、カーソル移動キーで入力する位置の次の文字を選択し、入力します。

③ OK キーを押します。

※ ファイル保存画面にもどり、新規フォルダーが追加されます。

※ 同じ名前がある場合は、メッセージ画面が表示されますので、閉じるキーを押して、新しい名称を入力します。

※ USB メモリも、ミシンの内蔵メモリと同じ要領で行います。

1

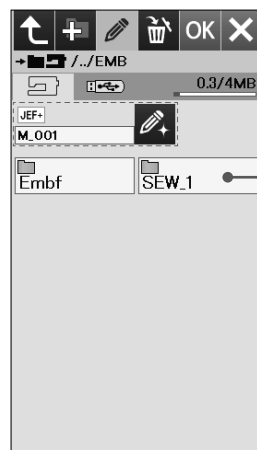
《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)

名称変更キー



2

《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)



名称を変更する
フォルダーキー

3 4

《新規名称画面》

大文字、小文字
切りかえキー



閉じるキー

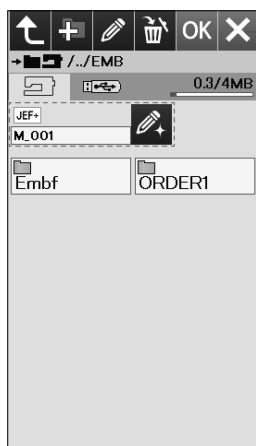
OK キー

カーソル移動
キー

削除キー

5

《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)



閉じるキー

★ 名称変更キーの使い方

名称変更キーは、すでに作成されているフォルダーの名前の書きかえや、ミシンに用意されているファイル名「M_001」などを使わずに、お好みのファイル名を付けて保存するときに使います。

【作成されているフォルダーの名称変更】

- ① ファイル保存画面の名称変更キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
- ② 名称を変更するフォルダーキーを押します。

- ③ 新規名称画面が表示されます。

お好みの名称を入力します。

※ 10 文字まで入力できます。

※ 大文字、小文字切りかえキーで小文字も入力できます。

※ 文字の削除は、カーソル移動キーで取り消したい文字にカーソルを合わせ、削除キーを押します。
文字の挿入は、カーソル移動キーで挿入したい次の文字にカーソルを移動し、入力します。

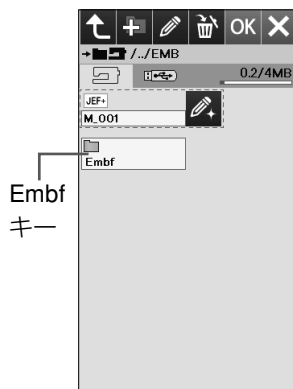
- ④ OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

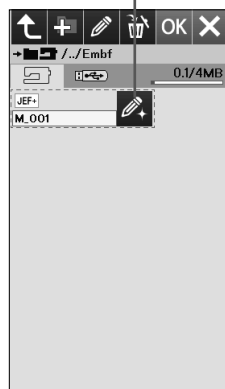
- ⑤ 閉じるキーを押します。

※ USB メモリも、ミシンの内蔵メモリと同じ要領で行います。

- 1 《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)



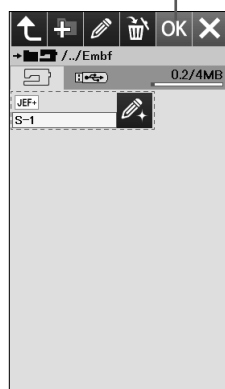
- 2 《Embf 保存画面》
新規ファイル名称変更キー



- 3 4 《新規名称画面》
OK キー



- 5 6 《Embf 保存画面》
OK キー



【ファイルの名称変更】

ミシンに用意されているファイル名「M_001」以外で保存する場合

- 1 ファイル保存画面の Embf キーを押します。

- 2 Embf 保存画面が表示されます。

新規ファイル名称変更キーを押します。

- 3 新規名称画面が表示されます。

お好みの名称を入力します。(70 ページ参照)

- 4 OK キーを押します。

※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

- 5 Embf 保存画面が表示されます。

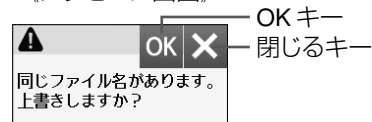
- 6 OK キーを押します。

※ 新規ファイル名が Embf フォルダに保存され、もとの画面にもどります。

※ 同じ名前がある場合は、注意画面が表示されますので、上書きする場合は、OK キーを押します。

※ 書きかえる場合は、閉じるキーを押します。

《メッセージ画面》



※ USB メモリも、ミシンの内蔵メモリと同じ要領で行います。

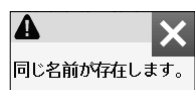
- 1 2 《Embf フォルダ画面》
名称変更キー



- 3 4 《新規名称画面》
OK キー



《メッセージ画面》



- 5 《Embf フォルダ画面》
閉じるキー



【ミシンの内蔵メモリのファイルの名称変更】

※ ミシンの内蔵メモリのファイルの呼び出し方は、73 ページをご覧ください。

- 1 Embf フォルダ画面の名称変更キーを押します。

- 2 名称変更するファイルキーを押します。

- 3 新規名称画面が表示されます。

お好みの名称 (例 .SEW_1) を入力します。
(70 ページ参照)

- 4 OK キーを押します。

※ 同じ名前がある場合は、注意画面が表示されますので、閉じるキーを押して、新しい名称を入力します。

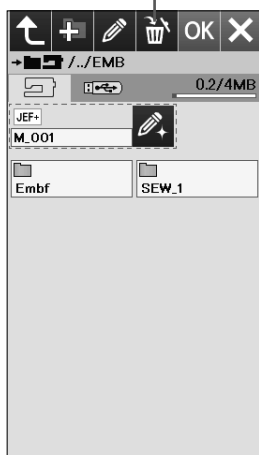
※ 閉じるキーを押すと、変更しないでもとの画面にもどります。

- 5 閉じるキーを押すと、もとの画面にもどります。

1

《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)

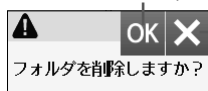
削除キー



2

《メッセージ画面》

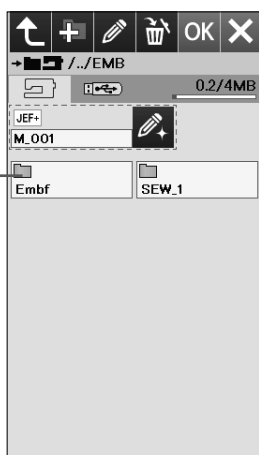
OK キー



閉じるキー

1

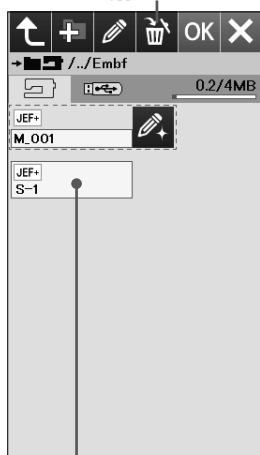
《ファイル保存画面》
(ミシンの内蔵メモリ)

Embf
キー

2

《Embf 保存画面》

削除キー

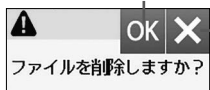


ファイルキー

3

《メッセージ画面》

OK キー



閉じるキー

★ フォルダ・ファイルの削除

【フォルダの削除】

- ① ファイル保存画面の削除キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
削除したいフォルダを押します。
 - ② 注意画面が表示されます。
OK キーを押すとフォルダが削除され、ファイル保存画面にもどります。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しなくてもとの画面にもどります。
- ※ USB メモリも、ミシンの内蔵メモリと同じ要領で行います。

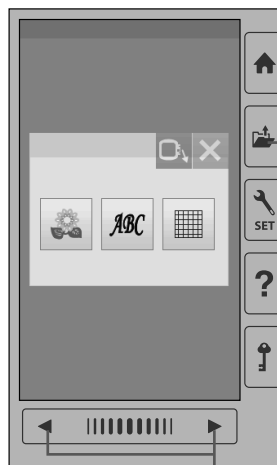
【ファイルの削除】

- ① ファイル保存画面のファイルを保存しているフォルダーキーを押します。(例 .Embf フォルダーキー)
Embf 保存画面の削除キーを押し、キーの表示を黄色にかえます。
 - ② Embf 保存画面の削除するファイルキーを押します。
 - ③ メッセージ画面が表示されます。
OK キーを押すとファイルが削除され、ファイル保存画面にもどります。
- ※ 閉じるキーを押すと、変更しなくてもとの画面にもどります。
- ※ USB メモリも、ミシンの内蔵メモリと同じ要領で行います。

1

《ホーム画面》

ファイルオープンキー



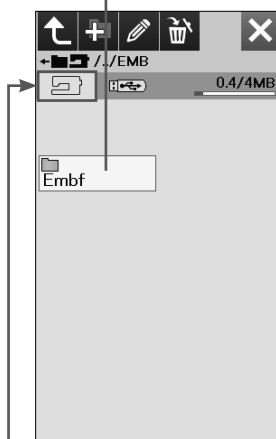
ページキー

2

《ファイルを開く画面》

(ミシンの内蔵メモリ)

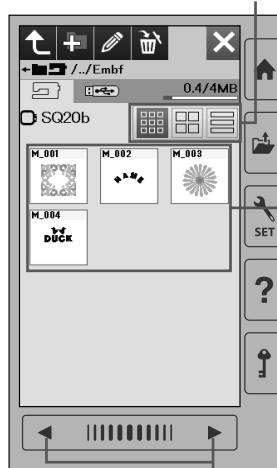
Embf フォルダーキー

ミシンの内蔵メモリが
選択された状態

3

《Embf フォルダー画面》

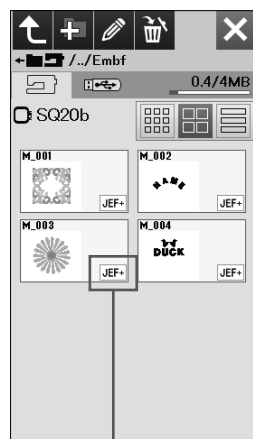
一覧表示キー



ファイルキー

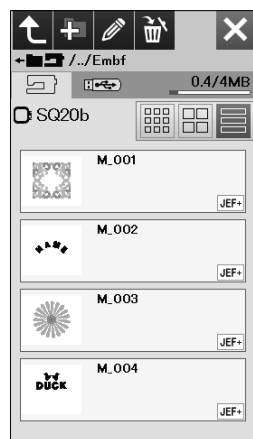
ページキー

《2列表示画面》



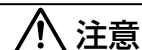
ファイルの形式

《1列表示画面》



● 模様データの呼び出し

ミシンの内蔵メモリや USB メモリに保存した刺しゅう模様を呼び出すことができます。




注意


ミシンの内蔵メモリや USB メモリに模様データを保存中（転送中）に電源スイッチを切ったり、USB メモリを抜いたりしないでください。
データが破損するおそれがあります。


★ ミシンの内蔵メモリから呼び出す

- ① ファイルオープンキーを押します。
 - ② ファイルを開く画面のファイルを保存しているフォルダーキーを押します。（例：Embf フォルダーキー）
- ※ フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない場合は、ページキーでページを切りかえてください。
- ③ 選んだフォルダー内のファイルのリストが表示されます。呼び出したいファイルキー（模様データ）を押します。
- ※ 刺しゅう実行画面が表示され、呼び出してぬうことができます。
- ※ 表示は 3 列で表示されますが、ファイルの形式は表示されません。
列の切りかえは、一覧表示キーで行います。
- ※ Embf フォルダー以外のフォルダーを作成した場合、作成したフォルダーも表示されます。
- ※ ファイルを開く画面や Embf フォルダー画面で、フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれない数を保存している場合、ページキーで確認できます。

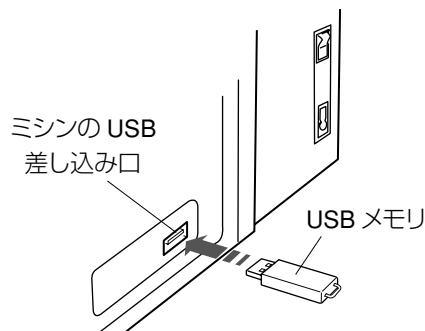
【一覧表示キー】

 キーを押すと、3 列で表示され、1 ページに 12 個表示されます。ファイルの形式（74 ページ「ファイルの形式」参照）は表示されません。

 キーを押すと、2 列で表示され、1 ページに 8 個表示されます。ファイルの形式も表示されます。

 キーを押すと、1 列で表示され、1 ページに 4 個表示されます。ファイルの形式も表示されます。

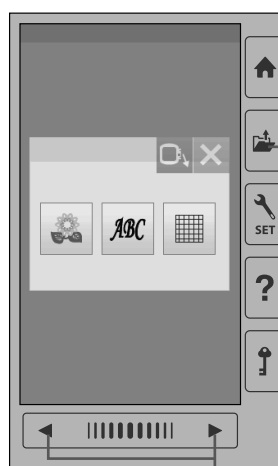
1



2

《ホーム画面》

ファイルオープンキー

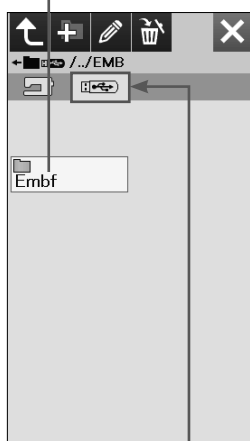


ページキー

3

《ファイルを開く画面》
(USB メモリ)

Embf フォルダーキー



USB メモリを選択

4

《「Embf」保存画面》



ファイルキー

2/3

★ USB メモリから呼び出す

- 1 USB メモリからファイル（模様データ）を呼び出す場合は、ミシンの USB 差し込み口に USB メモリを差し込みます。

- 2 ファイルオープンキーを押します。

- 3 ファイルを開く画面の USB メモリキーを押し、ファイルを保存しているフォルダーキーを押します。
(例：Embf フォルダーキー)

- 4 選んだフォルダー内のファイルのリストが表示されます。

呼び出したいファイルキー（模様データ）を押します。

※ フォルダーやファイルが 1 画面に表示しきれていない場合は、ページキーでページを切りかえてください。

※ その他、キー操作はミシンの内蔵メモリからの呼び出しと同じです。(73 ページ参照)

★ ファイルの形式

形式	内容
JEF	模様データが、編集画面上で 1 つの模様として扱われるファイル
JEF+	複数の模様を組み合わせで保存されている模様データが、編集画面上で複数の模様として扱われるファイル
JPX	背景画像付きで作成されたファイル ※ PC アプリ「デジタイザー」で作成された模様
JPX	AcuFilTool にて作成された連続支援模様 ※ 海外仕様の PC アプリ「AcuFilTool」で作成された模様
DST	タジマ刺しゅうフォーマット

※ タジマ刺しゅうフォーマット (*.DST) には、糸色の情報が含まれていません。タジマ刺しゅうフォーマットを読み込むと、Janome の 78 色が自動的に割り当てられます。

※ PC アプリ「デジタイザー」はオプションです。

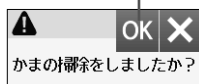
《かま掃除メッセージ画面》

閉じるキー

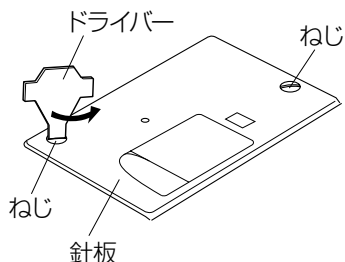


《確認メッセージ画面》

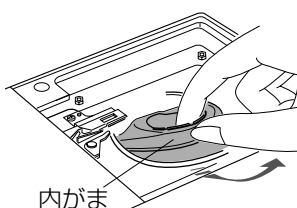
OK キー



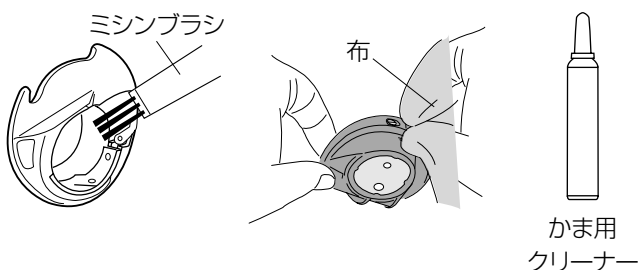
1



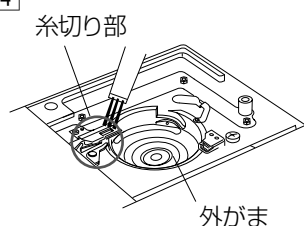
2



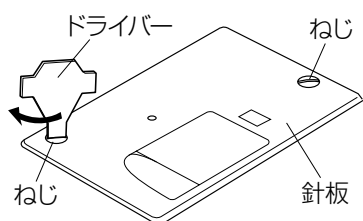
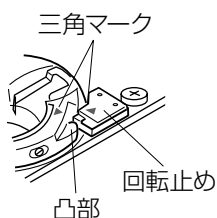
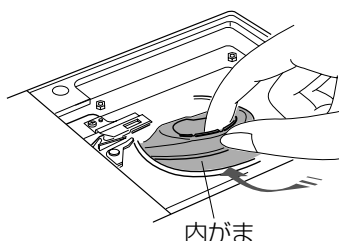
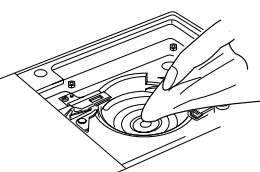
3



4



5



◎ ミシンのお手入れ

● かまと送り歯、糸切り部の掃除

⚠ 注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。感電・火災・けがの原因となります。

少なくとも月に一回程度はかまの掃除をしてください。共通設定の「かま掃除メッセージ」が「ON」に設定されていると、一定の時間が経過するとかま掃除のメッセージ画面が表示されます。(60 ページ参照)

かま掃除のメッセージ画面の閉じるキーを押すと確認メッセージ画面が表示されます。

OK キーを押します。

【内がまの取り出しと掃除】

※ 針と押さえを外します。(16、18 ページ参照)

- 1 ねじ (2 個) をドライバー (針板取り外し用) で左にまわして外し、針板を取り外します。
ボビンを取り出します。

- 2 内がまの手前を上にながら外します。

- 3 内がまを付属のミシンブラシで掃除し、やわらかい布に付属のかま用クリーナーを少量含ませて、全体を軽くふきます。

- 4 糸切り部をミシンブラシで掃除し、さらに外がまを掃除します。

- 5 かま用クリーナーを少量含ませたやわらかい布で、外がまのまわりや内部全体を軽くふきます。

※ ミシンブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、掃除機などで吸い取ってください。

【内がまの組み付け】

内がまを取り付けます。

内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせ、内がまの凸部が、回転止めの左側にくるように取り付けます。

※ 内がまを取り付けたあと、はすみ車を手でゆっくり手前にまわし、外がまがスムーズにまわることを確認してください。

※ お手入れが終わったら、針板、押さえホルダー、針などを取り付けてください。

お願い

ミシンの使用頻度が高い場合、上記お手入れでは取りのぞけない部分に糸くずやほこりがたまり、ぬい不良の原因となります。

ミシンの使用頻度が高い場合、定期的にミシン内部の掃除をすることをおすすめします。

詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 糸道の掃除

糸調子部に付いている糸くずやロウを紙で掃除します。
右のみぞに紙を入れ、こするように掃除します。

針棒糸かけをミシンブラシで掃除します。

● 注油

⚠ 注意

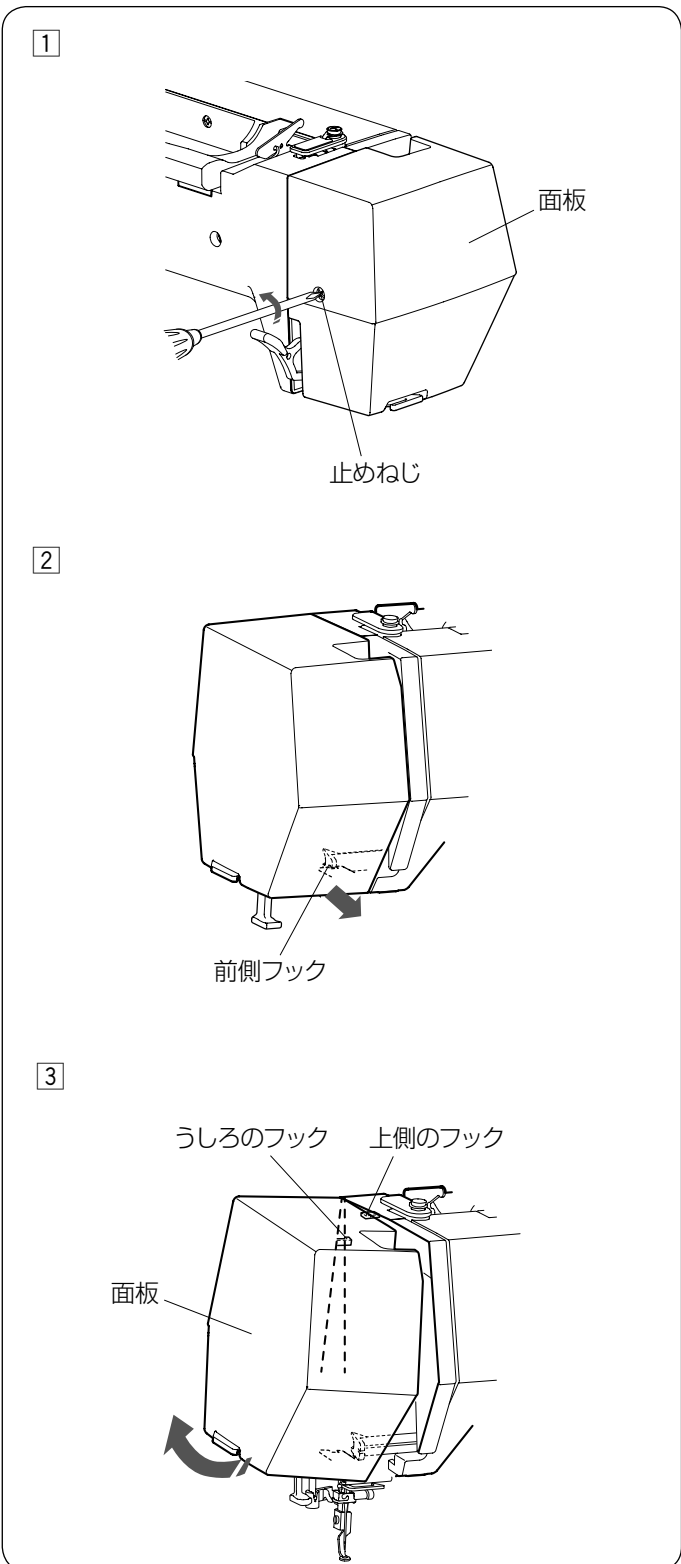
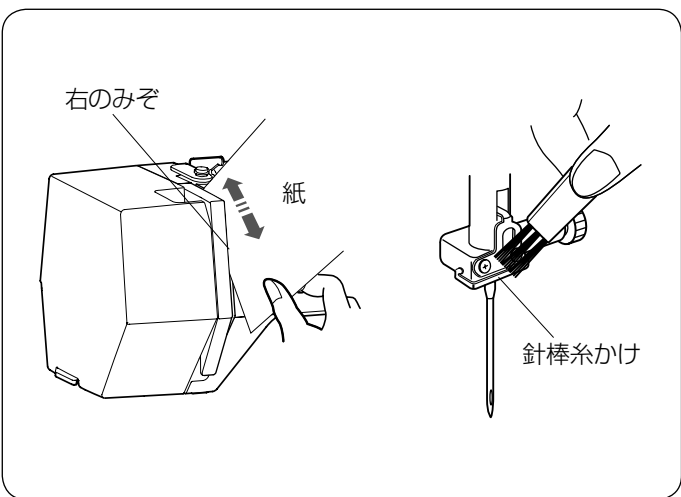
- ・注油のときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災の原因となります。
- ・説明されている場所以外は、分解しないでください。
- ・注油はモーターが冷えてから行ってください。
- ・説明されている場所以外は、注油しないでください。
感電、火災、けがの原因になります。

お願い

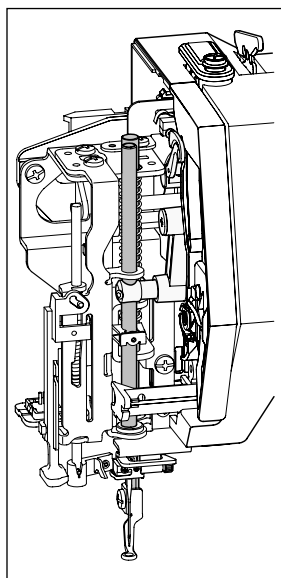
1. ミシンを毎日お使いの場合は、少なくとも月に一度は注油をしてください。
2. 高品質のミシン油を使用してください。
(ミシン油は標準付属には含まれていません。)
3. 注油は1～2滴で充分です。
4. 注油箇所近くに付着した余分な油は、布できれいにふきとってください。
5. ミシンをしばらく使用していなかった場合は、お使いになる前に注油してください。
6. カバーの取り外しにはプラスドライバー（標準付属に含まれていません）が必要です。

【針棒、押さえ棒、天びんの注油】

- ① 止めねじを外します。
- ② 面板の前側フックを外します。
- ③ 面板を矢印方向に傾けて、うしろのフックと上側のフックを外し、面板を取り外します。



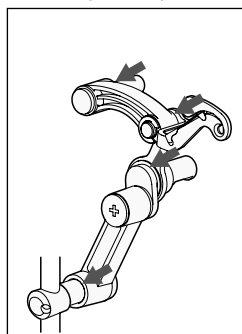
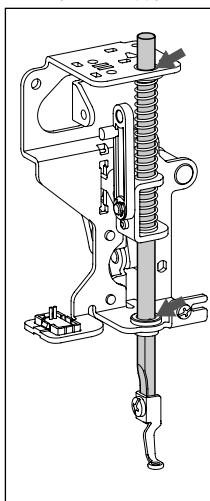
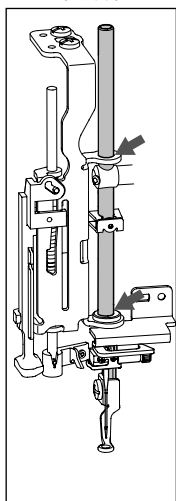
4



(針棒)

(押さえ棒)

(天びん)

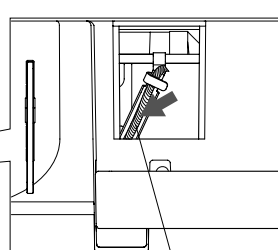
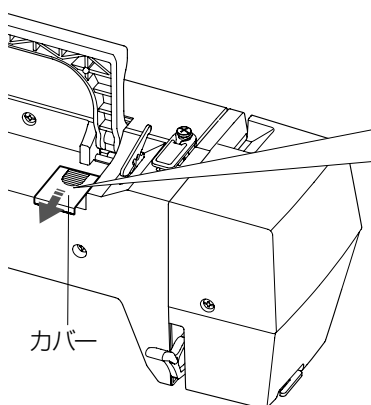


4 図の矢印の箇所に注油します。

※ 面板の取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

1 3

2



油芯

カバー

【油芯の注油】

- ① ミシンの上部後方のカバーをスライドさせます。
- ② 内部の油芯に注油します。
- ③ 注油が終わったら、カバーをもどします。

【下軸支持体（前）の注油】

お願い

ミシンを持ち上げるときにミシンを傷つけないように注意してください。

⚠ 注意

ミシンを倒さないように注意してください。
けがの原因になります。

- ① キャップを外し、プラスドライバーで止めねじを外します。
- ② はずみ車が下になるようにミシンを持ち上げます。
- ③ 糸切りカバーの下の穴からドライバーを差し込みます。
- ④ 止めねじをゆるめます。
- ⑤ 糸切りカバーを外します。

- ⑥ 図の矢印の箇所（フェルト）に注油します。

※ 注油が終わったら、カバーを取り付けてください。

【下軸支持体（うしろ）の注油】

お願い

ミシンを持ち上げるときにミシンを傷つけないように注意してください。

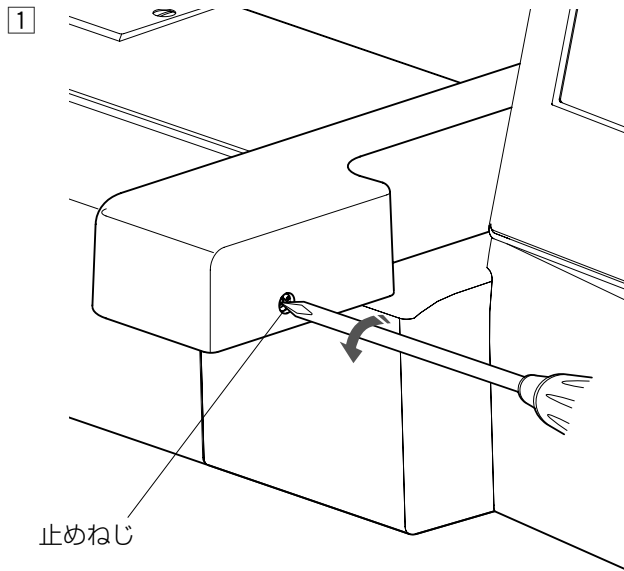
⚠ 注意

ミシンを倒さないように注意してください。
けがの原因になります。

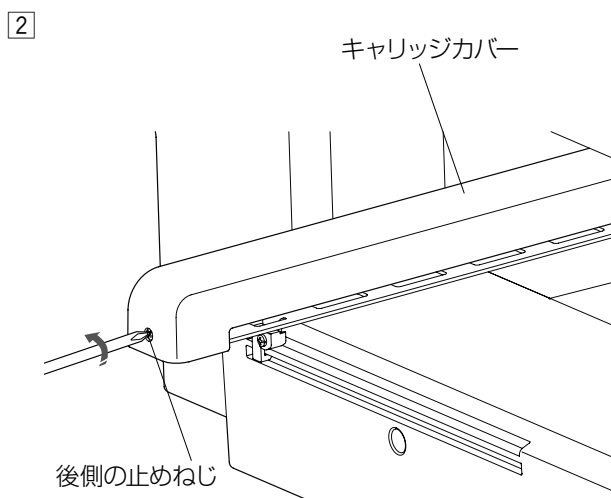
- ① はずみ車が下になるようにミシンを持ち上げます。
 - ② ミシンの下側のカバーをドライバーで外します。
 - ③ 図の矢印の箇所（フェルト）に注油します。
- ※ 注油が終わったら、カバーを取り付けてください。

【Y キャリッジの注油】

① 前側の止めねじを外します。

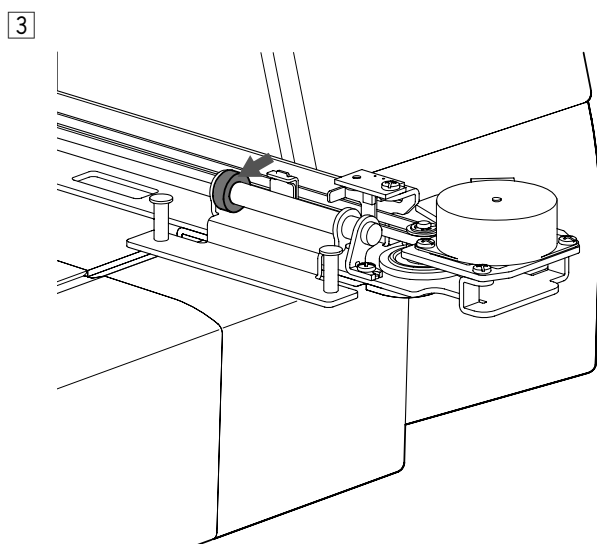


② 後側の止めねじを外し、キャリッジカバーを外します。

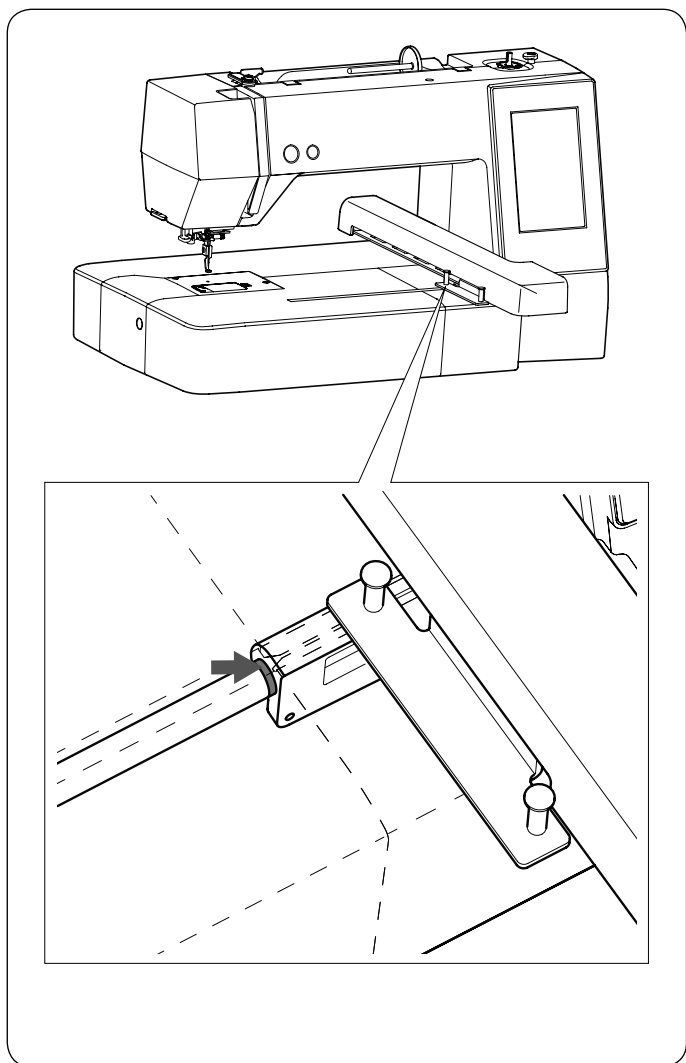


③ 図の矢印箇所（フェルト）に注油します。

※ 注油が終わったら、取り外しと逆の手順でキャリッジカバーを取り付けます。



【X キャリッジの注油】



キャリッジのみぞの矢印箇所（フェルト）に注油します。

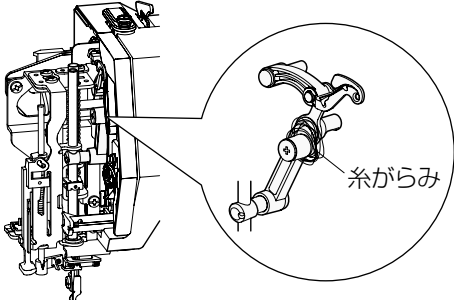
◎メッセージ画面一覧

警告音とともに画面（タッチパネル）に表示が出た場合、下記の解決法に従ってください。

メッセージ画面	原因	解決法
	糸巻き軸が右にセットされている場合に表示されます。	糸巻きが終わったら、糸巻き軸を左にセットしてください。
	ミシンのモーターに高い負荷がかかったときに表示されます。	メッセージ画面は 15 秒間程表示されます。 物がはさまっていないか、布が厚すぎないか、針が曲がっていないか、内がまがずれていないか、天びん・かま・糸切り部などに糸がからんでいないか確認してください。
	ミシンが故障しているときに表示されます。	お客様相談窓口（巻末に記載）もしくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

◎ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
音がうるさい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外がまや内がまに糸くずがたまっている。 2. 糸が外がまにからまっている。 3. 電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音がでる。 	75 ページ参照 75 ページ参照 異常ではありません
ミシンから異音がする	<ol style="list-style-type: none"> 1. キャリッジに何かはさまっている 	はさまっているものを取り除く
上糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 6. 糸がかまなどにからまっている。 7. 糸こまに上糸が引っかかっている。 8. 刺しゅうをスタートさせたときに、面板の糸切り / 糸押さえに上糸をかけていない。 	12 ～ 13 ページ参照 31 ページ参照 針を交換する (16 ページ参照) 16 ページ参照 16 ページ参照 75 ページ参照 糸こま押さえを付ける (8 ページ参照) 22 ページ参照
下糸が切れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方がまちがっている。 2. 内がまの中にごみがたまっている。 3. ボビンにきずがあり回転がなめらかでない。 	11 ページ参照 75 ページ参照 ボビンを交換する (8 ページ参照)
針が折れる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. 布に対して針が細すぎる。 	16 ページ参照 針を交換する (16 ページ参照) 16 ページ参照 31 ページ参照 16 ページ参照
ぬい目がとぶ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっている。 2. 針が曲がっているか、針先がつぶれている。 3. 布に対して針と糸が合っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっているか、糸が必要以外のところからみついている。 5. 伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 6. 針が不良品である。(針穴や針先のさびや、バリがある。) 7. 刺しゅう枠が正しく取り付けられていない。 8. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 	16 ページ参照 16 ページ参照 16 ページ参照 12 ～ 13 ページ参照 芯地を貼る (23 ページ参照) 針を交換する (16 ページ参照) 21 ページ参照 20 ページ参照
模様がきれいにぬえない	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボビンのセットがまちがっている。(ボビンの入れる方向・下糸が内がまのばねに入っていない。) 2. 上糸調子が強すぎる 3. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 4. 刺しゅう枠の調節ねじがゆるんでいる。 5. キャリッジ移動時に、布がミシンに引っかかっている。 6. 刺しゅう枠に布がきちんと張られていない。 7. 刺しゅう時に布が何かに引っかかっている。 8. 刺しゅう押さえが渡り糸に引っかかっている。 	11 ページ参照 31 ページ参照 芯地を貼る (23 ページ参照) 20 ページ参照 布を張り直す (20 ページ参照) 20 ページ参照 ミシンを止め、布を張り直す (20 ページ参照) 渡り糸を切る

調子が悪い場合	その原因	直し方
ミシンが動かない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源コードのプラグがミシンおよびコンセントにしっかりとささっていない。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. 上糸が外れ、ボビンにからまっている。(ガチャガチャ音がする) 4. 押さえ上げがさがっていない。 5. 上糸が天びんから外れ、他の部品にからまっている。 	<p>5 ページ参照</p> <p>75 ページ参照 上糸かけを確認する (12 ～ 13 ページ参照)</p> <p>5 ページ参照 電源を切り、からまっている糸を取る [からまっている糸の取り方]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 電源スイッチを切る ② 面板をあける (76 ページ手順 ① ～ ③ 参照) ③ からまっている糸を取る ④ 上糸をかけ直す (12 ～ 13 ページ参照) ⑤ 面板をしめる
模様選択キーが反応しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. キーの位置が正しく調整されていない。 	58 ページ参照
画面 (タッチパネル) が見にくい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 画面のコントラストが合っていない。 	57 ページ参照
画面 (タッチパネル) がふくらむ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ミシンが高温多湿の場所に置かれている。 	ミシンを涼しく乾いた場所に保管する
USB メモリが機能しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB メモリのデータが壊れている。 2. 対応していない USB メモリを使っている。 	<p>フォーマットをする (59 ページ参照)</p> <p>USB メモリを交換する</p>
薄い布、伸縮性の布が食い込む	<ol style="list-style-type: none"> 1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 薄い布や伸縮性のある布のとき、芯地を使っていない。 	<p>16 ページ参照 芯地を貼る (23 ページ参照)</p>
上糸が抜ける	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっている。 	12 ～ 13 ページ参照
かまに糸がからまる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. かまにキズがある。 3. 内がまの入れ方がまちがっている。 	<p>12 ～ 13 ページ参照 かまの交換 75 ページ参照</p>
音がして糸がからまる	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっている。 2. 天びんの糸穴に糸が入っていない。 	<p>12 ～ 13 ページ参照 13 ページ参照</p>
糸通しができない	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針が上にあがっていない 2. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 	<p>14 ページ参照 16 ページ参照</p>
ぬい目に下糸がでる	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボビンのセットがまちがっている。 2. 糸こまのセットがまちがっている。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 上糸調子が強すぎる。 5. ジャノメのボビンを使用していない。 	<p>11 ページ参照 8 ページ参照 12 ～ 13 ページ参照 31 ページ参照 8 ページ参照</p>

※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターから発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

※ 長時間使うと操作ボタンやタッチパネル付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。

♣ MEMO ♣

仕 様	
使 用 電 圧	100 V 50 Hz / 60 Hz
消 費 電 力	45 W
外 形 寸 法	幅 56.6 cm ×奥行 39.7 cm ×高さ 33.5 cm
質 量	10.9 kg
使 用 針	家庭用 HA X 1
最 高 め い 速 度	毎分 860 針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間の基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスを行います。
ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げの販売店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

蛇の目ミシン工業株式会社

住 所 〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
電 話 お客様相談室 0120 - 026 - 557 (フリーダイヤル)
042 - 661 - 2600

受 付 平日 9 : 00 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
[問合せフォーム](#)をご利用ください。

